

四季折々 2013

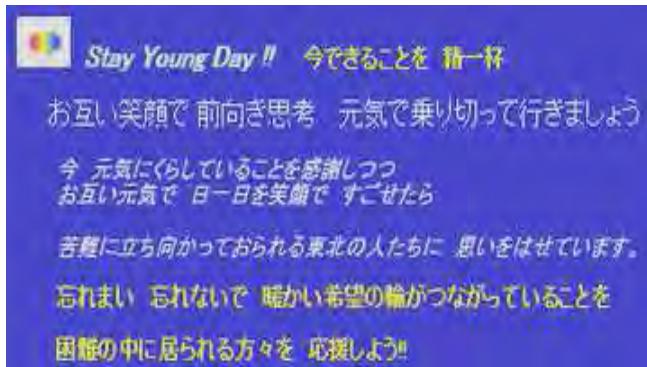
■ 四季折々 Mutsu 神戸 季節の便り 2013

■ 神戸で 思いつくまま From Kobe 2013

Mutsu. Nakanishi Home Page

<http://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/>

2014. 1. 1.



何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃、
好奇心と行動力さえあれば……と。
まだ はやい せくな老楽 これからよ
どこにいても「思いはせる仲間」がいるだけでうれしい。
無理せず 体調に気をつけて!!

Mutsu Nakanishi



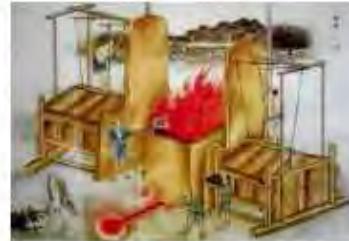
By Mutsuo Nakanishi

和鉄の道 Monthly page に 掲載記事概要と共に その時節折々 四季折々の花・風景
そして 好奇心一杯でトライしたことや頭にあることなどを綴ったメモなど
新たに Home page に掲載概要を monthly imagine 届にレビューしました

和鉄の道・Iron Road を訪ねて Country walk

鉄の「まばゆい輝き・閃光」と「黒光り・肌光」

日本には「たら製鉄」という鉄鉱石や砂鉄の塊から、「硬くてねばい鋼」を直接作り出す日本古来の製鉄法がある。ヒッタイトが人工鉄を発明した当初の姿を現代まで残し、現在の製鉄法にも負けない高品質の鋼を作り出す技術に高め、維持している日本独自の製鉄法である。



日本に「鉄」が伝来して、この「たら製鉄」が行われるまで、約 800 年の長きにわたってたら製鉄法の摸索が続き、その技術をさらに磨き高めながら 1500 年続いてきた日本独自の製鉄技術。「鉄は国家なり」「鉄は産業の命」と「鉄」の力が強調されるが、一方で文化を育み、そこに住む人たちの生活を豊かにし、現在に至る日本を作ってきた。今、急速な社会変革の中で この製鉄にともなう数々のドラマが忘れ去られ、日本各地の「たら製鉄」遺跡もろとも消え去ろうとしている。和鉄の道での数多くの人たち・賑わい そして数々のドラマが、周りの美しい景色とともにうもれて残っています。そんな日本で繰り広げられたドラマ そしてその痕跡の風景を少しでも残しておきたいと home page に掲載してきました。



四季折々 from Kobe 思いつくまま神戸便り

ほぼ毎月更新してきた Home page のトップ^{*}には その四季折々 私の好きな花・好奇心いっぱい取り組んだこと・Country walk の風景などを紹介すると共にその折々 頭にあった時代の流れ・技術・社会などへの自分の思いを From Kobe として書き綴って掲載してきました。

変えられるものを変える勇気と

変えられないものを受け容れる心の静けさと

両者を見分ける教智を

「勇気」・「冷静」・「知恵」ニーバーの祈りより

^{*} 今できることを 算一社 声かけ高い 未完あって
負けないで 泣れないで
幅かい希望の輪がつながっていることを

私が命に走ってきたか それがい生の私をつくっている
あなたが命に走ってきたか それがいまのあなたのもの
世界はみんなのこころで未来の 世界はみんなのこころで変わるもの
吉川信太郎 「二二の色」より

行動を問せよ。勇氣・冷静・知恵。その重みを強く感じている日々。
以前は 私もやはり フィードを振り切れた日々でしたが。。。

home page のトップページは更新ごとに消えてしまうので、その時々を忘れぬよう残しておきたいと「四季折々・From Kobe」として ファイル。

それを毎年一冊の小冊子にまとめています。自分勝手なわがままな思いのメモ書きばかりですが、自分の生きる指針でもありました。



四季折々【12】2013

- 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013
- 神戸で 思いつくまま From Kobe 【12】2013

mutsu2013.pdf
kobe2013.pdf

■ 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013

mutsu2013.pdf

年賀	1&2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	12月
----	------	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----

■ 四季折々 Monthly page 2013 更新時のtop pageを集めて収録しています。

1. 2013 年 年賀 2013.1.1.



絵のふるさと 真出雲 出雲神楽「八坂大蛇」より

3. 2013 年 早春 3月 2013.3.5.

【2013年 早春3月の便り 2013.3.5.】

- 1 「春はもうそこまで」毎年確定申告で始まる須磨の春
- 2 早春の「比叡山ぎら坂」トライ
- 3 2012年版「和鉄の道・Iron Road」電子ブック
- 4 タブレット端末「Nexus7」その後
- 5 山口鉄块の田中謙平さん 3月末戸のイベントに出店
- 6 今月のhome page 更新記事

5. 2013 年 新緑 5月 2013.5.15.

【5月 新緑の季節便り 2013.5.15.】

- 1 新緑に包まれた野山の春景色
- 2 念願の「屋久島猩」文初に出会えた
- 3 砂鉄浜・たたらの島 種子島へも
- 4 こんな 比叡山の姿 知っていますか
- 5 yahooブログ『きーちゃんのお庭』
- 6 今月のhome page 更新記事

7. 2013 年 ひまわりの夏 8月 2013.8.5.

【8月 夏便り 2013.8.5.】

- 1 ひまわりの夏8月
- 2 夏の高校野球は
若き日の良き思い出
- 3 ユリ園の知恵にびっくり
初夏スキー場ゲレンデそのものに
一面満開のユリ
- 4 今月のhome page 更新記事

9. 2013 年 師走 12月 2013.12.5.

【12月の便り】 2013.12.5.

- 1 晩秋と初冬が入り混じる師走
- 2 朝練習 吐く息も真っ白に
- 3 神戸の猪
丸々と太った猪に出会いました
- 4 冬のラグビーシーズンの幕開け
今年も冬の楽しみに
- 5 思わぬ出会いが楽しみに
- 6 今月のhome page 更新記事

2. 2013 年 1&2月 冬便り 2013. 1.15.

- 1.1月 17日 阪神淡路大震災の記念日
- 2.NHKBSBS ドラマ「アテルイ
- 3.2012年版「和鉄の道・Iron Road」
- 4.タブレット端末「Nexus7」
- 5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する
若き考古学者 関広さん
- 6.萩焼田中謙平さんの陶芸作品集のご紹介

4. 2013 年 春 4月 2013.4.5.

【2013年 4月 春便り 2013.4.5.】

- 1.4月 山・里・街 そして人も一気に春色に
- 2.復活日・イースター 今の思いを
- 3.春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました
- 4.パソコンウィルスに 注意を 孫から泣声で緊急SQ
- 5.今月のhome page 更新記事

6. 2013 年 初夏 7月 2013.7.5.

【7月 初夏便り 2013.7.5.】

- 1.初夏 7月
「へいわって すてきだね」
- 2.カタクリの実と種
- 3.新しい鉄の顔
- 4.「発掘された2本列島2013」展
- 5.ラフト一今年は面白くなる
- 6.今月のhome page 更新記事

8. 2013 年 深かまる秋 10月 2013.10.15.

【10月・秋の便り】 2013.10.15.

- 1.深まり行く秋
- 2.ふるさとの空は街の同窓会
ふるさと尼崎のだんじり
- 3.私の産業遺産
工場構内を走り回る軌条を垣間見る
- 4.阿蘇カルデラ内南側の谷「南郷谷」
- 5.今月のhome page 更新記事

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に fkobe1301.pdf
《 21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」》
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5. fkobe1303.pdf
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り fkobe1305.pdf
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京 fkobe1307.pdf
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか…とも
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」 fkobe1308.pdf
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」
7. From Kobe 2013年9月 fkobe1309.pdf
藻谷浩介・NHK広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日本で一番求められている地域を元氣にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5.「解雇のできる特区」の記事を読んで fkobe1310.pdf
「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe 2013年12月 師走 あつというまの1年 古希を迎えて fkobe1312.pdf

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。
「でも 今 それが必要では???」とついついやってしまう。心せねば思っています。

《 なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉 》

《あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉》

- ◆ フィールド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止
そして(対策突破の)歯止め

変えられるものを 変える勇気と
変えられないものを 受け容れる心の静けさと
両者を見分ける観察を

一は 1日一回	じっくり考える、
十は 1日十回	腹から笑う、
百は 1日百回	深呼吸、
千は 1日千字	書く、
万は 1日万歩	歩く

四季折々 Mutsu 2013 神戸便り

■ 四季折々 Mutsu 2013 季節の便り

- 四季折々 Mutsu 神戸便り 2013
- 神戸で 思いつくまま 2013 の pageへ

Monthly Top Page 1月～12月 季節の便り

- 四季折々 Monthly page 2013 更新時のtop pageを集めて収録しています

1. 2013 年年賀 2013.1.1.



3. 2013 年 早春 3月 2013.3.5.

【2013年 早春3月の便り 2013.3.5】

- 1.「春はもうそこまで」毎年確定申告で始まる須磨の春
- 2.早春の「比叡山さくら坂」トライ
- 3.2012年版「和鉄の道・Iron Road」電子ブック
- 4.タブレット端末「Nexus7」その後
- 5.山口萩焼の田中謙平さん、3月末戸のイベントに出店
- 6.今月のhome page 更新記事

5. 2013 年 新緑 5月 2013.5.15.

【5月 新緑の季節便り 2013.5.15.】

- 1.新緑に包まれた野山の春景色
- 2.急傾斜の「屋久島縄」木材に出会えた
- 3.砂鉄浜・たたらの島 種子島へも
- 4.こんな 比叡山の姿 知っていますか
- 5.yahooブログ《きーちゃんのお庭》
- 6.今月のhome page 更新記事

7. 2013 年 ひまわりの夏 8月 2013.8.5.

【8月 夏便り 2013.8.5.】

- 1.ひまわりの夏8月
- 2.夏の高校野球は
若き日の良き思い出
- 3.ユリ園の知恵にびっくり
初夏スキー場ゲレンデそのものに
一面満開のユリ
4. 今月のhome page 更新記事

9. 2013 年師走 12月 2013.12.5.

【12月の便り】 2013.12.5.

- 1.晩秋と初冬が入り混じる師走
- 2.早朝練習 吐く息も真っ白に
- 3.神戸の猪
丸々と太った猪に出会いました
- 4.冬のラグビーリーグの幕開け
今年も冬の楽しみに
- 5.思わぬ出会いが楽しみに
- 6.今月のhome page 更新記事

2. 2013 年 1&2月 冬便り 2013. 1.15.

- 1.1月 17日 阪神淡路大震災の記念日
- 2.NHKBSBS ドラマ「アテルレイ
- 3.2012年版「和鉄の道・Iron Road」
- 4.タブレット端末「Nexus7」
- 5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する
若き考古学者 関広さん
- 6.萩焼田中謙平さんの陶芸作品集のご紹介

4. 2013 年 春 4月 2013.4.5.

【2013年 4月 春便り 2013.4.5.】

- 1.4月 山・里・街そして人も一気に春色に
- 2.復活日・イースター 今の思いを
- 3.春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました
- 4.パソコンウィールズにて注意を 孫から泣声で緊急SQ
- 5.今月のhome page 更新記事

6. 2013 年初夏 7月 2013.7.5.

【7月 初夏便り 2013.7.5.】

- 1.初夏 月
「へいわって すてきだね」
- 2.カタクリの実と種
- 3.新しい鉄の頭
- 4.発掘された2本列島2013!展
アート一今年は面白くなる
5. 今月のhome page 更新記事

8. 2013 年深かまる秋 10月 2013.10.15.

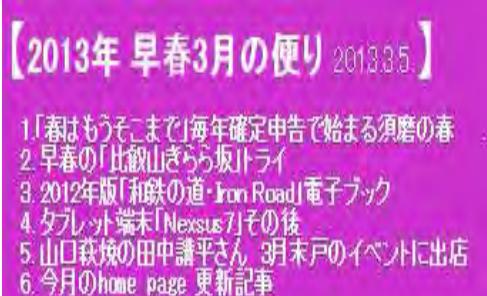
【10月・秋の便り】 2013.10.15.

- 1.深まり行く秋
- 2.ふるさとの祭は街の同窓会
ふるさと尼崎のたんじり
- 3.私の産業遺産
工場構内を走り回る軌条を垣間見る
- 4.阿蘇カルデラ内南側の谷「南郷谷」
- 5.今月のhome page 更新記事

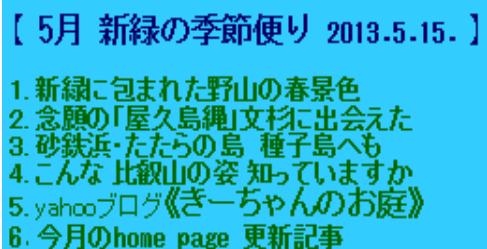
1. 2013年年賀 2013.1.1.



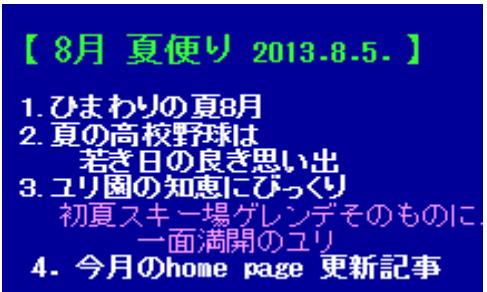
3. 2013年 早春 3月 2013.3.5.



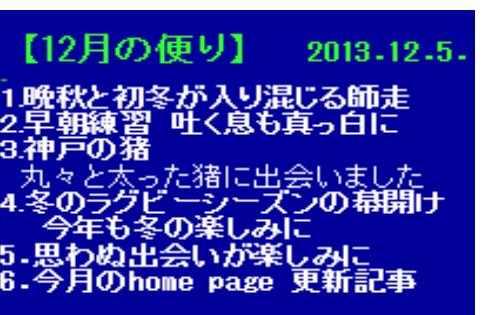
5. 2013年 新緑 5月 2013.5.15.



7. 2013年 ひまわりの夏 8月 2013.8.5.



9. 2013年師走 12月 2013.12.5.



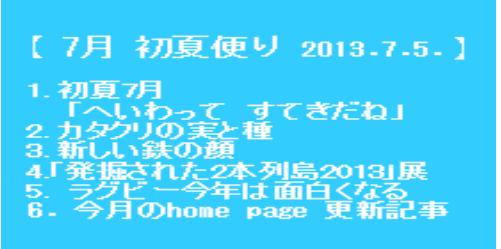
2. 2013年 1&2月 冬便り 2013.1.15.

- 1.1月17日 阪神淡路大震災の記念日
- 2.NHKBSBSドラマ「アテルイ」
- 3.2012年版「和鉄の道・Iron Road」
- 4.タブレット端末「Nexus7」
- 5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する
若き考古学者 関広さん
- 6.萩焼田中謙平さんの陶芸作品集のご紹介

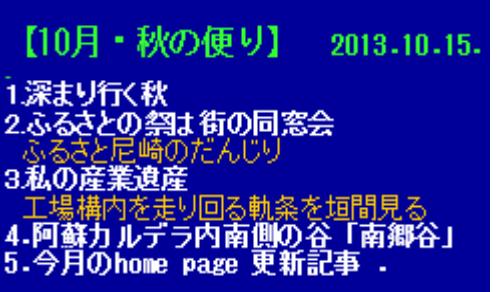
4. 2013年 春 4月 2013.4.5.



6. 2013年初夏 7月 2013.7.5.



8. 2013年深かまる秋 10月 2013.10.15.



1.

2013年年賀 「Iron Road・和鉄の道」 四季折々 2013.1.1.



鉄のふるさと 奥出雲 出雲神楽「八岐大蛇」より



平成25年 元旦

本年もよろしくお願いします



毎日を大切に生きてゆこう
支え合う心と明日への希望を胸に 韶きわたればくたちの歌
韶きわたれ しあわせ運べるように



今年も数多くの笑顔にであえました
また、噴水を取り囲んで未来を描いた東北の子供たちの希望の絵に
思いは現実の厳しさに引き戻されて.....

「忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 応援しよう!!」と

「光の絆」2012 神戸ルミナリエ 2012.12.12..

2.

2013年冬 1&2月 「Iron Road・和鉄の道」 四季折々

2013.1.15.



神戸須磨摂播国境 白川街道沿いの「妙法寺」に古くから伝えられてきた 10 匹の鬼が舞い踊る新年招福の追雫式 2013.1.3.

◆ 今年も 1月 17日 阪神淡路大震災の記念日がやってきた

大震災・原発事故に被災され、いまだに先の見えぬ生活を強いられている東北の人達に
ダブリながら震災の記憶がさまざまとよみがえってくる。

「凍りつくような寒さの中 物音ひとつしない静まり返た真っ暗な夜が浮かんでくる。

二度と出会いたくない体験と共に、東北の人達を思いつつ

元気でいる自分たちのありがたを いまさらながら感謝 」

「忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを

困難の中に居られる方々を 応援しよう!! 」と



支え合う心と明日への希望を胸に 毎日を大切に 2013年1月 Kobe より

支持基盤を失った民主党政権が倒れ、自民党政権が復活し、数多くの期待を持って 新年を迎えた。

今度こそ 流れが変わる 変わってほしい 悲痛な願望である

この中で 第一にいまだに生活再建の目途が立たぬ東北の人達へのスピードある施策を願いたい。

みんな「東北のためには 少しは我慢せねば・・・東北のため」の思いは強い。

それに悪乗りして復興ビジネスを展開するのはもうもってのほか また、中央はちょっと待つの意思はないのか・・
と

毎度のことながら どうにかならぬのか・・・・。

「そんなことすれば、景気回復はおぼつかない そっちが先や」と言われそうであるが、

もう 10 年以上それなりの知恵があるではないか・・・・と

弱肉強食の過度な競争に大多数が晒される社会への逆戻りはもうゴメン。

みんな笑顔で暮らせる社会への変革をかつての団塊の世代としてすごした青年時代

「することなすこと何もかもが 手本もなく新しい事で、夢中で立ち向かった若者躍動の時代」

今の若者にも そんな思いを託したい。

【 2013 年冬便り 2013.1.15. 】



雪をかぶった北山杉を見たくなって 京都 鞍馬街道を少し歩きました 花背峠にむかう古道橋で 2012.1.16.

1.1月 17日 阪神淡路大震災の記念日

2.NHKBSBS ドラマ「アテルイ

3.2012 年版「和鉄の道・Iron Road」

4.タブレット端末「Nexus7」

5.身でスーダンの製鉄遺跡を調査する

若き考古学者 関広さん

6.萩焼田中講平さんの陶芸作品集のご紹介

7.節分が近づくこの時節



Stay Young Day !!

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

原因を人の所為にするな
ループ原因の解説と防止
そして対策突破の苗止め

あまりにも人・個人の責任にするこの頃
職場で徹底的に叩き込まれた言葉です。

以前はスピードを追った毎日でしたが
付和雷同せず 勇氣・冷静・知恵
その重みを強く感じている昨今です。

「まあええか 元気だして行こう」と
心地良くなりたり来たりです

今できることを 箱一杯 声かけ合い 支えあって
負けないで 忘れないで
暖かい希望の輪がつながっていることを

1月 17日 阪神淡路大震災の記念日

大震災・原発事故に被災され、いまだに先の見えぬ生活を強いられている東北の人達に ダブリながら
震災の記憶 がさまざまとよみがえってくる。

「凍りつくような寒さの中 物音ひとつしない静まり返た真っ暗な夜が浮かんでくる。

二度と出会いたくない体験と共に、東北の人達を思いつつ 元気でいる自分たちのありがたを いまさらながら感謝

「忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを

困難の中に居られる方々を 応援しよう!!」と



支え合う心と明日への希望を胸に 毎日を大切に

2013年1月 Kobe より



SBS ドラマ「アテルイ」

1月 11 日から NHK BS ドラマ「アテルイ」が始まりました。

高橋克彦氏「火怨」を元にした古代東北蝦夷の雄鬼にされた「アテルイ」の物語。東北の地に住む人達が、中央集権体制を強力に推進する大和朝廷に 立ち向かっていった姿・心情が描かれてゆく。

日本刀の源流「蕨手刀」を持って立ち上がった「アテルイ」

北上の市民憲章には

「あの高嶺 鬼住む誇りその瀬音 久遠の賛歌

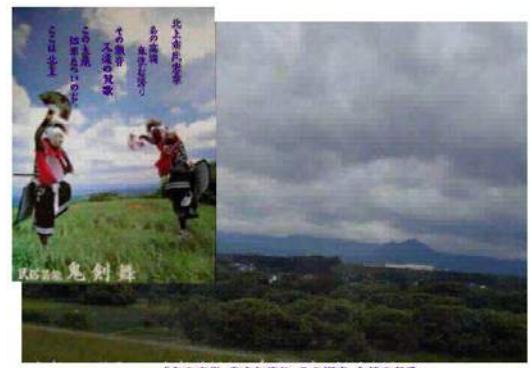
この大地もえたついのち」と歌う鉄のふるさと

心やさしい日本の源流「東北」

地方と中央そして世代間格差が今ほど大きくかけ離れた時代はなく、そんな中で、震災・原発事故の大災害を受け東北に思いをはせ、東北の人達の傷みを分かち合い 一日も早い生活復興へ勇気づけたい。

私の好きな東北 是非 機会があれば ご覧ください。

また、京都清水寺の舞台のすぐ下の崖の縁に 征夷大將軍坂上田村麻呂とアテルイの友情を記念した「アテルイとモレ」の顕彰碑があります。



北上市民憲章 「あの高嶺 鬼すむ誇り その瀬音 久遠の賛歌
この大地もえたついのち ここは先上」



2012年版「和鉄の道・Iron Road」を一冊に

「電子ブック 2012 「和鉄の道・Iron Road」」
あっというまの一年。独りよがりの記事場所でしたが、一年分をそれぞれ、「和鉄の道 2012」・「四季折々 2012」・「風来坊 2012」の3冊に整理しました。



◎「和鉄の道」11件

たら製鉄遺跡を訪ねるというより、「鉄」をキーワードに、鉄の役割を垣間見る記事がほとんど。たら製鉄の謎にはせまれなかつたなあと。

今 日本で産業の主役からの交代を余儀なくされると見える鉄が今後どんな新しい役割を生み出していくのかそっちの方にも興味新進です。

現地に立って、鉄関連遺跡・遺産の今を記録しておけば、何かの役に立つと思ってきましたが、情報化社会の急速な進歩で その役割も変わってき たと感じています。

自分の興味と楽しみが終わることはないのですが どうしようかと。

◎「風来坊」23件 From Kobe 11件

だんだん行動半径が狭まって 同じ場所の掲載が多くなっていますが、私のその年の季節季節の便り

ここ数年デジカメで精密画像を大量に記録したり、精密動画記録が出来るようになって、文章よりも映像記録の方が面白くなつて、スライド動画での記録が多くなっていますが、PDFスライド アルバムに収めました。

◎ 四季折々2012」

なんとか ほぼ 每月 ホームページを更新することができました。

その時節折々 四季折々の花・風景 そして 好奇心一杯でトライしたこと や頭にあることなど 2012年を綴った記憶メモが出来ました。

また、From Kobe には同じことを繰り返し書いていて成長がないなあ とは自覚しているのですが、害がなければいいかと。 お許しください。



タブレット端末「Nexus7」を使い始めました

スマートフォン世代でない私には戸惑いも多いのですが、慣れて使い出すと本当に便利です。

「画面を右から左へ「サッ」ーと指を滑らせたら画面が変わる」

「端末に話しかけたら検索・ナビ・英訳」メールもインターネットも自由自在」

毎度TVのコマーシャル スマートフォンの 映像がなんとも うらやましく 時代の流れ に取り残されまいと昨年暮れにタブレット 端末「Nexus7」を買いました。

使い方の説明書はないし、ソフトは入っていないし、パソコン・携帯との通信もどないし たらええのか??

スマートフォン世代はみんな知っていることが、ちんぶんかんぶん

パソコンの google 検索に「Nexus7 の使い方」など色々入れて、通信やソフトのインストール。やっとパソコンデータも使えるようになりました。

指を滑らすのも 話しかけると検索も地図もナビもインターネットも快調 私の「和鉄の道・iron road」も pdf 電子ブックで持ち運べるように。ほんの1ヶ月前がうそのよう。 最近はメールのチェックもインターネット動画・スライド・音楽も寝転んで。

ラジオ深夜便にかわって YouTube の落語配信を聞きながら眠る楽しみも。

難点はカメラがテレビ電話用に画面側についていて 写真が取りづらく、文字が裏返しになること。

通信環境さえ整えば 端末本体だけ持ち運べば、いろんなことが出来る。

スマートフォン世代の若者はメール・電話だけでなく気楽にこんなことが出来るのか…と。電車でも車のでも…。

パソコンおさらばの時代である。でも 自分の長文・写真など DATA の作成加工にはパソコンでないと…



もう まもなく攻略本も出回ると思うし、周囲にスマートフォン世代がいて インストールと設定を手伝ってもらえば、安価でパソコンよりも手軽な インターネット環境が楽しめる
あの画面上を右から左へ「サッ」と指を滑らせるなんともいえぬ感触。画面に住所を話しかけたら、地図がでて、到着までナビしてくれる 等々 「夢・フィクションだった世界が実現している」
これを楽しむ手はないと思います。
なお、スマートホン・携帯での接続通信は電話側契約の仕方で、とてつもない 料金を取られることがあるのでご注意を。わたしはやっていません。



単身でスーダンの製鉄遺跡を調査する 若き女性考古学者 関広尚世さん

10月26日久し振りに愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センターのアジア歴史講演会に参加した。

講演は以前紹介したスーダンの製鉄遺跡を研究している若き女性考古学者関広尚世さんの

「アジアとアフリカの境界で鉄に出会う—メロエ文明の鉄器生産とスーダン共和国の現状—」

メロエは世界遺産にも登録されたナイル川中流東岸の砂漠の中に点在する古代遺跡。

国作りがこれからのスーダンに単身飛び込み、大臣や学者を動かし、メロエの製鉄遺跡の重要性を説き、一緒になって調査を進めるそのパワーにビックリ。

以前「こんな黒い塊が砂漠にゴロゴロ 鉄滓なのですが・・・」と見せてもらったときには「ほんまかいな??」と思ったのですが、分析も済んで確認済み。 ヒッタイトの鉄が世界に広がってゆく重要地点アフリカ・アジアの境界での 古代大製鉄遺跡群。

また、講演で初めて知るスーダン。 独特のピラミットが建ち並ぶ世界遺産遺産にもビックリですが、危ない国となるとなく思っていましたが、「発展途上であるが、治安もしっかりした近代国家だ」と関広さんはスーダンをPRする。

ヒッタイトからたらへの鉄の謎を解く鍵が見つかるかも知れぬ単身スーダンへ 飛び込んでの研究。期待一杯です。といっても 何も出来ないので、関広尚世さんの今後の展開応援したい。

【参考】以前「和鉄の道」2012.1.5. で紹介した記事のサイトを添付

ナイル川中流域 古代スーダンの製鉄遺跡世界遺産 鉄の都メロエ遺跡

<http://www.infokkkna.com/ironroad/dock/iron/12iron01.pdf>



山口萩焼の田中講平さんの陶芸作品集のご紹介

萩焼陶芸家の田中講平さん 山口の親しい友人としてつき合わせてもらっている。

私は才がなく、陶芸をようしないのですが、陶土に含まれる鉄分の動きや窯がたら炉と通じるところがあり、また、新しい陶芸技法への取り組みの話など いつも興味深々で話を聞くのを楽しみで、田中さんのホームページ作りにも参画させてもらっている。

昨年秋、田中さんの作品集や登り窯などをまとめたスライド動画の整理作成に携わらせてもらい、田中さんのホームページに掲載された。 萩焼陶芸や登り窯などに興味がある方にも是非ご紹介させていただきます。

◎ 萩焼窯元「陶房葉月」田中講平のホームページ

<http://www.k2.dion.ne.jp/~hazuki/index.htm>

◎ 田中講平の作陶 2012Now

<http://www.infokkkna.com/hazuki/taylori/2012hazukinow.htm>



節分が近づくこの時節 鬼が気になる「福は内 鬼も内」

毎度ですが、ホームページに掲載してきた日本各地の鬼伝承

ご参考に掲載記事アクセスリストを作成しました

《参考》 日本各地 鬼伝説 和鉄の道・Iron Road 掲載リスト 2013.1.15.



1. 日本各地に残る鬼伝承

和鉄の道 Iron Road [2] 関西幽霊探訪 2001 & 2002上

10. 日本各地の鬼伝承 鬼伝承の鬼は本当に悪者か??: 2003.2.3.
<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/1st/bb10.pdf>

和鉄の道 Iron Road [1] 関西幽霊探訪 1995.10.-2000.5

8. 弘前ひだと岩手山形県 鬼伝説の鬼 鬼札 鬼符社・十面内 魔鬼山神社を訪ねて 2003.8.4
<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/1st/g8.pdf>

和鉄の道 Iron Road [4] 関西幽霊探訪 2004

6. 鬼魂の鬼・東北 和鉄の道 東北地方 和鉄の道 9編 取りまとめ 2004.1.18.
<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/4/iron06.pdf>

和鉄の道 Iron Road [6] たらだら幽霊探訪 2006

3. 鬼魂の鬼「アラリ」の足跡 「清水寺・将軍塚」 2006.2.9.
<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/6/iron03.pdf>

和鉄の道 Iron Road From Kobe

① From Kobe 2008年2月 日本人の祖先の一部 節分の「鬼」 2008.2.3.
<http://www.infokkina.com/ironroad/2008by/002/002in00.htm>

② From Kobe 2010年2月 今年も部分の鬼によせて「福は内・鬼も内」 2010.1.30
<http://www.infokkina.com/ironroad/book/natsu/fukob1002.pdf>

2. 神戸 摂播因境に残る招福の鬼詠り 神や仏の化身の鬼の追跡式

和鉄の道 Iron Road [12] たらだら幽霊探訪 2012

2. 神戸の鬼 鬼の魔をう 2012年2月

神戸長田の鬼「長田神社の鬼」と 福美町野寺「高麗寺の鬼」

<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/12/iron02.pdf>

1. 神の化身 7個の鬼が競えさかる忍耐を磨いて強盛る 神戸長田神社 節分・通越式 2012.1.3

2. 石の化身 お鬼・萬鬼・凶 払う火の通すう石動か鬼の鬼 稲庭寺 高麗寺 節分式 2012.1.10

和鉄の道 Iron Road [13] たらだら幽霊探訪 2013

1. 神戸 神戸琵琶湖境 白川道沿い「妙法寺の新年招福の通越式」 2013.1.3.

「妙法寺」にさくから伝えられてきた10匹の鬼藉 新年招福の通越式

<http://www.infokkina.com/ironroad/book/iron/13/iron01.pdf>

神戸では、1月17日 阪神淡路大震災の日を迎える、あの時のことを思い浮かべつつ
同じ苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに思いをはせています。

今 元気にくらしていることを感謝しつつ お互い元気で 日一日を笑顔で すごせたら

「 忘れまい 忘れないで

暖かい希望の輪がつながっていることを

困難の中に居られる方々を 応援しよう !!」 と

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃。

毎日元気に神戸で過ごしています。

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください

気軽にお付き合いのほどを。

色々お教えいただきたくお願ひします。

2013.1.15. from Kobe Mutsu Nakanishi



京都 高野橋から眺める雪帽子をかぶった比叡山 2012.1.16.

【2013年 1&2月 home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年1月

西神戸 摂播国境に残る「神や仮の化身の鬼」の追雛式

1. 白川街道「妙法寺」新年招福の追雛式 10匹の鬼が舞い踊る 2013.1.3.



2013年正月3日 伝統の追雛式
神戸 妙法寺 追雛式



神戸須磨摂播国境 白川街道沿いの「妙法寺」に古くから伝えられてきた 10匹の鬼が舞い踊る新年招福の追雛式 2013.1.3.

新年を迎え、節分が近づくと気になる「鬼」

昨年 私の住む西神戸の摂播国境周辺から播州にかけての古い街道筋集落の神社や寺に神や仮の化身である鬼が舞い踊り、災いを祓い、福を招く追雛式・鬼踊りが残っていることを知りました。

昨年は 神戸長田の森「長田神社の追雛式」 東播磨 稲美町野寺「高園寺の鬼追式」に参加しましたが、今年はお膝元 白川街道沿い妙法寺集落にある「毘沙門天を祭る妙法寺」の伝統の正月行事 10匹の鬼が招福の鬼踊りを舞う「妙法寺追雛式」に行ってきました。

また産鉄の地東北の人たちに広く愛される一方、大和から「鬼」とされた東北の雄「アテルイ」

NHKBSドラマとして放送されはじめたこと也有って、この「アテルイ」ほか、「和鉄の道」で取り上げてきた日本各地の鬼伝承を再度リストアップしました。



水田稻作・弥生の始まり・縄文と弥生の融合を示す 2012.12.21.

2. 大阪湾沿岸の弥生集落 田能・口酒井遺跡を訪ねる

「はるばるやってきた東日本縄文系の人たちが、
当時西より伝播してきた水田稻作を食い入るように眺め、
技術習得の生活を一緒にした集落。 弥生/縄文人は戦わず、
融合して日本人が生まれたことを解き明かす」

伊丹空港と猪名川に挟まれた狭い所 口酒井弥生遺跡

伊丹市にある弥生早期の集落遺跡「口酒井遺跡」といっても、

よほど弥生の歴史好きか研究者でないと知られていない。

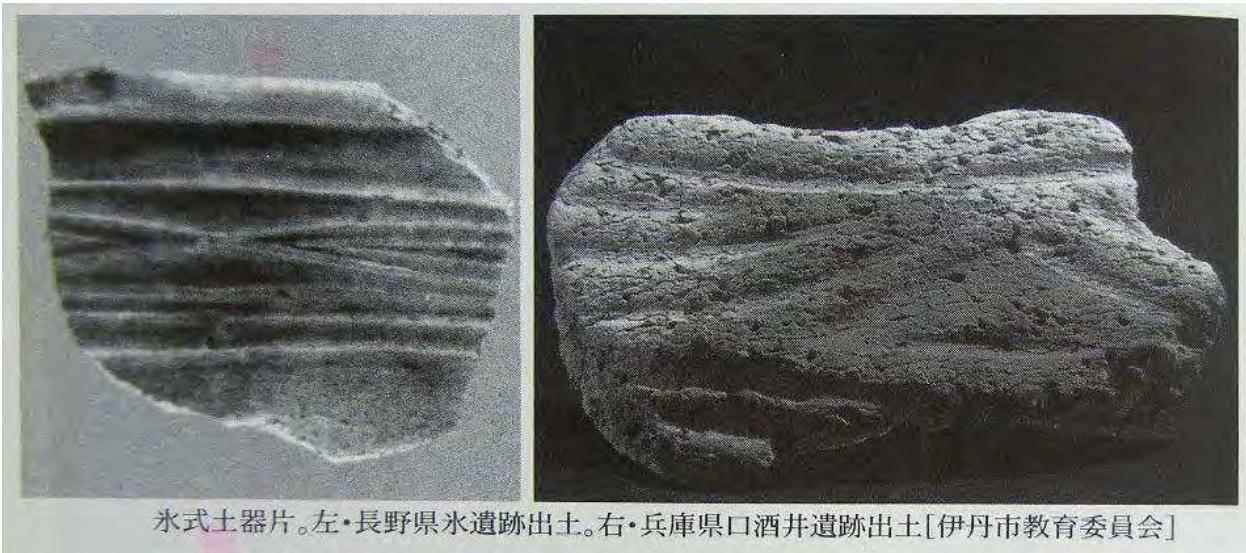
阪神間・伊丹でもそうである。

「はるばるやってきた東日本縄文系の人たちが、
当時西より伝播してきた水田稻作を食い入るように眺め、
技術習得の生活を一緒にした集落で、弥生/縄文人は戦わず、
融合して日本人が生まれたことを解き明かしてくれた」



こんな素晴らしい集落がすぐ近くにあったのを知って、
前々から気になっていましたが、昨年末ついに訪ねました。

近くの伊丹空港に隣接する猪名川東岸にそんな素晴らしい弥生早期の集落がある。 気になっていた口酒井遺跡を隣接する田能遺跡と一緒に訪ねました



東日本の縄文系の人たちが来ていた証拠 周辺の土で作られた口酒井遺跡出土縄文系土器

今月の風来坊 Country Walk 2013年1月

今回「風来坊・Country Walk」の更新はありません



雪をかぶった北山杉を見たくなって 京都 鞍馬街道を少し歩きました 花背峠にむかう古道橋で 2012.1.16.

今月のfrom Kobe 2013年1月

from Kobe 2013年1月

迎春 2013年1月 新しい変革の年に 2013.1.15.

《21世紀にふさわしいエンジニアと「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」》



3.

2013年 早春 3月 「Iron Road・和鉄の道」 四季折々

2013.3.5.



どこかで春が生まれてる 梅の枝にも花が 2013.2.21.網敷天満宮で

《今月掲載の和鉄の道 製鉄関連遺跡の探訪》

左側は「伊勢守山城とその城下町」の歴史年表と、文部省編「収録された日本列島(37)」から選択した古地図(2013.2.21. 鶴田勝利氏)による。

○14世紀計測法発表から10年 計測法の現状
愛媛大学のアジア歴史講演会 新井宏氏講演
「考古学における新年代論の諸問題」より整理

「卑弥呼の邪馬台国」の候補地を訪ねる[1]
東近江野洲川南の湖岸近く弥生後期の大集落
守山市伊勢町「伊勢遺跡」

「卑弥呼の邪馬台国」の候補地を訪ねる[2]
吉野ヶ里に匹敵する四国諸島の大集落
春通寺市「旧練兵場遺跡」



早春の神戸 須磨海岸 網敷天満宮 &須磨海浜で 2013.2.21.

◆ 弥生三月「どこかで 春が生まれてる」



「どこかで 春が生まれてる 弥生3月東風吹いて どこかで 春が生まれてる」

まだまだ 冷たい風が吹いていますが、各地の梅便りが届く中 須磨の梅の花も花をつけ、遠く眺める茅渟の海は春の陽光にきらきらと輝いています。西神戸春の風物詩「いかなご漁」も始まり、いかな後の釣煮」の情報交換が 毎日の挨拶に・・・毎年のことながら、神戸須磨の春始め。

ぶつぶつ言っていることが多いこの頃ですが、「Stay Young Day !!

お互い笑顔で 前向き思考 支え合い 声掛け合って 希望を胸に 毎日を大切に」

街にも出て・仲間にも会って 元気だして 巡ってきたこの春を楽しもう・・・・と。

2013. 3. 5. kobe Mutsu nakanishi



早春の神戸須磨海岸で 2013.2.21. 須磨海浜 & 網敷天満宮で



雪の比良蓬萊・打見山を背に 関西で一番早い菜の花畠

2013.2.11. 琵琶湖 守山なぎさ公園で.

【2013年 早春3月の便り 2013.3.5】

- 1 「春はもうそこまで」毎年確定申告で始まる須磨の春
- 2 早春の「比叡山きらら坂」トライ
- 3 2012年版「和鉄の道・Iron Road」電子ブック
- 4 タブレット端末「Nexus 7」その後
- 5 山口萩焼の田中講平さん 3月末戸のイベントに出店
- 6 今月のhome page 更新記事



Stay Young Day !!

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

原因老人の事務に関する
ルーツ原因の解明と防止
そして対策突破の)當止め

あまりごもん個人の責任にするこの頃
現場で徹底的におこなわれました言葉です。

以前はスピード走った毎日でしたが
今は遅回せず、高齢者の方へお手伝いして
その量も結構認めてる時です。

「まあええか 元気だして行こう」と
心は行ったり来たりです

今までのことを 猪一郎 声かけあい 支えあって
真げないで おれないと
暖かい希望の輪がつながっていることを

春はもうそこまで、毎年確定申告で始まる須磨の春

2月21日須磨の税務署へ確定申告を済ませました。

年金生活で特に申告することもないのですが、頭の体操と何がしかの還付金が楽しみで、毎年確定申告をパソコンで作る。家内の白内障手術や何やかやで、医療費が膨らんだので、期待が膨らむが、データを打ち込んだPCの回答は「3月15日までに不足の税金を納めよ」という。

「当て外れ。なんでやねん??」と去年の資料と見比べると1箇所必要経費を入れ忘れ。修正すると今年も「還付金振込む」とPCが答えてくれて、にんまりです。

須磨海岸にある税務署に書類を出して、須磨の海を訪ねる。きらきら光る須磨の海 網敷天満宮は梅が咲き出し、須磨寺は「お大師さん」でおお賑わい。喧騒を抜けて須磨寺の奥に眠る仲間の墓に参って、帰ってきました。

まだまだ吹く風は冷たいのですが、「春はもうそこまで」

確定申告で始まる毎年の春のはじまりです。

屋久島縄文杉トレーニング「比叡山きらら坂」ハイク



高野橋からの比叡

蛇が池スキー場跡

四明嶽周辺より京都遠望

学生時代の山仲間から、「屋久島合宿やろう」との誘いがあり、「願ってもない。縄文杉は是非見たいし、帰りに種子島の砂鉄の浜へも立寄りたい」と。幾組か夫婦一緒だと聞くと「家内も行きたいという」

気楽に縄文杉へと思っていましたが、往復 20km 10 数時間・高度差約 700m の walk。息子に「歳と体力 大丈夫かいな???」といわれてはっと気がつく。「これから 出発まで毎週トレーリングや」と須磨の山ハイクを手始めに、高度差 700m の経験に急登の京都比叡山ハイクに。

縄文杉までとほぼ同じように一気に 600m 登る急なのぼり道が続くきらら坂からの比叡山ハイク。

家の実家から歩いて街中を抜け、登山口まで長い道を歩いた後、続けて約 600m の急な登り道を歩けるか・・

家の足のチェックでしたが、家内はヒヨイヒヨイと。ビックリでした。

もっとも、比叡山の登り道は途中から雪道でツルツルで、おっかなびっくり。頂上は雪にうずもれていて、初めての雪中登山の美しさにレンレンでした。帰りはケーブルで楽勝と思っていましたが、琵琶湖側・京都側どちらも冬季休止中。結局 家内はだいぶビビっていましたが、きらら坂を帰ってきました。

京都の誰もが知るハイクの道ですが、侮ると厳しい。かつて京都の街と比叡山を結ぶ最短コース 日蓮・親鸞・最澄など比叡山の坊さんが京都へ通った道 夜道もあつたろうと思うのですが、よう通ったなあ・・・と。

屋久島縄文杉までは行けなかったら、途中でへたり込むつもり。

トレーニング続ければなんとかなりそう。楽しみです。



タブレット端末「Nexus7」使用その後

スマートフォン世代でない私には戸惑いも多いのですが、慣れて使い出すと本当に便利です。

「画面を右から左へ「サマー」と指を滑らせたら画面が変わる」

「端末に話しかけたら検索・ナビ・英訳」メールもインターネットも自由自在」

毎度TVのコマーシャル スマートフォンの映像がなんともうらやましく 時代の流れに取り残されまいと昨年暮れにタブレット 端末「Nexus7」を買いました。

使い方の説明書はないし、ソフトは入っていないし、パソコン・携帯との通信もどないしたら良いのか?? タブレット PC Nexus7 使い出して約3ヶ月。手探りで始め、いまだにデータの保存などどないなっているのか チンパンカンパンです。でも、インターネットとメールと google さらに google earth と地図検索 それだけしか出来ませんが、パソコンよりはるかに 快調にいろんなことが出来る。

メールチェックや google・yahoo 検索に地図・動画や電子ファイル見るのには抜群に早いし、持ち歩きできるのも本当に goo。バスの時刻表も行き先案内もスピーディにガイドしてくれる。音声入力など夢の世界と思っていたのですが、TV コマーシャルどおりほんま物。インターネットにつながっている場所の翻訳も。片言の英語よりましの域に入っています。



本当にビックリで、重宝。若者たちがスマートフォンに飛びついているのもよく判る。

まだ、「屋外に持ち歩いて Wi-fi で自由にインターネットにつなげる」ということができず、スマートフォンを使わぬ私には、電車の中で スマートフォン見ている若者がうらやましくなる。

でも、そのうち もっと使い勝手良くなるだろう。

2歳前の孫にちょっと教えてやると 画面に「アンパンマン」と話しかけて、動画を出して指をスライドして画面をチェンジするし、歌にあわせて踊りもする。孫との欠かせぬコミュニケーションツールです。

私の方は 最近枕元に置いて、落語を聴きながら眠るのが気に入っている。

勝手に電源が切れるのもよし。情報化社会が急速に進み、あれよあれよという間に、知らないと損するそんな置いてきぼりの情報化社会になってきている。この動きはもう 止められないだろう。

老齢者もスマートフォンなど電子端末になれないといかん時代です。

なお、スマートホン・携帯での接続通信料金は契約の仕方・選択で、とてつもない料金を取られることがあるのでご注意を。



山口萩焼の田中講平さん 3月末に神戸のイベントに出店



神戸手作り市 in 六甲アイランド >> 2013. 3. 30. -3. 31.

楠公さんの手作市 >>

2013. 4. 1.

〔今月の和鉄の道・Country walk より〕

◎ C14 年代測定法がセンセーショナルに登場して 10 年 の計測法の現状は

精度よく絶対値で年代が計測される

「C14 年代計測法」が登場して 10 年。国立民俗博物館がこの C14 年代計測法の年代計測により、「弥生時代が 500 年遅れる」「箸墓が卑弥呼の墓」とセンセーショナルに発表して、論争が巻き起こってきたが、いまだに決着を見ていかない。

今回愛媛大学アジア歴史講演会で「考古学における新年代論の諸問題」と題する新井宏氏の放射性炭素 14 の計測に基く新年代計測についての講演を聴講させてもらったので、この新井宏氏講演聴講整理録を作成し、私見ですが、C14 年代測定法の現状を整理検討してみた。また、時を同じくして朝日新聞に、この C14 年代測定法の現状についての連載記事「どうする？ どうにする？ 歴史のズレ」が掲載されました。

◎ 卑弥呼邪馬台国候補地の不思議

纏向遺跡・吉野ヶ里遺跡以外にも卑弥呼の邪馬台国にふさわしい都市機能をもった弥生の大集落が、四国讃岐の善通寺や東近江の守山にあると聞いて、現地見学に出かけました。今は何も遺跡の痕跡が見られない場所なのですが、いってみると知らなかった色々な事や景色に出会えてうれしい。

卑弥呼邪馬台国候補地である都市機能を持つ大集落には、それぞれ、まだ未解明の不思議な特徴がある。

纏向遺跡 人が住んだ集落跡画でない

東近江伊勢遺跡 鎧など鉄製武器がほとんど出土しない

善通寺練兵場遺跡 鉄製の武器が大量に出土

いずれも弥生後期から末期への都市機能を持つ大集落で何が起こって いたのだろうか

卑弥呼邪馬台国候補地のひとつといわれる「四国善通寺練兵場遺跡」・「東近江守山伊勢遺跡」の現地探訪記を掲載しました



弥生の始まりが確定していない歴史年表

文化庁編「発掘された日本列島 2012」新発見考古速報 (2012. 6. 30. 朝日新聞社) より

◎ 関西で一番早い菜の花畠

むしょに雪の比良と一面まっ黄の菜の花畠を見たくて、琵琶湖野洲川河口 守山のなぎさ公園へ、伊勢遺跡野見学 follow を兼ねてゆきました。

この3月には 一年に一回 再会を楽しむ同窓会。 今年も参加できるのがうれしい。

持病に体力の衰えで参加がままならぬとメールをくれた仲間も多くなった。

どこにいても「つながっている 思いはせる仲間」がいるだけでうれしい。

また、屋久島縄文杉ウォークの鍛錬にも 身を入れねば・・・・

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃。 毎日元気に神戸で過ごしています。

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください。 気軽にお付き合いのほどを。

引き続き、色々お教えいただきたくお願ひします。

2013. 3. 5. from Kobe Mutsu Nakanishi



琵琶湖守山は 湖面に張ったエリに魚を誘い込むエリ漁発祥の地

まっ黄色の菜の花畠の前の琵琶湖は春の琵琶湖の風物詩 エリの仕掛けによる鮎の稚魚「氷魚」漁の真っ最中

【2013年3月 home page 更新記事概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年3月

《資料》愛媛大学 第13回アジア歴史講演会

1. 新井宏氏 講演「考古学における新年代論の諸問題」聴講整録 2013.1.26

「考古学における新年代論の諸問題」資料・図の抜粋によるC14年代計測法の現状整理



文化庁編「発掘された日本列島2012」新発見考古速報 (2012.6.30. 朝日新聞社) より

精度よく絶対値で年代が計測される「C14年代計測法」が登場して10年。

国立民俗博物館がこのC14年代計測法の年代計測により、「弥生時代が500年遡れる」「箸墓が卑弥呼の墓」とセンセーショナルに発表して、論争が巻き起こってきたが、いまだに決着を見ていない。

今回愛媛大学アジア歴史講演会で「考古学における新年代論の諸問題」と題する新井宏氏の放射性炭素14の計測に基づく新年代計測の現状についての講演を聴講させてもらったので、この新井宏氏講演聴講ならびに資料整理録を作成し、私見ですが、C14年代測定法の現状を整理検討してみた。

また、時を同じくして

◎ 「福井県水月湖の湖底堆積物5万年分の解析DATAが、C14年代国際較正曲線に組み込まれる」との報道、

◎ C14年代測定法の現状について 朝日新聞連載記事「どうする? どうにする? 歴史のズレ」

を眼にしましたのであわせて収録しました。

◎ 墓古墳のC14年代計測値のばらつきについて

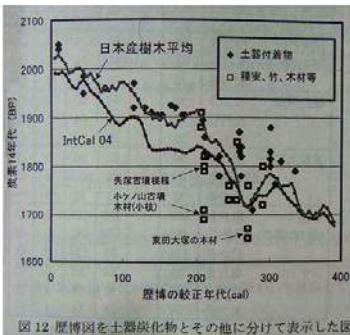
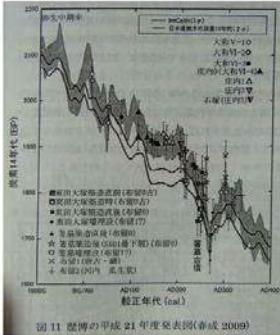


図12 歴博図を土器炭化物とその他に分けて表示した図

卑弥呼の時代と呼ばれるAD250頃は丁度校正曲線の深い落ち込みのある時代で
炭素14計測年代の計測値ばらつきとこの落ち込みの関係を頭に入れた校正年代の検討が必要である。

福井県・若狭湾近くにある三方五湖の一つ「水月湖」で、湖底を掘削して5万2800年前までの堆積物を探取し、1年に1枚できる薄い地層ごとに年代を精密に測定したと、日歴の研究チームが19日付の米科学誌サイエンスに発表した。

放射性炭素14(C14)と、炭素12の比率を調べた。この年代測定法は地層の年代を調べる有力手段だが、誤差を補正する「物差し」が必要。チーム代表の中川毅・英ニューカッスル大教授は「水月湖のデータは約5万年間で170年の誤差しかない。世界一精密な年代目盛りになる」と話している。

これまで海底堆積物やサンゴ礁、洞窟の鍾乳石のデータが総合的に使われてきたが、今後は水月湖のデータも取り入れることが7月の国際会議で決まった。地球規模の気候変動をより正確に解明できるほか、火山噴火や大地震の防災、考古学などに役立つと期待される。

(2012/10/19-05:15)



plain light polarised light
1 year 1 year
1 year 1 year

福井県・水月湖の断面の様子(写真上)
過去約28000年分まで採取された堆積物(右下)。
日歴チームは放射性炭素年代測定法の「世界一精密な
目盛りになる」と発表した。(米サイエンス誌提供)

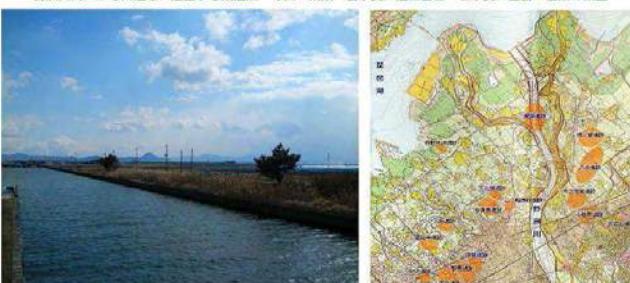
「卑弥呼の邪馬台国」の候補地を訪ねる【1】 滋賀県守山市伊勢町 伊勢遺跡

2. 東近江野洲川南の湖岸近く弥生後期の大集落「伊勢遺跡」を訪ねる 2012.11.21. & 2013.2.11.

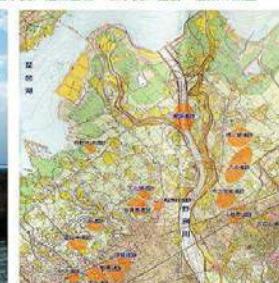
魏志倭人伝の記述《卑弥呼の居処は「宮殿・祭殿」・「樓閣・城柵」》すべてがそろう弥生後期の大集落



伊勢遺跡



野洲川河口から川越しに遠望する東近江 守山・栗東 左手奥に近江富士 右手奥に金勝・信楽の山並



野洲川河口には船溜まりの櫓割港

野洲川デルタの弥生・古墳時代の遺跡

魏志倭人伝には 卑弥呼の居所には「宮殿・祭殿・樓閣そして城柵がある」と記述されたそんな國の機能を有した弥生の大集落が、邪馬台国出現直前の1~2世紀 唯一東近江にあったという。

場所は東近江 琵琶湖へ南の鈴鹿から流れ下る大河 野洲川の琵琶湖河口近くの平野部 守山市伊勢町。

「伊勢町」の名が示すごとく、琵琶湖の東岸を東西に結ぶ街道と北からは琵琶湖を介して山陰・北陸そして大陸とつながり、南には野洲川沿いを鈴鹿へ溯り、伊勢・東国や大和へつながる交通の要衝。縄文時代から数多くの人達が往来した近江平野の中心部で、この集落北東側 野洲川の岸の向こうには東近江のシンボル「近江富士・三上山」が秀麗な姿を見せる。

伊勢遺跡の大集落と指呼の距離にあるこの近江富士・三上山の麓の丘大岩山からは入子の形で埋納された20を超える銅鐸が出土し、伊勢遺跡と共に、弥生の末に起きた銅鐸・青銅器から鏡・鉄器の時代へ古墳時代の幕開けに大きな役割を担ったことを示している。

また、伊勢遺跡からは「国」の様相を示す魏志倭人伝に記載されたとおりの遺構がそっくりそのまま出土したばかりでなく、「弥生の大集落では、通常 鎖などの武器類を大量に出土するにもかかわらず、この伊勢遺跡からは武器類が出土しない」との特異性も有している。 邪馬台国大和説を想定すれば、多くの国に擁立された卑弥呼がこの伊勢遺跡から、纏向遺跡へ平和裏に移っていたのではないか・・・とのイメージを話す研究者もいる。

2012年9月30日 兵庫県立考古博物館シンポ「卑弥呼がいた時代」で「東近江に 卑弥呼の居処を思わせる大型建物が建ち並ぶ吉野ヶ里や纏向遺跡に匹敵する大集落があった」と熱っぽく東近江伊勢遺跡を語る日本考古学協会理事森岡秀人氏の講演を聞いて、ビックリ。これは是非見に行ってこなければ・・・と

この東近江には日本列島の東西・南北交流の十字路 古くから数々の遺跡があり、渡来人も数多くやってきた場所と知るのですが、卑弥呼の時代の直前の1～2世紀に弥生後期に 邪馬台国につながる王城遺構を持つ大集落があったとは初めて聞く話。ほとんど知りませんでした。

弥呼の邪馬台国 卑の候補地を訪ねる【2】 善通寺市「旧練兵場遺跡」
3. 日本各地の人が交流した大都市集落 善通寺市「旧練兵場遺跡」を訪ねる 2013. 1. 27.
吉野ヶ里に匹敵する四国讃岐の弥生後期の大集落



日本各地に国が起こる弥生時代の終末期の3世紀卑弥呼の時代、邪馬台国論争が続く中、邪馬台国の所在地と提案された九州吉野ヶ里遺跡や奈良纏向遺跡以外にも、国の規模を有する大きな都市機能を有する大規模中心集落が、日本各地に幾つが存在する。

この3世紀は実用鉄器が本格的に普及してゆく時代でもあり、鉄の流通には、この地域拠点集落が重要な関係を持っているに違いなく、あまり意識していなかったこの弥生の地方拠点集落の地を訪ねて、和鉄の道を眺めたいと。

今回は 四国讃岐平野の北西部善通寺市にある讃岐の拠点大集落「旧練兵場遺跡」を2月27日松山へ行った帰りに訪ねました。

讃岐平野が広がる香川県の北西部位置し、空海生誕の地といわれる善通寺市。地形は平坦ですが、南に金比羅宮がある琴平山に続く大麻山、西に五岳の山々を背に山裾からなだらかな傾斜で平地が讃岐平野に続いており、このあたりまで、瀬戸内の海が広がり、かつては屏風ヶ浦と呼ばれていた。

四国八十八箇所 善通寺は屏風浦五岳山誕生院と称し、今も参詣の人が絶えない。

善通寺市旧練兵場遺跡は善通寺のすぐ北東側に広がる平地部にあり、縄文時代から中世にかけて絶えず受け継がれてきた大集落で、特に弥生時代中期から古墳時代前期にかけて大いに栄え、日本各地の人々が交流した讃岐国を中心の大都市集落である。 大集落跡を示す数多くの遺構と共に数々の周辺諸国の物品・土器などの遺物が出土している。

かつて、この地が練兵場であったことから、「弥生末期讃岐国を中心集落 旧練兵場遺跡」と名づけられた。

まだ、遺跡全体が発掘調査されたわけではないが、遺跡野大きさはほぼ吉野ヶ里遺跡にも匹敵し、ここに卑弥呼の邪馬台国があったと提案する研究者もいる。

今月の風来坊 Country Walk 2013年3月

【写真アルバム】

1. 琵琶湖 野洲川河口 守山市なぎさ公園の菜の花畠に一足早い春を訪ねる 2013. 2. 11.
なぎさ公園から眺める早春の琵琶湖・近江富士(三上山)・御上神社



雪の比良をバックにしたまっ黄色の菜の花畠もばっちり。また、菜の花満開の湖岸から見る琵琶湖には、エリ漁の仕掛けがみられました。エリ漁のしかけも年々減ってしまって見られないと聞いていたのでラッキーでした。

まだ少し冷たい比良おろしが吹く野洲川河口の湖岸《守山なぎさ公園》には菜の花が咲き乱れ、一面まっ黄色。

コバルトブルーの大海上にはエリ漁のしかけ。そして対岸向こうには雪を戴いた蓬萊・打見山。

一足早い春。ゆったりとした空間が流れて、これが東近江の春。

昨年12月 東近江「伊勢遺跡の見学に訪ね、遺跡から垣間見える周囲の山々や琵琶湖・野洲川に思いをはせるも、実際に訪ねることが出来ませんでした。

この野洲川河口「守山市なぎさ公園の菜の花が満開になった」と聞いて、再度野洲川河口や野洲川デルタそして其の背後に聳える東近江のシンボル三上山山麓の御上神社・銅鐸博物館を訪ねました。

比良から吹き降ろす風にちよっぴり震えながらも、心地よい 琵琶湖・野洲川河口探訪に満足でした。.

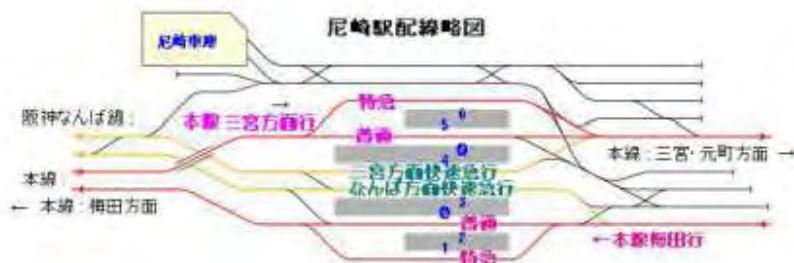
今月の from Kobe 2013年3月

from Kobe 2013年3月

街で見かけた面白いこと 2013.3.5.

停車中の電車の中を通り抜けて隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅

しかも走る電車の車掌の公式アナウスがある



ホーム	路線	方向	阪神尼崎駅構内ホーム	行先
1	■本線	TJ	平野・梅田(三宮)・明石・姫路方面 (梅田方面からの直通)	
2	■本線	下り	平野(三宮)・明石・姫路方面 (梅田方面からの直通 阪神なんば線からのホーム上乗換可)	
4	■本線	TJ	平野・梅田(三宮)・明石・姫路方面 (奈良・難波方面からの快速急行)	
3	■阪神なんば線		西九条・トーム野・姫路・西宮・伊丹・芦屋方面	
2	■本線	上り	對田・大阪(梅田)方面 (阪神なんば線へのホーム上乗換可)	
1	■本線	上り	對田・大阪(梅田)方面	



阪神尼崎駅

なんば線快速急行→本線普通電車→本線特急 の乗り換え

4.

2013年 春 4月「Iron Road・和鉄の道」 四季折々

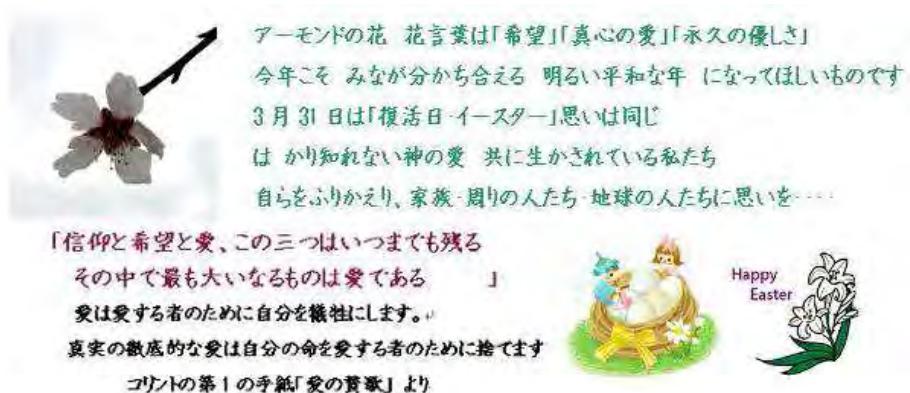
2013.4.5.



山も里も街も そして人も 一機にモノトーンから春色に 何か閉塞感が飛ばせそうな期待に満ちた 4月



今 桜満開の神戸 街には多くの人が出て 華やいだ気分に
この4月 厳しい世相の中 多くの人達が希望を胸一杯に 新たに旅立ってゆく
“自分の道をまっしぐら がんばって～!!”とエールを送りたい



3月31日は「イースター・復活日」
古希になる本年 仲間・家族に支えられながら 今を見失うことなく 元気に生きたいと

春を告げる妖精「カタクリの花」

地球氷河期の生き残り

日陰の山腹の斜面で冷たい風に身を打ち震わせる姿に

いつも 心をゆさぶられる

「ガンバレヨ!」と声を掛けたくなる花

一番好きな花のひとつである。

花言葉は 「初恋」・「寂しさに耐える」



桜が満開になるとぐそのあと里山の雑木林の中で ひっそりと咲き始める春一番の花 桜が早く満開になったこともあって、西神戸雌岡山の自生地でも、咲き始めました。

つい2週間前はみんな土の中だったのに 春爛漫 家族ともども元気なのがうれしいこの頃です

《今月掲載の和鉄の道 製鉄関連遺跡の探訪》

7世紀の福岡元岡古墳群G6墳より金象嵌入りの太刀 古代たらの製鉄・鍛治技術の実力を示す刀の出土



く 私の好きな春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました く



2013.4.4. 西神戸 神出 雌岡山山腹のカタクリ群生地で

桜が満開になると すぐそのあと 大好きな春の妖精「カタクリの花」が咲き出す

氷河期の生き残りで花が咲くまで7~8年 1枚葉の時期を経た後、2枚葉の個体となりやっと開花 しかも咲いているのは
1週間ほど。まだ 冷たい風が吹き抜ける山腹の雑木林の中で 風にしっかりと顔を向け 身を打ち震わせて立ち向かう
そのなんともいえぬ姿に「ガンバレヨ!」と声を掛けたくなる花で一番好きな花のひとつである。

毎年 元気づけられる私一番の春の草花 今年はどうも早く咲き出しそうだと 気になって見に行くと

ひっそりとした雌岡山山腹の群生地で もうカタクリの花が咲き出していました

つい2週間ほど前に見に行ったときには まだ若葉もない土の中 今年はどうか?と心配していましたが……

今年も「カタクリの花」に出会えてあわせ。昨年は この花を好むギフチョウが花の蜜を吸うのを見ました。

その ギフチョウもどうしているか… 山腹一面に咲きそろった頃にもう一度出会いに来よう

【一気にモトーンから若草色に芽吹き始めた 西神戸の里山 2013. 4.3. 押部谷 大山寺で】



【 庭の草花も一気に咲き出して 春の庭に 2013.4.1. 】

毎年育てているツタンカーメンの豆も花をつけ、収穫を待つ孫やご近所の子供達にも分けられそう。



神戸から大阪へ向かう阪急電車の沿線には桜の名所が多い
ふと前方の運転席を眺めると女性の運転手さん
阪急電車では初めてでありました。 2013.4.2.



新神戸駅南側 布引谷から流れ下る生田川の両岸は桜のトンネル
2013.4.1.

【2013年 4月 春便り 2013.4.5.】

1. 4月 山・里・街そして人も一気に春色に
2. 復活日・イースター 今の思いを
3. 春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました
4. パソコンウィールズにご注意を 孫から泣声で緊急SQ
5. 今月のhome page 更新記事



山・里・街そして人も 一気に春色に 期待に満ちた4月です

早春の冷たく荒れた天候がうその様 4月になって 一気に春爛漫に

山・里・街そして人もみんな モノトーンから春色へ 期待に満ちた4月です

厳しい時代ですが、元気が一番 前向いて!! と新しい出発にエールを送りたい。

相変わらずのホームページ更新ですが、元気に神戸で過ごしています。



3月31日は 「復活日・イースター」

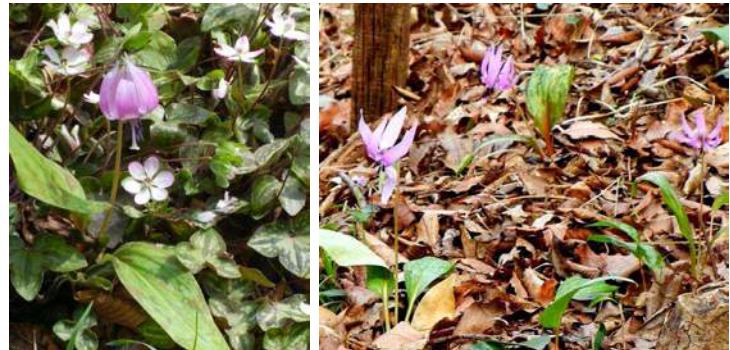
古希になる本年 仲間・家族に支えられ、
今を見失うことなく元気に生きたいと





私の好きな春の妖精「カタクリの花」が咲き出しました

桜が満開になるとすぐそのあと 毎年 楽しみで春を待つ一番好きな花 春の妖精「カタクリの花」が咲き出した。
 まだ、すこしですが、雪割り草に囲まれて咲く姿も。
 氷河期の生き残りで花が咲くまで7~8年
 やっと開花。しかし咲いているのは1週間ほど。
 まだ冷たい風が吹き抜ける山腹の雑木林の中で
 風にしっかりと顔を向け 身を打ち震わせて立ち向かう。そのなんともいえぬ姿に「ガンバレヨ!」
 と声を掛けたくなる
 今年も「カタクリの花」に出会えてしあわせ。



屋久島縄文杉トレーニング 花粉症にも負けず 六甲周辺の野山をハイクトレーニング



《屋久島縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク》

- | | | | |
|--------------------|--------------|---------------------|--------------|
| 1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ | 2013. 2. 23. | 2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ | 2013. 3. 2. |
| 3. 菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋 | 2013. 3. 5. | 4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク | 2013. 3. 16. |
| 5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ | 2013. 3. 17 | 6. 武田尾/宝塚 武庫川渓谷廃線歩き | 2013. 3. 23 |



学生時代の山仲間から、「屋久島合宿やろう」との誘いがあり、「願ってもない。縄文杉は是非見たいし、帰りに種子島の砂鉄の浜へも立寄りたい」と。幾組か夫婦一緒だと聞くと「家内も行きたいという」。
 気楽に縄文杉へと思っていましたが、往復 20km 10 数時間・高度差約 700m の walk。息子に「歳と体力 大丈夫かいな???」といわれてはっと気がつく。「これから 出発まで毎週トレーニングや」と。

須磨の山ハイクを手始めに、1ヶ月 六甲周辺の山をトレーニングの週末ハイク。

帰りには三宮の好日山荘へ立寄って、若者に混じっての装備の点検と相談。地図を広げて ルートをプロットして距離と高度差をチェック 行程を決める。 風来坊の私にとって 計画的に歩くなどトンと記憶なし。

最初はちょっときつかったのですが、「縄文杉 縄文杉」と。おかげで体重も少し減って 昇り降りが少し楽になった気がする。なんといっても かえって飲む酒がうまい。

また、最初は比叡の雪道に震えながら それが若葉の春山にそして 満開の梅から桜へと。

今年は 中国大気汚染物質 PN2.5 の飛来が大きいのか?霞が濃くて、六甲稜線から眺める 大阪湾の景色霞んで残念でしたが、それでも春景色の変化を楽しめるハイクに。

なんとか 二人して 縄文杉まで行けるやろう。あかんときは途中でチンして 帰りを待とう。

今月の更新に3月せっせと通った「早春の六甲周辺の野山 トレーニングハイク」をスライド動画にして掲載しました。お暇な時にどうぞ。なお、この3月 散々花粉症に苦しましたが、山に入ると 不思議と眼も鼻も喉もピタッと快調に。街に戻るとまた、涙ポロポロ鼻はズルズル。排気ガスが花粉症の引き金か・・・やっと 花粉症もおさまって、屋久島行が待ち遠しい。



パソコンウィールスにご注意を 孫から泣声で緊急 SQ

知らぬサイトの動画ダウンロード・ネットサーフィンにはご用心を

つい先日 朝 中1の孫から泣声で緊急 SQ。「パソコンつぶれた ダウンロードして再起動したら 真っ暗になって動けへん。怒られる前に はよ 直しに来て」と。深夜 動画をネットサーフィンしていて、怒られた後のことようだ。かつよく「そんなん すぐ直したる」と Nexus7を持って出向いたもの直せない。

起動すると「ようこそ Windowsへ」の画面の後 真っ暗になって何も言わぬ。パソコンの復元も効かないし、バックアップもなし。孫がデニッシュのパンとコーヒー買ってきて そっと差し入れてくれる。かわいいものである。Nexus7からインターネット情報探して、原因がわかった。

「トロイの木馬型の亜流ウィルス ワクチンもなにもなし。パソコンからハードディスクを取り出して、別のパソコンで 駆除ソフトを使うか パソコンの中を全部消してフォーマット。全ソフト入れなおすしか道なし」と。

自宅に持ち帰って、悪戦苦闘しながら、一日かけて 全ソフトを入れなおし、やっと元に戻った。電話の向こうで 嬉しそうな声で「直った?? 有り難う」と。「ウィルスにPC汚染して どうにもならぬ」とよく聞くがこれか・・・。初めての経験でしたが、これで「おじいちゃんの信用」もちょっと戻った。知らぬサイトの動画ダウンロード・ネットサーフィンにはご用心を

蛇足ですが、また、2歳前の孫がやってくると すぐに Nexus7を探してやろうという。画面に「アンパンマン」と話しかけ、動画を出して指をスライドして画面をチェンジ。歌にあわせて踊りもする。

パソコンに Nexus7 が加わって 孫との欠かせぬコミュニケーションツール

一年生の孫とも 甲子園へ高校野球へ。みんな 元気で嬉しい神戸の今日この頃です。

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃。

里山や森の中 溪流に身を置くと直に自然を感じられる。

でも 隠遁するつもりは 毛頭なし。

同窓会・落語会 そして 風来坊の街歩きにも また、催しにも色々家内についてゆく

姪には「立ち止まれぬまぐろや」といわれるが、それも由。

毎日元気に神戸で過ごしています。

病・体力の衰えでまなならぬとメールをくれた仲間も多いが、

「つながっている 思いはせる仲間」 どこにいても そんな仲間がいるだけでうれしい。



神戸平野 水の科学館「舞桜」

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください

気軽にお付き合いのほどを。

引き続き、色々お教えいただきたくお願いします。

2013. 4. 5. from Kobe Mutsu Nakanishi



【2013年4月 home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年4月



1. 西暦570年を示す「庚寅」入り金象嵌の太刀出土 国内産素材の大和鍛治の製作?

7世紀初めの古墳 福岡 元岡古墳群 G6号古墳 古代たらの製鉄・鍛治技術の実力を示す刀の出土

太刀には暦使用国内最古例を示す製作年月日そして「十二鍊鉄」の文字も



福岡の西端海岸の丘陵地 広大な九州キャンバス全体に広がる元国製鉄遺跡群

古代防人で知られる大陸・朝鮮半島と対峙する最前線、北部九州で
大型鉄コンビナートが形成される元国製鉄遺跡群の南東端

平野に面する丘陵山腹斜面 元岡古墳群G6墳から金象嵌の銘がある太刀出土

西暦570年を示す「庚寅」「十二鍊鉄」の文字入り金象嵌の太刀
久し振りに「古代たら」の夢が晴らむ太刀の出土である
日本で製鉄が始まり、鉄の量産化が進む中で、日本の鉄を使って、
日本の技術者によって鍛えられた(十二鍊鉄)刀か??

570年というとどうしても始められなかった日本での製鉄・たらの製鉄が始まり、量産化の方法が国を挙げて行われた時代で、確立された量産化技術を基に九州元岡のほか東北・新潟など大和の最重要地点に大製鉄コンビナートが形成された。今回確認された元岡の太刀はそんな展開途上期の国産の鉄を使い、国内の刀鍛冶が鍛えたものに違いないと。

何度も訪れたことがある「元岡」そして
古代たらのロマンを秘めた鉄の登場に
嬉しくなって、以前の元岡の資料なども
引っ張り出して、資料を作りました。

【参考資料 和鉄の道】

- 瀬田丘陵の源内岬製鉄遺跡・野路小野山遺跡を訪ねて 2007.1.
大型量産製鉄炉を確立し、古代官営大製鉄コンビナートに発展させた近江の製鉄技術
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron03.pdf>
- 古代 九州の大製鉄コンビナート 福岡 元岡製鉄遺跡群を訪ねて 2007.6.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron12.pdf>
- 和鉄の道【7】口絵2007 2008.1.
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/7iron00.pdf>
 - たらの製鉄の原点を探して
 - たらの製作過程 古代たらの製作過程
 - 古代製鉄炉の変遷 たらの大きさと構造の変遷
- 8世紀 モデル化された量産古代製鉄炉を完成 地方拠点に大製鉄コンビナートが出現

今月の風来坊 Country Walk 2013年3月

2013.3月 屋久島縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク



1. 早春の比叡山きらら坂・六甲周辺を歩く 2014.4.5.



4月中旬 屋久島縄文杉ハイク参加のため 早春の六甲周辺の野山ハイク6件をスライド動画にまとめました。

気楽に縄文杉へと思っていましたが、往復20km 10数時間・高度差約700mのwalk。

息子に「歳と体力 大丈夫かいな???」といわれてはつと気がつく。「これから 出発まで毎週トレーニングや」と。

須磨の山ハイクを手始めに、1ヶ月半 六甲周辺の山をトレーニングの週末ハイク。

今月の From Kobe 2013 年 4 月

From Kobe 2013 年 4 月】

新年度にむけて また ぶつぶつ 2013. 4. 5.

「2013. 3. 31. 復活日・イースターに」 by Mutsu Nakanishi

今年のイースター・復活日 2013. 3. 31 にメールを配信させていただいている F 主教様から送っていただいたイースターメッセージなどを読み、毎年の事ながら 四月新しい年度の始まりに向けてのいまの思いをぶつぶつと記事にしました



アーモンドの花 花言葉は「希望」「真心の愛」「永久の優しさ」
今年こそ みなが分かち合える 明るい平和な年 になってほしいものです
3月31日は「復活日・イースター」思いは同じ
はかり知れない神の愛 共に生かされている私たち
自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いを……

「信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残る
その中で最も大きいなるものは愛である」
愛は愛する者のために自分を犠牲にします。
真実の徹底的な愛は自分の命を愛する者のために捨てます
コリストの第1の手紙「愛の賛歌」より



◎ 先日見ていた TV ドラマの中で

「真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるものだ。 絶対の真実や正義などありえないのだ」と傲慢に言い放ち、豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら 立つ位置 初めにみんなにみせろ」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないか……と。

自分には 娘さんに見えるのに 相手は婆さんと見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあること これをよく頭に刻んでおかねばならぬ。 真実を見間違う認識のズレこれを知っていて操るやからが多くなっている昨今 以前にもまして じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代 自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

コラム どう見えますでしょうか……



おばあさん??? 美しい美女???? さあ どうでしょうか……

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

5.

2013年5月「Iron Road・和鉄の道」四季折々 2013.5.15.



吹き渡る風が青葉の香りを運んで来る絶好の季節 野山萌え 庭の草花も今が盛り
生命観溢れる生き物たちにエネルギーを貰って われわれもリフレッシュせねばと…

【4月13日-4月16日 念願の屋久島 縄文杉 そして種子島にもにへ行ってきました】



4月13日-4月16日まで 念願の屋久島 縄文杉にへ行ってきました
節くれだった巨体を何の支えもないに縄文の森にそそり立つ姿は王者の風格 やっぱりすごい
もう 同じような巨樹の杉はほかの地でも見られるとはいまいと

屋久島にハウスを建てた学生仲間の招待で、かつての山仲間が集まっての4日間
昔に帰って屋久島を楽しんできました

また、帰りにすぐ隣にある鉄砲伝来の地で島全体の海岸に砂鉄浜が広がると聞く種子島の砂鉄浜や
洋式高炉の先駆技術を育んだといわれる薩摩石組たたらがあったという武部製鉄所跡を見学してきました。
「屋久島と種子島」隣り合う二つの島は島の形といい、
地質そして人の暮らしも含め、何から何まで対照的不思議で魅力一杯の楽しい島でした



種子島の砂鉄浜 左 鉄浜海岸 右 花里浜海岸 2013.4.16.
種子島の砂鉄はたたら製鉄に不向きな高チタン系の砂鉄
でも島の人たちは古代から鉄技術を育んだ「たたらの島」としての愛着が強いのにびっくり 事実はどうなんでしょうか…

【庭の草花も今が盛り 百花繚乱 うれしい春の庭に 2013.5.1.】

桜草が終わった庭に バラにクレマチス ジャスミン アグロステンマ ポピーにすずらんも咲いて
家の角先では ツタンカーメンの豆の収穫 そして黄色や真っ赤なポピーに背の高いピンクのアグロステンマ
毎年の春景色ですが、庭が一番華やぐ時 我が家自慢の景色です



《今月掲載の和鉄の道 製鉄関連遺跡の探訪》

砂鉄・たらの島「種子島」の和鉄の道探訪

鉄砲伝来の島で島にあった鉄家鍛冶技術によって鉄砲の国産化を成し遂げた島「種子島」その島の海岸全体に砂鉄浜が広がると聞く。
種子島の砂鉄そして古代から育まれてきた鉄技術が、この偉業を成し遂げたという。
興味深々で種子島の砂鉄浜そして製鉄関連遺跡を歩いてきました。

洋式高炉の先駆技術といわれる薩摩で育まれた石組たら
この流れのたら遺跡が種子島にあると聞き、その武部製鉄所跡へも行ってきました。



洋式高炉の先駆技術といわれる薩摩で育まれた石組たら
この流れのたら遺跡が種子島にあると聞き、その武部製鉄所跡へも訪ねました



砂鉄の浜 種子島 浜に砂鉄が描く美しい文様 2013.4.16.
種子島の砂鉄浜 鉄浜海岸 & 花里浜海岸で



武部製鉄所跡

2013.4.16.

近世のたたら跡 武部製鉄跡 幕末から明治の石組たたら跡も出土 この地では古代から製鉄がおこなれていたという

【5月 新緑の季節便り 2013.5.15.】



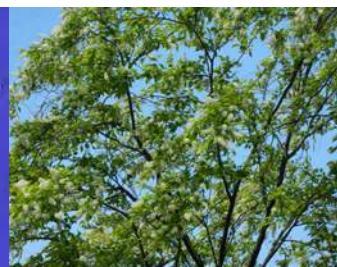
1. 新緑に包まれた野山の春景色
2. 念願の「屋久島縄文杉」に出会えた
3. 砂鉄浜・たたらの島 種子島へも
4. こんな 北歐山の姿 知っていますか
5. yahooブログ《きーちゃんのお庭》
6. 今月のhome page 更新記事

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

今 元気にぐらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔で すごせたら

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 思いを寄せています。

忘れない 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!!



新緑に包まれた野山の春景色

日に日に変わり行く野山の春景色

吹き渡る風が青葉の香りを運んで来る絶好の季節

野山萌え 庭の草花も今が盛り

生命観溢れる生き物たちにエネルギーを貢って

われわれもリフレッシュせねばと

5月の大型連休もすんで、ホッとひといき

いかがでしょうか 私の方は相変わらず、神戸で元気にすごしています。 相変わらずのホームページ更新です

一は 1日一題 じっくり考える。
十は 1日十題 腹から笑う。
百は 1日百題 深呼吸、
千は 1日千歩 書く。
万は 1日万歩 歩く

変えられるものを変える勇気と
変えられないものを受け容れる心の静けさと
両者を見分ける教智を

二(バー)の折りより「勇氣」・「や詩」・「教智」

全体を眺め個を知る
原因を人の所為にせず

ルーツ原因の解明と防止
そして(対策突破の)廻止め

あまりにも人・個人の責任にするこの頃
職場で徹底的に叩き込まれた言葉です。

以前はスピードを追った毎日でしたが
付和雷同せず 勇氣・冷静・知恵
その重みを感じている昨今です。

「まあええか 元気だして行こう」と
心は行ったり来たりです

念願の「屋久島」縄文杉に出会えました



大学時代山仲間が娘さん一家がいると屋久島にせっせと通ってご夫婦でログハウスを完成。それを記念して昔の山仲間を招いてくれた屋久島合宿に家内と二人で参加。昔の WV 仲間 10 数人と屋久島の自然の中で昔の山談義を肴に昼は山 夜は毎日宴会を 楽しんできました。

縄文杉へは 今でないともう行けなくなる」と家内と少しトレーニング。ガイドの世話になりましたが、トレーニングのかいあって夫婦で縄文杉に出会えました。屋久島旅行から帰って、1ヶ月 まだ 屋久島・縄文の熱さめやらず。

杉の巨木は京都芦生の森などで見ているし…と思っていましたが、やっぱり屋久杉はすごい。見る価値有り。

節くれだった巨体を一杯ひろげ、何の支えもなしに 何千年と縄文の森に立つ姿は王者の風格

やっぱりすごい 涙が出てくる もう 同じような巨樹の杉はほかの地でも見られるとはいまいと
招いてくれた仲間一家には随分世話になりましたが、忘れられぬ感激の旅となりました。
屋久島訪問の機会をくれた仲間のご一家には本当に感謝です。

屋久島は不思議な島 本当に自然保護が行き届き、それでいて 会話は都会的。都会から移住の若者が趣味と実益を兼ねたガイドのシステムが確立していて いたるところで活躍しています。ホテル・民宿も洒落ている。帰ってからも屋久島ボケの毎日でしたが、やっと写真の整理もつき、私なりの屋久島を スライド動画「私の屋久島」にまとめました。
全くの私の私的記録ですが、屋久島の魅力が伝われば……



砂鉄浜・たたらの島 種子島へも

司馬遼太郎「街道をゆく 南蛮のみち」で知った砂鉄の島へも屋久島の帰りに立ち寄り、短時間ですが、砂鉄浜や製鉄遺跡など和鉄関連地を歩いてきました。
久しぶりに眺める砂鉄浜でした。

この種子島の砂鉄はチタンが高く、たたら製鉄には不向きの砂鉄。たたら製鉄は盛んでなかつたと思っていましたが、島の人々には種子島は「たたらの島」の思いが強いのにびっくり。



「鉄砲伝来で成し遂げた鉄砲の国産化そして明治の洋式高炉

それらのルーツには種子島の砂鉄を使った古代からの種子島の製鉄・鍛冶技術の流れがある」と。
また、ひとつ 知らなかった砂鉄への思いが種子島にはあると。



こんな 比叡山の姿 知っていますか 屋久島縄文杉トレーニング 最終回で



《屋久島縄文杉ハイクのためのトレーニングハイク》	
1.	京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ 2013.2.28.
2.	布引谷から天狗道を摩耶山へ 2013.3.2.
3.	菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋 2013.3.5.
4.	雄岡山・雄岡山早春の梅林ハイク 2013.3.16.
5.	三宮から油こじ道を六甲山へ 2013.3.17
6.	武田尾/宝塚 武庫川渓谷廻線歩き 2013.3.23
7.	最終回!大文字山越して大津・三井寺へ 2013.4.26.

同じ山とは思えぬ比叡山の姿 左:大文字山越 滋賀/京都境から 右:京都高野橋から 上記の2枚の写真比叡山なのですが、同じ山とは思えぬ姿 左側の写真は屋久島トレーニングハイクの終わりに大文字山越で眺めた姿。

電車に乗っていて京都が近づくといつも探す比叡山は右の秀麗な姿

この姿を見るとほっとして「京都に来た」と。でも、左の写真の姿もある。

比叡山は西に四明ヶ岳 東に大比叡の二つの嶺が東西に並び、京都の街中や 西から来ると秀麗な姿がみえるが、琵琶湖からは比良の連峰に続く山となり、そして、京都が近づくとトンネルで抜けてしまうため、左の姿はほとんど頭になし。屋久島縄文杉トレーニングの終りに大文字山越して、意識して眺めた比叡山。

こんな姿もあるのだと。

また、大文字山の頂上は?と聞かれると「如意ヶ岳」と答えるのですが、「如意ヶ岳」は火床のある大文字山の奥の山で、大文字山の頂上とは別。新緑の中を歩いた大文字山越 たのしい ハイクでした。

知っているようで知らない京都比叡・大文字山 まだまだ 行く所多いなあ……と。

この大文字山越 屋久島縄文杉トレーニングハイクの最終回に予定していた山歩き。屋久島から帰ってからのハイクでした。

いずれも トレーニングハイクといいながら、気楽な近場のハイキングコースお奨めです。





yahoo ブログ《きーちゃんのお庭》



山口在住時代から家族ぐるみのお付き合い、家内の花の師匠でもある“きーさん”が yahoo ブロクで“花のお庭”的ブロクをはじめられた。

犬のチャチャの写真や秋吉台の写真もある。お宅の庭は素晴らしい自然のイングリッシュガーデン何種類の花がうわっているのだろうか‥

また、バラの花には目がない。花の話やお庭を見せていただくのが山口へ行く楽しみのひとつ。

我が家家の庭の花も“きーさん”にもらい、教えてもらったのが多い。

私には山口の山・の野草がダイレクトに見られるうれしいブロク。

花好きにはうれしいお勧めのブロク 是非一度アクセスください

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃。

里山や森の中 溪流に身を置くのは直に自然を感じられる。でも 隠遁するつもりは毛頭なし。

同窓会・落語会 そして 風来坊の街歩きにも催しにも色々家内についてゆく

今回はずっとあこがれ、もう行けないかもと思っていた屋久島へ それも家内と二人で行けました。

屋久島の旅を招待・企画してくれた仲間そして一緒に行った仲間に感謝です。

ふと気がついてみると今日は5月15日 京都は葵祭
うちの庭にも双葉葵が花をつけ、花と緑が美しい。

野に山に里に生命感・躍動感あふれかえる時節
自然のエネルギーをもらって、リフレッシュです
「立ち止まれぬまぐろや」といつも言う姪それも由。
毎日元気に神戸で過ごしています。
そんな姪もこの5月結婚 うれしい5月です。

病・体力の衰えでままならぬとメールをくれた仲間も多いが、
「つながっている 思いはせる仲間」
どこにいても そんな仲間がいるだけでうれしい。
神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください
気軽にお付き合いのほどを。
引き続き、色々お教えいただきたくお願いします。



2013.5.15. from Kobe

Mutsu Nakanishi



今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年5月

1. 砂鉄浜・たたらの島「種子島」和鉄の道探訪 種子島 西之表市 2013.4.16.



西之表市 東海岸 鉄浜



西之表市 西海岸 花里浜



司馬遼太郎「街道をゆく 南蛮のみち」で知った砂鉄の島「種子島」島の周囲いたるところで砂鉄の堆積がみられるという。屋久島の帰りに立ち寄り、短時間ですが砂鉄浜や和鉄関連地を歩いてきました。

東海岸「鉄浜」と書いて「かなはま」・西海岸「花里浜」と書いて「けりはま」と読む。いずれも素晴らしい砂鉄浜・たら浜久しぶりの砂鉄浜に立って、砂鉄が描く美しい文様を探して歩き回りました。

また、鉄砲伝来の島種子島の人たちの「鉄」に対する強い愛 着の想いにも触れて帰ってきました。

砂鉄浜の写真を中心に「種子島を鉄の道探訪」をスライド動画にまとめました、

今月の風来坊 Country Walk 2013年5月



1. 私の屋久島 WV 仲間との屋久島合宿 プライベート記録 2013.4.13-4.16

ずっとあこがれ、もう行けないかもと思っていた屋久島へそれも家内と二人で行ってきました。

大学時代山仲間がご夫婦で屋久島にせっせと通ってログハウスを完成。それを記念して昔の山仲間を招いてくれた屋久島合宿に家内と二人で参加。昔のWV仲間10数人と屋久島の自然の中で昔の山談義を肴に昼は山 夜は毎日宴会を楽しんでいました。屋久島旅行から帰って、1ヶ月 まだ 屋久島・縄文の熱さめやらず。昔のWV仲間とすごした屋久島の自然・屋久杉を訪ねる旅を私なりのまとめ記録としてWeb Book & スライド動画にまとめました。

杉の巨木は京都芦生の森などで見ているし…と思っていましたが、やっぱり屋久杉はすごい。見る価値有り。

節くれだった巨体一杯ひろげ、支えもないに何千年と縄文の森に立つ姿は王者の風格 やっぱりすごいと涙が出てくるもう 同じような巨樹の杉はほかの地でも見られるとはいうまいと 招いてくれた仲間一家には随分世話になりましたが、忘れられぬ感激の旅となりました。屋久島訪問の機会をくれた仲間のご一家には本当に感謝です。

全く私の私的記録ですが、屋久島の魅力が伝われば…



屋久島縄文杉トレーニングハイク [最終回]

1.「新緑の京都銀閣寺から大文字山越して大津・三井寺へ」2013.4.26.



屋久島トレーニングハイク[最終回]として、4月26日大文字山越して大津・三井寺へ。

新緑の素晴らしい春景色と知らない大文字越の姿をデジカメ写真に。

大文字山越で眺めた比叡山は京都の街中から眺める秀麗な姿からは程遠く同じ山とは思えぬほど。また、大文字山越の分水界近く山中の池谷地蔵尊 そして 薬草や珍しい山野草がここで育てられている。

大文字山は伊吹山と同じ薬草が取れる古い山だったんだと。

ついでながら、大文字山の頂上は? と聞かれると「如意ヶ岳」と京都市民は誰もが

答えるのですが、如意ヶ岳は火床のある大文字山の奥の山で、大文字山の頂は別。

新緑の中を歩いた大文字山越 たのしい 春景色を満喫した楽しいハイク。

知っているようで知らない京都比叡・大文字山 まだまだ 行く所多いなあ……と。

《屋久島縄文ハイクのためのトレーニングハイク》

- | | |
|-------------------------------|------------------|
| 1. 京都雲母坂を比叡四明ヶ岳へ | 2013.2.23. |
| 2. 布引谷から天狗道を摩耶山へ | 2013.3.2. |
| 3. 菊水山から鍋蓋山 天王谷大吊橋 | 2013.3.5. |
| 4. 雌岡山・雄岡山早春の梅林ハイク | 2013.3.16. |
| 5. 三宮から油こぶし道を六甲山へ | 2013.3.17 |
| 6. 武田尾/宝塚 武庫川渓谷廃線歩き | 2013.3.23 |
| 7. 《最終回》大文字山越して大津・三井寺へ | 2013.4.26 |

今月の From Kobe 2013 年 5 月

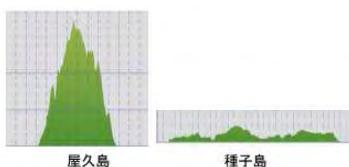
2013.5 月 新緑の季節便り



5月の大型連休も終わってひととき いかがでしょうか
さわやかな5月の風かふきわり、野山は新緑につつまれ、庭先にも春の草花が満開
毎日毎日変化してゆく春景色に目を奪われる毎日この自然の息吹・エネルギーを貰って リフレッシュせねば…

1. 春景色 From Kobe

2. 屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める





「夏が来れば思い出す はるかな尾瀬 青い空
水芭蕉が咲いている 夢見て咲いている 水のほとり 」

6月16・17日 東京へ行った帰りに、水芭蕉が見たくなって、尾瀬ヶ原・尾瀬沼を久しぶりに訪れました。
天候にも恵まれ、残雪を頂く至仏山と燧ヶ岳の間に広がる尾瀬ヶ原&尾瀬沼 kwalk。

時期的には少し遅かったのですが、水芭蕉や尾瀬に咲く初夏の花の数々に出会ってきました。

7月 梅雨明け・夏の到来ももうすぐそこに・・・・



ヨッピの東電小屋に泊まって、朝霧の中 刻々と変化してゆくこんな素晴らしい尾瀬ヶ原の朝もみられました 2013. 6.17. 朝

7月が始まり 庭先では 紫陽花があでやかな花を咲かせ、
梅雨の晴れ間にのぞく日射しが、暑い夏の兆しをみせて、初夏のことばがひったし

屋久島ボケから長らくさぼっていましたが、ホームページの更新がやっとできました。



雨上がり 葉に雨粒がついて 紫陽花が一番美しいときです 2013. 6. 12. 自宅の庭先で

[7月 初夏便り 2013.7.5.]

1. 初夏7月
「へいわって すてきだね」
2. カタクリの実と種
3. 新しい鉄の顔
4. 「発振された2本列島2013J展
5. ラグビー今年は面白くなる
6. 今月のhome page 更新記事



Stay Young Day !! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

今 元気にくらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一美顔で すごせたら

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 悪いをばせています。
忘れない われいで 暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!!



初夏 7月 小学1年生安里有生君のメッセージ 「へいわって すてきだね」

「 へいわってなにかな。ぼくは、かんがえたよ。
.....
やさしいこころがにじになる。
へいわっていいね。へいわってうれしいね。
みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。
.....
これからも、ずっとへいわがつづくように
ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。 」

6月23日沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生安里有生君がぼくと語りかける「平和のメッセージ」がいきなり耳に飛び込んで、がつんと頭をたたかれました。
勝手気ままな生活に慣れてしまった年金暮らしの風来坊
「平和ボケといわれようが、憲法九条の言葉は守らねば」と。
機会があれば 是非一度安里有生君のメッセージお聞きください。

◆ youtube "へいわってすてきだね"

久部良小1年安里有生君 <https://www.youtube.com/watch?v=NBonUaHnC-g>

7月が始まり 庭先では 紫陽花があでやかな花を咲かせ、梅雨の晴れ間にのぞく日射しが、暑い夏の兆しをみせて、初夏のことばがぴったし。いかがでしょうか
毎年 6・7月のどこかで、山口へ出かけていたのですが、山口美祢の家を処分して、山口へ出かけずで、ちょっと違った気分の初夏を迎えています。
蛍は飛んでいるやろか 秋吉台カルストロード 麦秋の畑と水田に映しこまれた山口の里山の景色等々
懐かしい梅雨時の景色。今年はよう掲載していませんが、須磨離宮の満開のバラや尾瀬の初夏の 景色を掲載できました。
相変わらずですが、神戸からの初夏の便り ホームページ更新です



カタクリの実と種

関東の友人からの珍しいカタクリの実と種の写真配信。

「先日長野の高峰高原に植物観察会に行ってきました。
あいにく二日間とも雨でしたが、色々な植物を観察してきました。添付した植物はなんだとおもわれますか？
実はこれはカタクリの実です。実が開いて種が見えているのですが、その種には蟻にたべ貰うために種枕がついているのが見えます。
植物は動けない分色々工夫していますね。

— from A.C —



友人から配信のカタクリの実の中の種

春先の山腹で風に身をくねらせるカタクリの花は一番好きな花。
でも こんな実をつけて 世代交代してゆくなんて 知りませんでした。
種が落ちて約8年後、地上に出てきて一気に花を咲かせるカタクリ
花が終わると 6・7月 緑色の小さな実をつけるという。



カタクリの実

花にはギフチョウを引き寄せるしかけがあると聞いていましたが、
実の中の種にも 蟻が寄ってきて 種を遠くへ運ぶシステムがついて
いるという。自然のシステムはすごい。珍しい写真ありがとうございます。
カタクリの花の話のおすそわけです。
信州高峰高原は確か浅間山の山麓 信州にもゆきたいなあ・・・と。



新しい鉄の顔 2013.6.19.朝日新聞の記事より

2013年(平成25年)6月19日 水曜日 10版 18
アジア・アントレプレナーシップ・アワード2013

日本が育む 新しい価値



優勝「CONNEXX SYSTEMS」 都

「世界を変える技術」と推薦人から熱くこもった紹介を受けて始まったプレゼンテーション。創業者の塚本寿さん(39)はデータを積み重ねて語りかけた。

身近な鉄をエネルギー源に使う蓄電池を開発した。鉄と水を反応させ、水素を生み、その水素で電気をつくる。充電時は、酸化していた鉄から酸素が離れ、鉄と水にもどる仕組みだ。

いまのリチウムイオン電池の5~10倍ものエネルギー密度があるという。「鉄は世界中で手に入り、価格も、そう高くない。偏在する化石燃料に左右される今の世界のあり方を、変えられる」とも立ちはだち」と県を決めた。

優勝、「驚きです。我々の技術は、誰でもどこにでもつくれるから」。「誰でもどこにでも」は、普及やすさという力を物語る。

鉄から電池「世界を変える」

電気自動車や、家庭用のエネルギー貯蔵装置など活用が進める大規模発電、広域送電に頼る日本の電力が「地産地消型」に変わる力も秘める。課題は、長い間、繰り返し使える技術の検証だ。

日本の大手メーカーを辞して米国で起業して13年。「東日本大震災で炎で沈んでいた日本の役に少しでも立ちたい」と帰国を決めた。

30・31日は、ベンチャー支援施設「東京テクノプラザ」(千葉県柏市)が会場。アジア12カ国地域の20社がビジネスプランを発表しその独創性などを競うコンテストがメインだ。アジアのベンチャーを日本で育む狙いだ。

優勝は、電気自動車用の蓄電池システムをつくる「CONNEXX SYSTEMS」(京都府)。賞金300万円と「テクノプラザ」の3年間無料入居権(千葉県知事賞)など3社が分け合った。

コンテストは昨年に統いて2回目。商談や人脉づくりの場、「女性の働き方」など社会の課題を話し合う場もあった。昨年、千葉県知事を受賞した「Flexor Research Group」(タイ)は、牛乳や酒のパックを酵素で分解して紙に再生する技術を持ち、日本の事業会社を7月につづる。千葉県が営業の相談に乗る。

主催したフューチャー・デザインセンターの小富山宏氏は、「(生活の)『質』を産業にするような人たちに賞を贈ることができたと思う。(コンテストを)10年といわず、20年、30年続けたい」と話した。

各国・地域から20社、コンテストに参加



創 ASIAN ENTREPRENEURSHIP AWARD 2013

優勝から3位までの3人が、結果は優勝と、2位が3社。用意されていたパネルをそのまま手にして記念写真におさまる受賞者たち

安価で現在のリチウムイオン電池の5~10倍のエネルギー密度を持つという。まだ、きっちり技術を把握できていませんが、京都のベンチャーから鉄を使ったすごい技術が生まれてきたと。



「発掘された日本列島2013」展 東京江戸博物館

ベンガラ原料(渴鉄鉱)の宝庫阿蘇カルデラの内部で弥生時代の北の集落に加えて南側の集落からも大量の鉄が出土 恒例の新発見考古速報「発掘された日本列島」展が、6月8日より東京 江戸博物館で開催されている。

毎年「この一年どんな遺跡が発掘されたのか」を知る手がかりで楽しみな特別展。特に古代製鉄など鉄関連の新発見や縄文遺跡に胸わくわく。6月15日駆け足ですが、両国の東京江戸博物館に行ってきました。

鉄関係では 阿蘇カルデラ内 弥生の中・後期の大集落「幅・都留」遺跡に興味津々。

昨年出かけたカルデラ内北部の阿蘇谷の阿蘇黄土と鉄器集積集落に加え、今回 カルデラ内部南側の大集落から石器から鉄器への変遷を解き明かす 鉄器・石器の道具が出土。

まだ未解明の阿蘇カルデラ内の弥生時代の鉄器集積の謎に また、新しい事実が加わったと。



ベンガラ原料(渴鉄鉱)の宝庫阿蘇谷の弥生の集落で北の鉄の集積に加えて南側の集落からも大量の鉄が出土。

ベンガラを鉄原料として製鉄が行われた痕跡はないと聞くが、この阿蘇谷の鉄がプレitatedたらの製鉄技術を解き明かしてくれるの

ではないかと 興味深々です。

また、つくば市上境旭台貝塚から出土したほぼ完全なみみずく土偶や畿内の巨大前方後円墳古墳群～出土した埴輪の数々にも興味津々。この東京江戸博物館の展示では特別部分を除いて、写真撮影が解禁されていたのも goo。集客が博物館にとって重要なキーワードとなって、随分展示のやり方がわかりやすく変わってきました。でも どこの博物館へ行っても同じになっては・・・・・・と。。



ラグビー 今年は面白くなる

24年13戦にして始めてウェールズに勝利の快挙 その現場に

◆6月8日 近鉄花園ラグビー場 2019年ワールドカップをひかえ、あれやこれや強化が進む全日本チーム。

本場欧州のチームには歯が立たない。ウェールズとの国際マッチ。

「ひよっとして勝てるかも・・・・そのためにもラグビー場を満員に」 そんな呼びかけに行ってこようと。ついぞ見たことのない満員の花園ラグビー場にビックリ。

試合は白熱の熱戦 全日本18-22 ウェールズの惜敗ながら、今までのように防衛線を一回も割られたことなし。このチームは通用するとスタンドはみんな満足感に沸いた。

もう一回 6月15日東京秩父宮で試合がある。絶対勝てよと。



2013.6.8. 花園 対ウェールズ戦 全日本トライの瞬間

◆6月15日 東京での用をひとつこなして駆けつけた秩父宮。入場口に駆けつけると同時に試合終了の笛が聞こえた。

残念ながら試合は見られなかつたが、全日本23-8 ウェールズの全日本完勝にスタンドは沸き返っていました。

24年13戦にして始めての勝ちである。そんな渦の中に入つて一緒に沸きかえつてラグビー場を後に。

その後飲んだビールのうまかったこと。本当に待ち遠しい9月開幕のラグビーシーズンである。



2013.6.15. ウェールズに勝利で沸く秩父宮ラグビー場

〔今月の和鉄の道・Country walk より〕

◎ 風来坊 Country Walk

毎年 この時節 山口へ出かけていたのですが、本年はよう行かず。この時期の山口や美祢の話題を掲載できませんでしたが、この時節の風物詩 春の終わりを告げる須磨離宮公園 満開のバラ・今年も自宅の庭に咲く雨上がりが素晴らしい紫陽花そして初夏 尾瀬の水芭蕉などの景色を掲載できました。

◎ 和鉄の道 Iron Road

また、たら製鉄関連記事として、5世紀初頭 古墳時代中期 巨大前方後円墳が出現する初期ヤマト王権時代の奈良・河内の鉄が知りたくて柵考研の特別展へ行きました。

奈良盆地の中央王城の地の象徴大和三山のひとつ「畝傍山」へ登つて 周囲を眺めながら、初期ヤマト王権の関連の役割について思いをはせました。

ヤマトと河内の関係を眺める視点・知りたかった葛城氏の鍛冶工房群「南郷遺跡群」のここの役割を知りえて、ラッキーでした。また、帰りには畠傍山のすぐ北の麓 重要伝統的建造物群保存地区「寺内町今井」の街歩きにも行きました。

これらを自分なりに整理掲載しました。

◎【From Kobe 2013年 初夏 7月の便り】

久しぶりに行った東京 以前にもまして、さらに過密化する東京 これ以上東京中心に考えてよいのかと。

価値観が左右大きくぶれ動く昨今 東京で感じたことをまた ぶつぶつです

◎4月より Monthly Page のBGMを変更しました

アイルランドの古い民謡で映画「静かな男」のテーマ曲 Celtic Woman が歌う「Isle of Inisfree (イニシフリーの島) TVで耳にして 美しい音楽だと。いかがでしょうか……



須磨西六甲縦走路より 梅雨の晴れ間 明石海峡の向こうに紀淡海峡 2013.6.11.

何をするにも、今しかないとの思いも強いこの頃。里山や森の中 溪流に身を置くと直に自然を感じられる。

でも 隠遁するつもりは 毛頭なし。同窓会・落語会 そして 風来坊の街歩きにも催しにも色々家内についてゆく

新進の落語家 桂そらばさん・桂福丸さんお二人の落語会 1回/3ヶ月神戸駅近くの「パルモア寄席」に仲間と一緒に通って、3年。ここ最近の話芸の充実はすばらしく、成長をじかに見られるのはせっせと通った賜物。うれしい限りです。

同時に落語会を口実に気のあった仲間と飲んで楽しめるのも楽しみ。

7月6日からは、高校野球の地方予選も始まる。わが母校はこのところ弱くて勝ち進めないのですが、今年はどうか…

かつての球児たちが激励をかねて練習を見に行っていると聞く。私は今年もスタンドから試合の応援に

平々凡々の神戸での暮らしですが、それが 平和と気づかせてくれた小学1年生安里有生君のメッセージ

みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。

ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

こころせねばと思っています。

2013.7.5. from Kobe Mutsu Nakanishi

◆ 6月4日虫歯予防デー「歯を大切に」のポスター



大門太朗（3年生）



2歳の孫 新幹線が大好きです



今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年7月

1. 檜考研特別展「5世紀のヤマト展」と畝傍山からの展望 2013.5.25.
5世紀初期ヤマト王権時代のヤマトと河内・大阪平野



畝傍山から眺めた奈良盆地南西部と金剛・葛城・二上山の山並み 2013.5.25.

1. 【図録再整理 by Mutsu Nakanishi】 檜考研付属博物館特別展 5世紀のヤマト ~まほろばの世界~
2. 【写真アルバム】 大和三山「畝傍山」から 国のまほろば 奈良盆地を眺める



飛鳥奥山から眺めた甘櫻丘・雷丘と右端畝傍山 背後に葛城・金剛の連山 畝傍山から眺めた北東部 天香具山

大和三山のひとつ「畝傍山」の麓にある檜考研付属博物館で特別展「5世紀のヤマト」展が開催されているのを知って、3世紀邪馬台国が誕生した古墳時代前期に続く日本黎明期、奈良盆地南東部の山裾 三輪山周辺を王城の地とする 初期ヤマト王権が展開してゆく古墳時代の中期・後期を勉強するいい機会と5月25日檜原へ出かけました。

また、前々から、一度登って周囲を見渡したかった大和三山のひとつ「畝傍山」へ登って、周囲を眺めながら、初期ヤマト王権の関連地の役割について思いをはせました。

私にとってはブラックボックスだった5世紀のヤマトの「鉄」

古墳と集落そして地域と大王の関係がおなじ視点で、統一整理されて展示されていて、初期ヤマト王権当時の畿内の実用鉄器の動きがわかりやすく 整理できたのが一番の収穫。私なりにここ数年関西で開催してきた数々の特別展の図録を参考照らし合わせながら、古墳中期 初期ヤマト王権時代のヤマトの鉄について再整理して見ました。



また、新緑に包まれて、西に金剛・葛城・二上山とづく奈良盆地の西の壁を背に広がる奈良盆地展望を写真アルバムとスライド動画に取りまとめました。

今月の風来坊 Country Walk 2013年7月

1. 重要伝統的建造物群保存地区 寺内町「今井」町並 Walk 檜原市今井 2013.5.25.



重要伝統的建造物群保存地区 寺内町「今井」町並 2013.5.25.

檜原へ行く機会に畝傍山に登ろうと地図を広げていて、畝傍山のすぐ北側 JR桜井線の南に碁盤の目の町割が残る「今井」の地を見つけて、帰りに立ち寄ってきました。

中世の環濠集落を発祥とし、称念寺を中心とした寺内町として発展した「今井」。江戸時代にも自治が行われてきた日本でも極めて珍しい歴史を持つ町である。現在も広大な領域に戦国時代、江戸時代からの町並みと道路がそのまま残っている。

1993年に重要伝統的建造物群保存地区に指定され、約500棟が昔からの建築であり、重要文化財8棟、県文化財2棟、市文化財4棟がある。現在も一般の方々が生活する、生きた町であるのも魅力。

写真やTVなどで見る落ち着いた町並みに常々一度訪れたかった町である。外側からですが、垣間見た戦国時代の街並みがそっくり残る重要伝統的建造物群保存地区寺内町「今井」の walking の写真アルバムです。



2. 須磨離宮庭園のバラ 2013. 5. 28 青空から白雲へ 新緑の風に乗ってほのかに漂うバラの香



あおぞらから白雲へ 今年はいつもより早い入梅宣言
春の終わりを彩る春のバラ 今年はどこへもよう行きませんでしたが、自宅の庭に咲くバラの花も例年にはない美しさ。
「須磨離宮公園のバラが今一番の見頃と教えてもらって、久しぶりに近くの須磨離宮へ
うす曇の空と新緑の須磨の山をバックに西洋式庭園の中 一面に咲くすばらしいバラを眺めてきました。

3. 初夏の尾瀬ヶ原・尾瀬沼を歩く 初夏 6月 尾瀬の草花



初夏の尾瀬ヶ原・尾瀬沼を歩く 初夏 6月 尾瀬の草花 2013. 6.16. & 6.17.
東京へ出かけた機会に久しぶりに水芭蕉が見たくなって尾瀬へいってきました。

水芭蕉の季節にはちょっと遅かったのですが、梅雨時ながらラッキーなことに晴天に恵まれ、水芭蕉をはじめ、湿原に咲く初夏の数多くの草花に出会えました。

また、念願の尾瀬ヶ原の中での小屋泊 ビールを飲みながらの夕景や朝もやの中刻々と変化する尾瀬の景色など尾瀬の中でのゆっくりとした時間もすごせて、満足の尾瀬歩きでした。

久しぶりに歩いた初夏 6月 尾瀬ヶ原・尾瀬沼の姿とそこに咲く草花をスライド動画と写真アルバムにして掲載。



今月の From Kobe 2013年7月

2013. 年 7 月 初夏の便り

2013. 年 7 月 久しぶりの東京 これ以上過密の東京に投資して いいのだろうかとも



平和メッセージ「へいわって すてきだね」

6月23日 沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君（6）が朗読した
「へいわって すてきだね」の詩が胸に響くと今話題になっている。

「 へいわってなにかな ぼくはかんがえたよ
「 へいわってなにかな おともだちとなかよし。かぞくが、元気
えがおであそぶ ねこがわらう なかいっぽい …… 」

有生君が考えるごく身近な平和。それを一瞬にして悲しみに変えてしまう戦争への恐怖をつづり
「ぼくはへいわなときにうまれてよかったよ。このへいわが、ずっとつづいてほしい」と
口から自然と出てくる言葉で小学1年生らしくぼくとつと平和を訴える言葉が胸にしづりと響いてくる。

演技でない力強さが胸を打つ。沖縄には「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉もある。

ひとに迎合することなく本当に平和を自分のものとして

また、家族・仲間そして 共に暮らす人たちへと考えねば・・・と。

是非 ご一読を

共同通信 【平和の詩全文】「へいわってすてきだね」 <http://www.47news.jp/47topics/e/242925.php>

23日の沖縄全戦没者追悼式で沖縄県与那国町立久部良小1年、安里有生君（6）朗読の詩全文

youtube “へいわってすてきだね” 久部良小1年 安里有生

<https://www.youtube.com/watch?v=NBonUaHnC-g>

7.

2013年 8月 ひまわりの夏「Iron Road・和鉄の道」 四季折々 2013.8.5.



東播磨 小野市ひまわりの丘 & 西播磨 佐用町林崎のひまわり畑で

8月 ひまわりの夏の到来 無理せず元気にこの夏を乗り切りましょう

毎日酷暑が続いているが、場所によっては今まで経験したことがない突然の集中豪雨と雷
いかがでしようか 世相といい 何かが違っているとおもえる不安定な毎日
はやく落ち着いた暮らしの日々をみんなが迎えられれば・・・と
とはいえ ギラギラの太陽の季節 今年も元気なひまわりに出会ってきました。
また、自宅の庭では ひまわりと朝顔も咲きだして、毎朝、朝顔の数を数えるのが楽しみ
母校の高校野球の声援に 夏の暑さに負けぬエネルギーも 仲間たちと
毎年変わらぬ夏の楽しみ 元気に過ごしています。

何とか暑さをカバーしようと窓に緑のカーテン 窓から吹きくる風を感じながら
庭を見るのが楽しみな毎日 昼は昼寝するのも日課に。
ほちばちと 8月 夏便り

2013. 8. 5. 神戸で Mutsu Nakanishi





大阪にも新しいビルが続々 このオリックス本町ビルの最上階からはビルの外側に回廊がついていて
360 度の展望が楽しめる 夜はもっとすばらしいと聞く 次は夜景とビアガーデンに



8月の庭先を緑のカーテン越しに ぼんやり眺める 2013.7.31.

【 8月 夏便り 2013.8.5. 】

- 1.ひまわりの夏8月
- 2.夏の高校野球は
若き日の良き思い出
- 3.ユリ園の知恵にびっくり
初夏スキー場ゲレンデそのものに
一面満開のユリ
- 4. 今月のhome page 更新記事



Stay Young Day !! 今できることを 緒一杯
お互い笑顔で 前向き思考 元氣で乗り切って行きましょう
今 元気にくらしていることを感謝しつつ
お互い元氣で 日一日を笑顔で すごせたら
苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 思いをはせています。
忘れない わらないで 暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!!



ひまわりの夏 8月 ことしも元気なひまわりの笑顔に出会ってきました

毎日酷暑が続く中、場所によって今まで経験したことがない突然の集中豪雨と雷。

私のかつてのフィールド山口・美祢そして、老後を愛する鳥海山の麓で過ごすと山形に帰った仲間のところも・・・。

いかがでしょうか 何もできないのですが、ふらっと出かけ、世話になった地のニュースを聞くたびに心配。

今年も元気なひまわりに出会えましたので、「ひまわりの夏」をお届けします。

毎年の光景ですが、それが続いていることがうれしい。

「また、来年」と母校の高校野球の声援にも仲間たちとでかけ、夏の暑さに負けぬエネルギーも。

また、自宅の庭では ひまわりと朝顔も咲きだして、毎朝、朝顔の数を数えるのが楽しみ毎年変わらぬ夏の楽しみに。

平々凡々 非生産的な暮らしに多少うしろめたさも感じながら元気に 神戸で過ごしています。

2013.8.5. 神戸で Mutsu Nakanishi



夏の高校野球は 若き日の良き思い出

7月下旬夏の甲子園の地方大会が始まった。

わが母校 昔は強かったのですが、最近は弱くて、応援に駆けつける人も少ないので、今年はどうかと 近くの球場へ駆けつける。

今年は同級の仲間も加わって わいわいがやが やの応援観戦。勝っても負けてもグランドを駆



2013.7.18. 神戸よもよと球場 桑尼高2回戦

け回る選手たちの姿はフレッシュでうれしい。残念ながら2回戦で敗戦。今年の高校野球は終わり。

この母校の勝手な観戦記を仲間のメーリングリストほかに配信すると、高校時代のことなどを含め、次々とメールが飛び交い、メール同窓会の感。高校野球の話になるとみんなそれぞれ、強い思い入れ。

高校時代に良き思い出と仲間を持っていると。皆様の所はいかがでしたでしょうか・・・・・・



ユリ園の知恵にびっくり 初夏スキー場ゲレンデそのもの一面に満開のユリ



7月千種を訪問した際に開園したばかりの「千種高原ユリ園」にいってきました。

冬のスキー場ゲレンデそのものにびっしり育てられたユリの花が花じゅうたんの美しい景色を作っている。

冬のゲレンデは維持したままで夏のカラフルな花じゅうたんのアイデアにびっくり。球根のユリは冬地中にあって、雪の重みも踏まれてもびくともせず、そのままスキー場に変身出来るという。こんな夏・冬活用法があったのだと……。

枝尾根をはさんですぐ向こうによく整備された千種天児屋鉄山があり、周囲には数多くのたたら跡があり、古代製鉄発祥の地の伝承など歴史と緑の森に包まれた山里千種。これを機会にそれこそユネスコ世界遺産にはできないにしろ有機的な面的なつながりを持ったトレッキングなどの観光資源として開発されればと。

近年山に入ると古くて使われなくなったスキー場の斜面周辺が荒れ放題で放置されているのを見る機会も多い。一方、北近江の古いスキー場「函館山」にはスキーシーズンでない夏にユリ園が開設され、数多くのツアー客で大賑わいと聞く。たたらの里の夏 ユリ園開設。早春のカタクリと菜の花から桜そして夏のひまわり・ユリに秋のもみじ そして美しい渓流には釣り人と滝の景観。これにたたらの歴史が加われば面白い。天児屋鉄山跡には6月ピンクのクリンソウソウが一面咲き誇ると聞いた。ユリ園の成功を期待したい。



〔今月の和鉄の道・Country walk より〕

◎ 風来坊 Country Walk

「ひまわりの夏」

毎年「ひまわり」が咲いたと聞くと出かける東播磨小野市ひまわりの丘と西播磨と佐用市林崎ひまわり畑
今年も元気なひまわりに出会えましたので、野原一面を埋め尽くす元気なひまわりの写真をアルバムに。

◎ 和鉄の道 Iron Road

1.「発掘された日本列島 2013 展」製鉄関連遺跡の紹介

東京江戸博物館で開催された「発掘された日本列島 2013 展」で見た昨年度発掘された製鉄関連遺跡の概要を展示・図録から抜き出し整理。

- ・ベンガラ原料の宝庫阿蘇カルデラで大量の鉄を集積する弥生集落「幅・津留遺跡」
- ・平安時代大和の蝦夷征伐の最前線 福島県常陸海岸の武井製鉄遺跡群の製鉄遺跡「大清水 B 遺跡・沢入 B 遺跡」

2. 西播磨 古代からの製鉄の地「千種」再訪

久しぶりに西播磨の古代からの製鉄地帯「千種」を訪ねました。

・近世の鉄山 西河内の天児屋鉄山 ・古代製鉄発祥の地の碑を国道 429 号千種岩野辺(岩鍋)

また、本年開園したばかりの「ちぐさ高原ユリ園」にも立ち寄りました。

何度も訪ねたことのある天児屋鉄山跡ですが、具体的な鉄山の活動や諸施設配置などよく知りませんでしたが、今回鳥羽 弘毅氏著「たらと村-千草鉄とその周辺」を入手。それを参考に鉄山跡の配置が理解できました。

◎ 【From Kobe 2013 年 8 月 ひまわりの夏の便り】

あまりに多い想定外・経験したことがない風潮

創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ 今一番自分にすっと入る

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介



平々凡々の神戸での暮らしですが、それが平和と気づかせてくれた小学 1 年生安里有生君のメッセージを
平和について 真剣に考えねばならぬ昨今。 今月もそのまま掲載して 結びに。

小学 1 年生安里有生君の沖縄平和メッセージ

みんなのこころから、へいわがうまれるんだね。

ぼくも、ぼくのできることからがんばるよ。

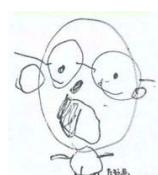
こころせねばと思っています。

「思いはせる仲間」どこにいても そんな仲間がいるだけでうれしい。

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください

気軽にお付き合いのほどを。引き続き、色々お教えいただきたくお願いします。

2013.8.5. from Kobe Mutsu Nakanishi





今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年8月

1.「発掘された日本列島 2013 展 -新発見考古学速報-」昨年度発掘された製鉄関連遺跡の紹介 2013.6.15.



6月15日に東京江戸博物館で開催中の「日本列島新発見展 -新考古学発見速報-」見学に行ってきましたので、その展示ならびに図録から製鉄関連遺跡の二つの発掘概要をご紹介します。



「発掘された日本列島 2013 展 -新発見考古学速報-」に展示されていた2つの製鉄関連遺跡 2013.6.15.

2.久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる 2013.7.19.



千種天児屋たら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる

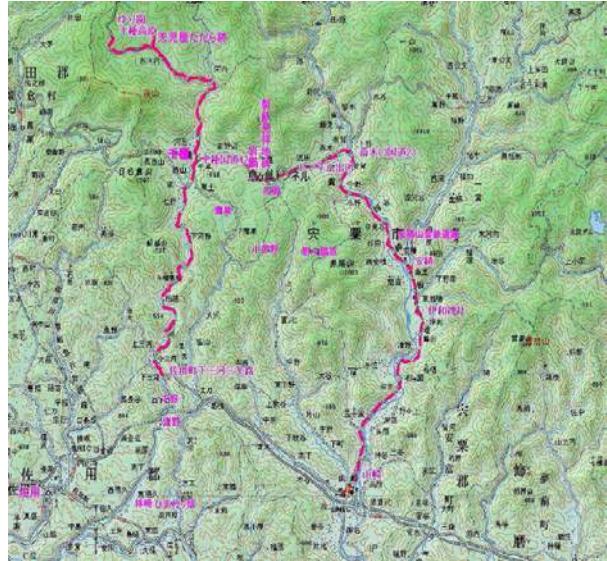
1. 江戸時代初期から明治まで操業の千種 西河内 天児屋鉄山跡再訪 学習館併設のたら公園
2. 今ユリの花満開のちぐさ高原の「ユリ園」に立ち寄る
3. 千種川水系家千種から東の揖保川水系へ 山越ルート国道429号線

宍粟の製鉄地帯の中心部 岩鍋の古代製鉄発祥の地碑を見て 波賀・一宮町から山崎へ

西播磨中国山地の山奥 佐用・宍粟は古代からの製鉄地帯。
宍粟鉄・千種鉄の名は刀剣の材料として有名で、千種岩鍋には製
鉄神「金屋子神」が降臨し、日本で始めて製鉄技術を伝えたとの
伝承も残っている。周辺のたたら跡を幾度も訪ねたことがある。
また、カタクリやひまわりが咲く佐用には毎年訪れるのですが、
その奥千種にはちょっと遠くてご無沙汰。

久しぶりに朝早くで、佐用のひまわりを見た後、千種に足を伸ば
しました。

千種のたたら跡として整備されている「天児屋鉄山跡」を見た後、
千種から東へ国道429号線を岩野辺(岩鍋)の古代製鉄発祥地伝
承の碑へ。新たに開通したトンネルを抜けて、波賀町へ山越。
揖保川沿いを一宮町安積山から山崎へ原チャリを走らせて帰って
きました。



また、本年開園したばかりの「ちぐさ高原ユリ園」にも立ち寄りました。

何度も訪ねたことのある天児屋鉄山跡ですが、具体的な鉄山の活動や諸施設配置などよく知りませんでしたが、今回鳥羽
弘毅氏著「たたらと村-千草鉄とその周辺」入手。それを参考に鉄山跡の配置が理解できました。

今月の風来坊 Country Walk 2013年8月



1. ひまわりの夏 小野市ひまわりの丘公園 & 西播磨 佐用林崎ひまわり畠 2013.7.16. & 7.19.
今年も一面を埋め尽す元気なひまわりの群れに出会えました



「ひまわりの夏」 毎年「ひまわり」が咲いたと聞くと出かける 小野市ひまわりの丘と佐用市林崎ひまわり畠

今年も元気なひまわりに出会えましたので、野原一面を埋め尽くす元気なひまわりの写真をアルバムに。

また、元気な姿を伝えたくて、気分的にハイになるBGM付の動画にもしました

今月の From Kobe 2013年8月

From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り

「あまりに多い想定外・経験したことがない」の風潮

「 NHK 朝一番 ビジネス展望

内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介

言葉とはうらはら 創造性の欠如した今の時代

異常気象にだまし絵をダブらせて 今一番自分にすっと入る

「NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」を紹介



四季折々 Mutsu 2013 季節の便り
2013年 10月 深かまる秋「Iron Road・和鉄の道」 四季折々 2013.10.15.



実りの秋を迎へ 田園では頭を垂れた稲穂で一面まっ黄色に
 また休耕田にはコスモスが満開に 2013.10.7. 東播磨 加古川西岸の志方で
 酷暑もやわらぎ、田園では黄金色の稲穂が頭をたれ、コスモスの花も満開に
 播磨は今 秋祭りの季節 街道筋では 集落ごとに 祭を告げる花飾り
 まもなく 飾り屋台が太鼓を響かせて、黄金の稲穂の波の中を行く姿があちこちで
 里山も色づき始め、たわわに実った柿の木が 深まり行く秋を告げている
 厳しい世相の中 しつとりとした落ちいた秋
 たまには 自然の中に身をゆだねるのもよいのでは・・・
 無理せず ゆっくりと
 ちょっと遅ましたが、10月 深まり行く秋のページです

《 今月の更新より 2013年深まり行く秋を楽しむ 》



秋の夕暮れはつるべ落とし でも 西の空を赤く染めてゆく美しさにも 見とれるのもしばしば
ゆったりした時間が流れるひとときです 西神戸でみた夕暮れ 2013.10.7.日没



つるべ落としの秋の夕暮れ 陽が落ちるのが随分早くなりました 西神戸神出の田園で

【10月・秋の便り】 2013.10.15.

- 1.深まり行く秋
- 2.ふるさとの祭は街の同窓会
ふるさと尼崎のだんじり
- 3.私の産業遺産
工場構内を走り回る軌条を垣間見る
- 4.阿蘇カルデラ内南側の谷「南郷谷」
- 5.今月のhome page 更新記事 .



Stay Young Day !! 今できることを 絶一杯
お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう
今 元気にくらしていることを感謝しつづけ
お互い元氣で 日一日を笑顔で すごせたら
苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 思いをはせています。
忘れない もれぬいで 暖かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!!



深まり行く秋を楽しむ 「無理せず ゆっくりと」

日本は亜熱帯の中に入ったのか・・・ 酷暑・ゲリラ豪雨に竜巻そして次々とやってくる台風 異常気象とかたづけられぬ自然の驚異もやっと落ち着いて、見上げる空は秋の空。田圃では黄金色の稻穂が頭をたれ、コスモスの花も満開に咲き始め、やっと秋を感じる時節になりました。

私の暮す西神戸・播磨は今 秋祭りの季節。街道筋では集落ごとに祭を告げる花飾り 飾り屋台が太鼓を響かせて黄金の稻穂の波の中を行く姿があちこちで見られることでしょう。 たまには 自然の中に身をゆだねるのもよいの。好奇心旺盛といえども 老境にさしかかる70歳。

もう新しい事に挑戦する気力の衰えを感じていますが、秋の里山を歩いたり、仲間との懇親会に同窓会と仲間が声かけてくれるとせっせと出かけています。「気心の知れた仲間の中にいるのが、一番」 また、一人 デジカメ片手にぶらっと出かけるCountry Walkもいい。 この数ヶ月 体調を崩している孫娘のことが、気がかりですが、勝手気ままな風来坊 しっとりとした落ちいた秋を楽しんでいます。

前回更新で「オリンピックなど言っている場合でなかろう」と書きましたが、高校時代の仲間K君から、

「ぶつぶつ言っていないで、ジャズライブに行こう

「2020年東京オリンピック・パラリンピック」お互い77歳（喜寿）元気に、迎えよう」と。

ぶらぶら風来坊 スポーツそして観戦 秋の夜長 読書もいい また、仲間と一緒にかたむけながら昔話も良し
「無理せず 声掛け合って 毎日毎日を」是が一番。遅ればせながらそんな今年の秋のページです。

2013.10.15. 神戸で Mutsu Nakanishi



ふるさとの祭は街の同窓会 9月16日旧尼崎城下 築地だんじり祭へ

9・10月は祭の季節 各地・各地域で受け継がれてきた豊作祭「ほんまにお祭が好きやなあ」とよく言われますが、鐘・太鼓の音が聞こえてくると自然とそっちへ足が向く。それが、ふるさとの祭となると特別。

もう、何十年聞いていなかつたお囃子の音・リズムに自然と体が吸い寄せられて行く。

だんじり祭というと岸和田が有名ですが、尼崎にもだんじりとだんじりがぶつかり合う勇壮な祭がある。お囃子のリズムが急テンポに変わり、だんじりの前方を高く傾けあって組み合う様には興奮も最高潮。



もう 30 年以上尼崎は離れ、家内は「そんなあらあらしい祭は行かない」と いうのですが、私にはやっぱり一番。童心に帰って気分もスカッと。誰がなんと言おうとそんな 心躍る場所を訪ねられるのがうれしい。
「祭に高校野球は町の同窓会」などとふつと・・・派手なショウの祭でなくていい。
小さな地域で町衆が守り続けてきた ふるさとの祭を是非訪ねられることお勧め。



旧尼崎城下 築地のだんじり祭 2013.9.16.



私の産業遺産 今も現役パイプ工場構内を走り回る軌条を見る

今九州・山口の明治の産業遺産を世界遺産に登録する運動が進んでいるが、そこまで、遡らなくても、かつて、日本の高度成長を背負った重厚長大の中核工業地帯が変貌を遂げつつある。

地盤沈下と公害の産業都市のレッテルをはられた尼崎のウォーターフロントも大きく変貌。泥川だった運河は清く住み、工場立ち並び、殺風景で、廃棄物が散在した運河沿いのウォーターフロントは美しい Walking Road に。

この尼崎東向島の運河沿い遊歩道から、今も現役のパイプ工場の構内が見える。

騒音の発生源だった工場は物音しない静かなもの。

かつて構内を走り回っていた軌条車の鉄路が構内の建物の間をのびている。

あのかつての騒音まみれの活気はまったくなくな

り、静かなもの。でも この景色は私にとって、懐かしい風景。

私の産業遺産 また、ゆっくり訪ねよう。



阿蘇カルデラ内南側の谷の記述を「南郷谷」へ訂正

7月「発掘された日本列島 2013 展-新発見考古学速報-」の項で紹介した阿蘇カルデラ内の鉄器を集積した弥生集落遺跡「幅・津留遺跡」についてその位置を「阿蘇谷」としていましたが、

「阿蘇谷はカルデラ内北側の谷で、カルデラ内南部の谷は阿蘇谷といはず、幅・津留遺跡のあるカルデラ南側の谷は南郷谷という」とのご指摘をいただきました。

私の掲載資料を含め、上記のごとく弥生集落遺跡「幅・津留遺跡」のある位置を「南郷谷に訂正させていただきました。」



〔今月の和鉄の道・Country walk より〕

◎ 風来坊 Country Walk

1. 旧尼崎城下「築地だんじり祭 Walk」
2. ナッシュビル Bluegrass Music ライブ

秋の夜長 大阪のライブハウスに出かけました その雰囲気が伝われば・・・・

3. 深まる秋を西神戸&東播磨に訪ねる 毎年 出かける西神戸・東播磨田園地帯の秋風景

◎ From Kobe 2013年10月10月深まり行く秋便り

政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの

「天声人語」氏 2013.10.5. 「解雇のできる特区」の記事を読んで

◎ 今月【和鉄の道・Iron Road】の記事なし 今月の更新には製鉄関連遺跡探訪の記事なしです。

11月9日に愛媛大で「鉄と匈奴」のシンポジウムがあり、モンゴルなどブラックボックスである中央アジアの製鉄遺跡の検討などが行われる。 匈奴の時代の製鉄や日本のたら製鉄がとの関係など興味深々。

聴講にゆければと・・・・。

是非お目にかかりたかった先輩と10数年ぶりに岸和田城のお堀端で会食しました。80を超えたのにまだ、山登りも運転も。

この立派なお城を眺めて通学し、今もよくここへと聞きました。

岸和田にこんなに立派なお城があったんだと

先輩の元気なお姿と共に強く印象に。

また、帰りには和泉佐野で療養中の仲間にも会えて

うれしい一日でした 2013.10.5.



2013.10.5. 岸和田城

一は | 日一辭 じっくり考える。
二は | 日十辭 誰から笑う。
三は | 日百辭 滅呼吸。
四は | 日千辭 言ぐ。
五は | 日万辭 歩く

全體を眺め個を知る
原因を人の所為にせず
ルーツ原因の解明と防止
そして(対策突破の)歴止め
あまりにも人の責任にするこの頃
職場で叩き込まれた言葉です。

変えられるものを変える勇気と
変えられないものを受け容れる心の静けさと
両者を見分ける教智を

二つ一つの折りより「勇氣」、「全體」、「かわら」

今 元気にぐらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔で すごせたらと
以前はスピードを追った毎日でしたが付和雷同せず
勇気・冷静・知恵 その重みを強く感じている昨今です。
「まあええか 元気なして行こう」と 心は行ったり来たりです

今年の秋は是非 かつて歩いた久慈海岸そして青森山内丸山遺跡へ行こうとしましたが、実現できず。また、来年。

どこにいても そんな仲間がいるだけでうれしい。

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください

気軽にお付き合いのほどを。

引き続き、色々お教えいただきたく

お願ひします。



2013.10.15. from Kobe Mutsu Nakanishi



私のふるさと尼崎にも岸和田に負けない勇壮なだんじり祭があります



旧尼崎城下の「築地」に300年続くだんじりとだんじりが勇壮にぶつかり合う「だんじり祭」 2013.9.16.

私のふるさと尼崎 江戸時代初期に西の守りとして3重の堀と4層の天守閣を持つ水城があり、その城下では
たんじり囃子が轟ぎ渡る中 たんじりとだんじりがぶつかり合う勇壮な祭が開催される
そんなだんじり祭が南の工場地帯に接する旧城下築地に今も残っています。9月16日見物にいきました
お囃子を聞いただけで、体が動き出すふるさとの祭 子供の頃に戻って楽しみました

だんじり祭というと岸和田が有名ですが、尼崎に残る勇壮なだんじり祭をスライド動画でご紹介しました

また、大きく変貌を遂げつつある工業都市尼崎のウォーターフロント かつてよく通った工場の一角 東向島の運河沿いもWalking



工業都市 尼崎の変貌するウォーターフロント 2013.9.16.
かつて尼崎の象徴は黙々と煙を吐く工場地帯の煙突群 今街角に立っても煙突群が消え去ってしまったのがさびしい
でも 今は 美しいウォーターフロントがお出迎えてくれる

【2013年10月 深まり行く秋 home page 更新記事 概要】



今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年10月

[今回の更新では記事なし]

阿蘇カルデラ内南側の谷の記述を「南郷谷」へ訂正

8月「発掘された日本列島2013展-新発見考古学速報-」の項で紹介した阿蘇カルデラ内の鐵器を集積した弥生集落遺跡「幅・津留遺跡」についてその位置を「阿蘇谷」としていましたが、

「阿蘇谷はカルデラ内北側の谷で、
カルデラ内南部の谷は阿蘇谷といわず、
幅・津留遺跡のあるカルデラ南側の谷は南郷谷という」
とのご指摘をいただきました。

掲載資料を含め、上記のごとく弥生集落遺跡「幅・津留遺跡」のある位置を「南郷谷に訂正させていただきました。」



今月の風来坊 Country Walk 2013年10月

1. 旧尼崎城下「築地だんじり祭 Walk」2013.9.16.

私のふるさと尼崎は江戸時代初期に西の守りとして3重の堀と4層の天守閣を持つ水城があり、その城下ではだんじり囃子が響き渡る中 だんじりとだんじりがぶつかり合う勇壮な祭があった。

だんじり祭というと岸和田が有名ですが、南の工場地帯に接する旧城下「築地」に今も残る勇壮な「だんじり祭・山あわせ」をスライド動画でご紹介

また、大きく変貌を遂げつつある工業都市尼崎のウォーターフロント



きれいに整備された築地の街に接する東向島はかつてよく通った工場の一角。かつては公害と地盤沈下の代表といわれた街が今は運河沿いに遊歩道が整備され、運河沿いの工場街探索 Walking のルートに。こんなにきれいになった尼崎の工場街も。



工業都市 尼崎の変貌するウォーターフロント 2013.9.16.



2. ナッシュビル Bluegrass Music ライブ 2013. 10. 2.

大阪なんば ライブハウス「アナザードーム」にて

ジャズ大好きの友人から、久しぶりに大阪のライブハウスに行こうと声が掛かった「Bluegrass Music Live」。それも、唯一私が訪れたことのあるジャズの都「ナッシュビル」のミュージシャンによるライブコンサート。

10月2日夜 なんばのライブハウス「アナザードーム」へ。

ジャズのジャンルなど ちんぶんかんぶんですが、久しぶりのジャズライブの雰囲気にスカッと心地よい気分。

ミュージシャンたちとも触れ合え サインをもらったり、スナップも一緒に取れたし、深夜まで 楽しいジャズライブの夜でした。



3. 【写真アルバム】西神戸・東播磨の田園に深まり行く秋を訪ねる 2013. 10. 7. 毎年出かける西神戸・東播磨の秋景色



毎年 出かける西神戸・東播磨田園地帯の秋風景

今年もたわわに実った棚田やコスモス畑そして田園地帯に沈む夕日などすばらしい里の秋風景を写真アルバムにしました

1. 加古川東岸の山裾に広がる志方のコスモス畑	志方町高畠・広尾・野尻のコスモス畑
2. 実りの秋の収穫 播州の秋のすばらしい景色	加古川西岸 志方町 & 上荘町で
3. 小野市鴨池の秋	小野市鴨池
4. 西神戸神出の田園地帯の夕暮れ 日没	神戸市西区神出
5. グリーンスタジアム神戸 夏の終わりをつける花火ナイト	神戸市西区総合運動公園

今月の From Kobe 2013 年 8 月

From Kobe 2013 年 10 月の便り

「天声人語」氏 2013. 10. 5. 「解雇のできる特区」の記事を読んで

政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの

あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり

「天声人語」氏 の冷静な常識に共感する

何か異常な社会の方向に 自分が遅れているのか でも同じ世代が操る政治にもうびっくりです

弱い立場にある労働者の権利を脅かすのか、能力の高いエリートに自由を与えるのか。必要のなくなった従業員を解雇しやすくするのか、よりよい職場をつくするのか。企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対にも見える議論である▼安倍政権の成長のなか、従業員を解雇しやすくするのか。よりよい職場をつくするのか。企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になると見るやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対に戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限って緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判と

天声人語



11月末 急に寒くなって、紅葉も鮮やかに色づき、一年の終わりを感じるこの頃

神戸では駅前にクリスマスイルミネーションが輝き、ルミナリエの準備も着々

一機に師走らしくなってきました

この一年 色々 本当にありがとうございました

12月 異常気象の中 晩秋と初冬とが入り混じる本年最後のページです

《 今月の更新より 》

愛媛大学東アジア古代鉄研究所 第6回国際シンポジウム「鉄と匈奴」聴講 2013.11.9.

東西ユーラシア大陸を結ぶ金属器・鉄器文化の道 Metal Road & Iron Road 探求

BC3世紀～AD1世紀 モンゴルの遊牧の民「匈奴」が独自の製鉄技術を持っていた



それもたら製鉄につながる塊鍊鉄製鉄技術と百鍊鉄の鍛冶技術

日本のたたら製鉄のルーツ解明につながるかも

四国の名物列車を乗り継いで 四万十から高知へ 南四国の秋 車窓の旅を楽しみました 2013.11.10.



【 12月の便り 2013.12.5. 】



【12月の便り】 2013.12.5.

1. 晩秋と初冬が入り混じる師走
2. 早朝練習 吐く息も真っ白に
3. 神戸の猪
丸々と太った猪に出会いました。
4. 冬のラグビーセーンの幕開け
今年も冬の楽しみに
5. 思わぬ出会いが楽しみに
6. 今月のhome page 更新記事



 Stay Young Day !! 今できることを 第一杯
お互い笑顔で前向き思考 元気で乗り切って行きましょう
今 元気にくらしていることを感謝しつつ
お互い元気で 日一日を笑顔で すごせたら
苦難に立ち向かっておられる東北の人たちに 思いをはせています。
忘れない 忘れないで 韶かい希望の輪がつながっていることを
困難の中に居られる方々を 応援しよう!



晩秋と初冬が入り混じる師走 「無理せず ゆっくりと」

12月 師走といつても、別に変わることもなし。

平々凡々の毎日 異常気象の中 季節感が随分薄れてきた日々ですが、神戸では、11月末からの厳しい寒さに 一機に周りの樹木も鮮やかに紅葉し、神戸では駅前にクリスマスイルミネーションが輝き、ルミナリエの準備も着々 師走らしくなってきました。



なんとか 一年乗り切れたことがうれしい。 ありがとうございました。

「無理せず 声掛け合って 毎日毎日を」是が一番。 そんな12月スタートのページです。

2013.12.5. 神戸で Mutsu Nakanishi



早朝練習の子供たちの吐く息も真っ白に



神戸のいのしし



孫が六甲風吹岩にハイキングに行って「おおきな猪」を見たと興奮気味で 電話がかかってきた。

「そやろ 風吹岩は子ずれの猪出没の本場や」と。

そんな矢先 紅葉見物に出かけた布引谷市原で今年もまた猪を見ました。それも丸々と太った猪。

最近はもう餌をやらないことが徹底されてきましたが、人を恐れず、悠然と河原を歩き回っていました。

時折 三宮の街中に出没して話題になることがあるのですが、

そこはやっぱり 野生。 いつ牙をむくか 解からず。ご用心。

六甲の猪 どうも数が増えているようだ。





冬のラグビーシーズンの幕開け 今年も冬の楽しみに

冬の楽しみ ラグビーシーズンがはじまった

今冬も神戸や花園の試合を見に行こうと思っている。

昨年はデジカメでトライの瞬間撮影を狙いましたが、今年は……。また、ゴール裏から見るのは迫力満点の姿であること知りましたので、今年は何度かやってみよう。

身に堪える生駒嵐の花園ですが、寒さも楽しめねば…と。

楽しみなシーズン開幕です。



2013.12.1. 神戸/サンタリーニ vs 神戸ユニバー競技場

2013.12.1. 神戸/サンタリーニ vs 神戸ユニバー競技場



思わぬ出会いが楽しみ 「古希」そんな歳になりました



高校の記念同窓会でむこうのテーブルの輪に世話になった中学の先輩たちが居られるのを見つけ、おぼえてるかなあと思いつつ、声をかけた。それこそ 60 年に近いのですが、覚えてくれていて、一機に会話の輪が広がりました。

街角でもそうですが、知った人らしい人を見かけるとよく声をかける。

「声かけられた相手は迷惑かも」ともよく聞き、また「誰も自分を見つけてくれないかも・・」との不安が頭をよぎることもあるのですが、例外なく楽しみが倍加する。

その楽しみは「記憶の奥に消えていた思いがけない人」や「知らなかった自分」に 出会えること。

同窓会は自分探しの旅でもあると。

声をかけて、失敗もあるのですが、「今 声かけないと」の思いあり、まあええかと。

そんな中で仲間の輪が広がってゆくのがうれしい。 お許しを。

[今月の和鉄の道・Country walk]

◎ 本年も一年間ありがとうございました

だんだん文章や構成力がなくなってきて、更新も途絶えがちに。本年もありがとうございました。

今年もまた、12 月更新には四国・愛媛大学シンポの記事になりました。

◆ 和鉄の道

5 世紀半ばに開始されたたら製鉄。当時東アジア周辺には日本へつながる塊鍊鉄製鉄技術はすでになく、たら製鉄には数々の伝承の中、いまだよく解からぬ謎がある。この謎に惹かれて 10 数年・・

どんな経路で製鉄が始まったのか?

豊型炉と箱型炉の同時期出現や東北の蕨手刀の素材の入手は?等々。

たら製鉄の謎を解くかも知れぬ愛媛大Gのモンゴル国内での匈奴の独自製鉄の発見。

中国ルートとは別に古くから、ユーラシア大陸の東西を中央草原地帯を通じて結ぶ「Iron Road」が確実に解き明かされつつある。

たら製鉄ロマンの謎もいよいよ解き明かされるかも知れぬとの期待が広がってきた年になりました。

また、鉄の話題が伝えられることが少なくなってきた昨今ですが、地域の町おこしばかりでなく、グローバル化の対極として、地域循環型 経済再興の学ぶべきモデルとしてたら製鉄が取り上げられたり・・・

一方 地球の生命体そして未来を開く鉄の話題も・・・・やっぱり「鉄がおもしろい」と。

◆ 風来坊 & From Kobe

なんといっても今年は屋久島 繩文杉に出会えたことがビッグ。家内が見たくてトレーニングに励んだのにもびっくり。

一方、今年も東北へ出かけられなかったことは心残り.....

いまだに口では地方再生・東北復興を唱えながらもその実 中央集権・大企業東京中心の政治そして年寄に厳しい政治には腹だたしい。

喪中の知らせが数多く届くこの秋 仲間の逝去の知らせは本当につらい。

でも、「元気か!! 元気を取り戻し中」との報に接すると本当にうれしい。

師走というと、本当に人恋しく、仲間の元気がうれしい歳になりました。

「無理せず 体調に気をつけて!! 次回 笑顔で出会いましょう」が、いつもメールの結びに。

本年古希 そんな歳になりました。

四国四万十の旅の途中、ふとかつて一緒に仕事した仲間が帰郷したことを思い出して、

携帯電話を見ると、もう10年近く前の大阪での番号が残っていました。

電話通じるかなあとアクセスすると

本当に久しぶり 懐かしい声が電話の向こうで・・・・

どこにいても そんな仲間がいるだけでうれしい。

神戸に来られたら 是非一度 お訪ねください

気軽にお付き合いのほどを。

引き続き、色々お教えいただきたくお願いします。

なにはともあれ、孫も4人になり、色々ありましたが、みんなに支えられていること実感した一年

また 元気でがんばりたいと ありがとうございました。

なにはともあれ、孫も4人になり、色々ありましたが、

家族ともども みんなに支えられていること実感した一年

また 元気でがんばりたいと ありがとうございました。

2013.12.5. from Kobe Mutsu Nakanishi



【2013年12月 home page 更新記事 概要】

今月の和鉄の道 製鉄遺跡探訪 2013年12月

1. 愛媛大学東アジア古代鉄研究所 第6回国際シンポジウム「鉄と匈奴」聴講記録 2013.11.9.

東西ユーラシア大陸を結ぶ金属器・鉄器文化の道 Metal Road & Iron Road 探求

BC3世紀～AD1世紀 モンゴルの遊牧の民「匈奴」が独自の製鉄技術を持っていた



それもたら製鉄につながる塊鍊鉄製鉄技術と百鍊鉄の鍛冶技術

日本のたたら製鉄のルーツ解明につながるかも

今回のシンポの焦点は「BC3世紀～AD1世紀 漢と対抗しつつ、ユーラシア大陸中央の草原を駆け抜けたモンゴルの遊牧の民「匈奴」が、独自の塊鍊鉄製鉄の技術を持っていたこと。そしてシルクロードとは別に製鉄技術伝来ルート「ユーラシア大陸草原の鉄の道」が東アジアへつながっている可能性がみえてきた」

ことの具体的講演発表。

- | | |
|----|---|
| 1. | 《ユーラシアメタルロードの探求》 愛媛大学東アジア古代鉄研究所資料 |
| 2. | 《ユーラシア大陸への鉄の伝播》 村上恭通氏基調講演より |
| 3. | 《匈奴の製鉄炉跡 ホスティング・ボラグ遺跡の発掘》 愛媛大 笹田朋孝氏ほか講演より |
| 4. | 《ユーラシア大陸の東西をつなぐ鉄の伝播路 ユーラシアメタルロード》 |
| 参考 | 11月20日 朝日新聞 朝刊「匈奴の製鉄炉跡 ホスティング・ボラグ遺跡発見」の記事掲載
「匈奴、独自に鉄生産か 中国から略奪に異説」愛媛大などモンゴルで炉跡発見 |

日本でたら製鉄が始まる5世紀後半 この時代周辺の中国や朝鮮半島には類例のない塊鍊鉄製鉄法。ユーラシア大陸の西端トルコのアナトリア高原でBC12世紀以前 ヒッタイト等が発明した人工鉄が、ユーラシア大陸の東端の日本のたら製鉄として花開いたルートは謎はいまだに未解明。多くの人の心を捉えてきた。

愛媛大とモンゴルや中国・ロシアなどアジア諸国との共同研究・発掘調査「ユーラシア大陸を結ぶ金属器・鉄器文化の道 Metal Road & Iron Road 探求」で、古くからユーラシア大陸中央の草原を通って、ユーラシア大陸の西から東へ金属器文化東伝の道があり、この草原の道を《銅→青銅→鉄》と金属器を変遷しながら、金属器文化が東伝したことが次第に明らかになってきた。

この草原の道がたら製鉄のルーツの謎を解き明かすかもしれない興味津々でシンポを聴講しました。

「鉄と匈奴」のシンポジウムの講演は興味のあるものばかりで、私にとっては非常にわかりやすく、聴講中に講演スライドを撮影させていただき、スライド動画と聴講記録に整理してまとめさせていただきました。ありがとうございました。本資料は「匈奴の鉄」理解のためとご配慮・ご留意ください





1. 松山・宇和島から四万十グリーンライン・高知へ 2013.11.10.

南四国の秋 一度やってみたかった 四国の列車を楽しむ 鉄ちゃんの旅



- ◆ 松山伊予鉄 美しいイルミネーション付路面電車
- ◆ 松山→宇和島 アンパンマン列車 特急 宇和海
- ◆ 宇和島→窪川 海洋堂ホビートレイン
- ◆ 四万十川沿い シマントグリーンライン
- 狹い谷あいを蛇行して流れる清流 四万十川の秋景色
- 四万十川に架かる沈下橋
- 日本で一番暑い所 41℃を記録した四万十の里 江川崎
- ◆ 窪川→高知 特急 あしづり JR 土讃線
- ◆ 高知土佐電鉄 はりまや橋 路面電車ダイヤモンドクロス 土佐電鉄高知市街線



《南四国の秋 一度やってみたかった鉄ちゃんの旅》

松山での用事をすませ、翌日神戸へ帰る道。一日雨の天気予報に これはまたとないチャンス。

四国にはアンパンマン列車をはじめ、色々な名物列車が走っている。

また、日本一の清流 四万十川に沿って走る列車 予土線には乗ったことはない。紅葉と清流にかかる沈下橋はぜひ目に納めておきたい景色。そしてもうひとつ 高知市内を走る土佐電鉄の路線がはりまや橋横で作る「ダイヤモンドクロス」もぜひ見たい。

11月10日松山・宇和島から四万十川沿いに窪川に出て高知へ四国の名物列車を乗り継いで、一日四国をめぐって鉄ちゃんを楽しんできました。

松山朝8時8分発のアンパンマン列車特急「宇和島5号」に乗れば宇和島から予土線で四万十川を眺めながら昼過ぎには高知につける。地図をながめながら、何度かイメージしたコース 雨をいいことに今 回はぜひこの鉄ちゃんをしようと。



日本一の清流 四万十川にかかる沈下橋 2013.11.10. 予土線車窓より

今月の From Kobe 2013年12月

From Kobe 2013年12月の便り

師走 あっというまの1年 古希を迎えて

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 若者たちのエネルギーに託したい

あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向に いきどおり「天声人語」氏 の冷静な常識に共感する

何か異常な社会の方向に 自分が遅れているのか 同じ世代が操る政治にもうびっくりです

でも ぼやいてばかりはいられない 70歳 まだまだ早い せくな 老楽 これからよ

■ 四季折々 Mutsu 神戸便り 2013 のpageへ

■ 神戸で 思いつくまま 2013 の page

Stay Young Day !! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!

2013 From Kobe 目次

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に fkobe1301.pdf
《 21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」》
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5. fkobe1303.pdf
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り fkobe1305.pdf
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京 fkobe1307.pdf
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか…とも
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」 fkobe1308.pdf
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」
7. From Kobe 2013年9月 fkobe1309.pdf
藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5.「解雇のできる特区」の記事を読んで fkobe1310.pdf
「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe 2013年12月 師走 あっというまの1年 古希を迎えて fkobe1312.pdf

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。
「でも 今 それが必要では???」とついついやってしまう。心せねばと思っています。

(なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉)

《あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉》

- ◆ フィルド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止 そして(対策突破の)歯止め

ニーバーの折り「勇気・冷静・知恵」

変えられるものを 変える勇気と
変えられないものを 受け容れる心の静けさと
両者を見分ける観察を

一は 1日一回 じっくり考える、
十は 1日十回 腹から笑う、
百は 1日百回 深呼吸、
千は 1日千字 書く、
万は 1日万歩 歩く

四季折々【12】2013

- 四季折々 Mutsu Monthly 神戸便り【12】2013
- 神戸で 思いつくまま From Kobe 【12】2013

mutsu2013.pdf

kobe2013.pdf

Stay Young Day ! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切って行きましょう

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!

From Kobe 2013 思いつくまま 神戸で 思いつくまま From Kobe 【12】2013

kobe2013.pdf

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に
《 21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」》 fkobe1301.pdf
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5.
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅 fkobe1303.pdf
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月 5月 新緑の季節便り
1. 春景色 From Kobe 2. 屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める fkobe1305.pdf
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか…とも fkobe1307.pdf
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」 fkobe1308.pdf
7. From Kobe 2013年9月
藻谷浩介・NHK広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践 fkobe1309.pdf
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5.「解雇のできる特区」の記事を読んで
「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり fkobe1310.pdf
9. From Kobe 2013年12月 師走 あつというまの1年 古希を迎えて fkobe1312.pdf

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。
「でも 今 それが必要では????」とついついやってしまう。心せねばと思っています。

《 なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉 》

《あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉》

- ◆ フィルド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止
そして(対策突破)歯止め

変えられるものを 変える勇気と
変えられないものを 受け容れる心の静けさと
両者を見分ける慧眼を

一は 1日一冊 じっくり考える、
十は 1日十冊 腹から笑う、
百は 1日百冊 深呼吸、
千は 1日千字 書く、
万は 1日万歩 歩く

迎春 2013



鉢のふるきと 奥出雲 出雲神楽「八坂大蛇」より



子文菓
笠置山ハツ橋

Stay Young Day !!

お互い笑顔で 前向き思考

元気で乗り切って生きましょう
本年もよろしくお願ひします

2013年1月

By Mutsu Nakanishi

《 いつまでも若くいるコツ 》 by ジョージ カーリン

1. 年齢、体重、身長など、どうでもいい数字は気にしないこと こんな事は医者に任せましょう。
そのためには医療費を払っているのですから。
2. 元気な友達とだけ付き合うこと
愚痴しか言わない人といふと、こちらの気持ちも暗くなります。
3. 生涯学習あるのみ コンピュータ、工芸、ガーデニング、ハム無線、なんでもよいので学ぶ姿勢を持ちましょう。
脳を怠けさせない事。怠けた心には、衰えという悪が宿ります。
4. 単純な事を楽しみましょう
5. 沢山、長く、大きな声で、お腹が痛くなるくらい笑いましょう
6. 悲しみ、耐えて、そしてまた進む 泣も出るでしょう。しかし一生懶れ合ってくれるのは、自分自身です。
命ある限り、自分の人生を歩みましょう。
7. 好きなものに囲まれて暮らしましょう
家族、ペット、思い出の品、音楽、植物、趣味、何でもいいですから好きなものに囲まれて暮らしましょう。
家は自分の居心地の良い場所なのですから。
8. 体を大切に！今健康ならそれを維持し、悪いなら、改善に努めそれが無理なら、助けを求めましょう。
9. 後悔しないこと ショッピング、隣町、外国、とにかく後悔する気持ちを忘れさせてくれる場所に出かけましょう。
10. どんな時でも、大切な人に「愛している」と伝えましょう

そして忘れてはいけない事： 人生とは、自分が息を吸う数ではなく息を吐く瞬間で測定するものです。
充実した毎日を生きましょう!!

支持基盤を失った民主党政権が倒れ、自民党政権が復活し、数多くの期待を持って 新年を迎えた。

3年前に社会の変革の夢を託して選択した民主党政権。

現実は厳しく、不景気・雇用不安が増大する中、大震災・原発事故の未曾有の社会ダメージに何一つ決められぬ拙な政治にますます閉塞感 社会格差の拡大も著しく、「こんなはずではなかったのに」の思いが社会全体に蔓延。気がついてみると

「アジア随一の経済大国・貿易立国の自信もはるか遠くに消え去り、

中国・韓国ばかりでなく東南アジアの国々にも 置いてゆかれる」と。

この未来への希望よりも現実の不安感と閉塞感が社会を覆う中、

一気にまた、「変革と前進」への期待が自民党政権を復活させた。

でも「昔は良かった」では困るのである。 この社会全体を覆う閉塞・不安感を一掃する明るい社会の実現を望む。

このためには、自民党政権が以前進めてきた「東京一極集中」「国際競争 グローバル化・効率化に名を借りたあまりにも過酷な弱肉強食 競争社会の出現」の政策をそのまま 進めてもらっては困るのである。

「企業・金融一辺倒の国際貿易立国からの脱皮 東京一極から出し、地方多極拠点・産業の育成」

「格差拡大を食い止め、若い中間層の拡大」等々 この厳しい閉塞感の中で出てきた数々の提言に耳を傾け、

社会全体が納得する新しい変革のアプローチの中で「日本再生・日本復活」を成し遂げてもらいたいとの思いが強い。

かつての団塊の世代としてすごした青年時代「することなすことなにもかもが 手本もなく新しいことで、夢中で立ち向かった躍動」の時代 そんな思いを 今の若者にも託したい。



朝日新聞 2012年12月21日金曜日「教育」欄 記事より

原発の破壊事故に未曾有の東日本大震災になすすべもなく破壊された巨大建造物 そして、高度成長期を支えた社会インフラ道路・橋・トンネルなどの構造物が寿命を迎つつあり、数々の維持保守不良の問題を起こして社会問題化している。これらの建造・技術に多少ともかかわってきた「団塊の世代のエンジニア・技術屋」にとってはそれこそ「自分の生き様」。

でも今「多少とも 後ろめたさ」を感じつつ、「今後 技術屋はどうすればよいのか」の迷いがある。

一方、これらの迷いを反映するかのように「大学の理系 特に『工学部』を志望する若者が減っている」と聞く。

昨年12月21日の朝日新聞「教育」欄に21世紀にふさわしいエンジニア像とその教育について掲載されていました。

「21世紀のエンジニア教育には『工学と社会とのかかわりと理解』が不可欠。 大学の工学教育は、産学官協同を唱えるばかりでなく、社会とダイレクトにかかわって 実践していくエンジニアの育成へと変革してゆかねばならぬ」とこの記事を読みました。

米オーリン工大の取組「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」。 ここにも社会への「心くばり」が 21世紀のエンジニアに必須と記されていました。



団塊世代の私には なかった21世紀のエンジニア像。 ご参考になれば。

老化が日に日に迫り来る世代 でも そこに仲間がいる
お互い笑顔で前向き思考 元気で乗り切って生きましょう
本年もよろしくお願ひします

2.

【From Kobe 2013年3月】街で見かけた面白いこと

2013.3.5 by Mutsu Nakanishi

阪神電車尼崎駅では停車中の電車の中を通り抜けてホームを変更できる!!

しかも走る電車の中では「電車の中を通り抜けて」とアナウスが流れる



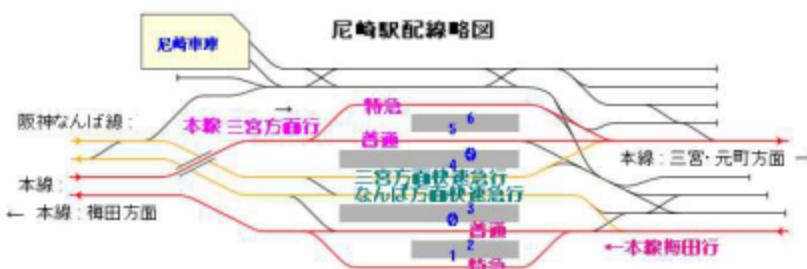
- 神戸から大阪へ向かう阪神電車に乗っていて うつらうつらしながら、尼崎駅が近づくと
 「尼崎駅で梅田行の特急にお乗換えの方は 同じホーム反対側に停車中の普通電車の中を
 通りぬけて、隣ホーム反対側に来る特急に御乗換えください」とのアナウスが流れる。
 「ええっ 電車の中 通り抜けての電車の乗り換えは 公式的なんや・・・」と。

電車の乗換えで隣のホームへ行くには、電車を下りて、ホームの端へ歩いて、階段を降りて 地下道を潜り抜けてまた、階段を登る。延々と歩いてホームを移るのは本当に大変。

阪急電車十三駅など一番東側京都線のホームから一番西の神戸線のホームまで 延々この作業をせねばならぬ。

其の点 梅田へ向かう本線となんば・奈良へ向かうなんばせんの分岐駅「阪神尼崎駅」では 停車している普通電車内を横切って、平面で隣のホームに渡れるのです。

阪神なんば線と本線との乗り換え（本線特急と難波線快速急行）は上下線とも、先にホームへ入って停車する普通電車の車内を通りぬけてホームを変更できる電車運行ダイヤが組まれている。。



阪神尼崎駅プラットホーム			
ホーム	路線	方向	行先
6	■本線	TJ	甲子園・神戸(三宮)・明石・姫路方面 (梅田方面からの直通)
5	■本線	TJ	甲子園・神戸(三宮)・明石・姫路方面 (梅田方面からの直通 阪神なんば線からのホーム上乗換可)
4	■本線	TJ	甲子園・神戸(三宮)・明石・姫路方面 (奈良・難波方面からの快速急行)
3	■阪神なんば線	-	西九条・ドーム前・難波・奈良・名古屋・伊勢中川方面
2	■本線	上り	野田・大阪(梅田)方面 (阪神なんば線へのホーム上乗換可)
1	■本線	上り	野田・大阪(梅田)方面



阪神尼崎駅



なんば線快速急行→本線普通電車→本線特急 の乗り換え



実この乗り換えは「阪神電車に乗りなれた人達だけに許された楽しみ」と思っていましたが、おおっぴらにやつてしまいのだ。

ターミナル駅で電車両側のトビラが開くと、降車ホームの人ごみを嫌って乗車側に降りると、何か後ろめたい感じ、この阪神尼崎駅の乗り換えも非公式と思っていたのですが・・・・

考えてみれば、電車の中を通り抜けすれば、一番便利で誰もが喜ぶホーム変更の手段である。

阪神電車といえば、あの甲子園5万近くの観衆を試合終了後、押し寄せる乗客をわすが1時間ちょっとで、大阪・神戸へ運ぶすごく難しい「電車運行技術」を持っている。また、次の駅が見えるほどの短い駅間隔を持ち、駅数の多さでも知られる路線なのですが、各駅停車の普通電車に日本で一番早く加速するジェットカーを開発して、走っている。(昔TVでこのジェットカーとコカール君が100m競争する画像がありました)阪急電車のスマートさはありませんが、阪神間の一帯海岸側の下町を走るほかとは一寸違った電車。もう何十年、阪神間や大阪に行く時には、遅いのですが、やっぱり親しみのある阪神電車に足が向く。



このローカルな「阪神電車の電車の中を通り抜けてホームを変更する」手段は「情報通の『鉄っちゃん』でも知らぬだろう」と思ったのですが、インターネットで「阪神電車 尼崎 車内を通って乗り換え」と入れて検索すると既に動画からアナウスまでありました。脱帽です。よく調べてみると近鉄・南海電車でも一部あるようです。

こんなうまい電車乗り換えの方法 電車の運行技術が優れた阪神ならではとちがうでしょうか・・・
負け惜しみですが、『車内を通り抜けるホーム変更を大々的に堂々と出来るのは阪神だけや』と今も思っています。

地道ですが、長年培ってきた鉄道の運行技術の蓄積が光っています。こんなところにも『鉄』がある。
「鉄っちゃん」へ。機会があれば是非一度トライを!! また、車内のアナウスにも耳をかたむけて。

最近あまりうれしい話題のない私の故郷「鉄の街 尼崎」の話題です。

今年は タイガース どうでしょうか・・・・これも今 早春尼崎 巷での挨拶代わり。
いよいよ 春到来 待ち遠しいこの頃です。

2013.2.27. from Kobe by Mutsu Nakanishi

【参考 停車中の普通電車内を通って隣のホームへ インターネット検索】

インターネットで

「阪神尼崎駅 なんば線快速急行から各駅停車電車内を通って本線特急へ 乗り換え」等検索
たとえば

- ◎ <http://kobekan.blog95.fc2.com/blog-entry-809.html>
- ◎ [http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%BC%E5%B4%8E%E9%A7%85_\(%E9%98%AA%E7%A5%9E\)](http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%B0%BC%E5%B4%8E%E9%A7%85_(%E9%98%AA%E7%A5%9E))

3.

新年度に向けて また ぶつぶつ です 3月31日イースターの日に



アーモンドの花 花言葉は「希望」「真心の愛」「永久の優しさ」
 今年こそ みなが分かち合える 明るい平和な年 になってほしいものです
 3月31日は「復活日・イースター」思いは同じ
 はかり知れない神の愛 共に生かされている私たち
 自らをふりかえり、家族・周りの人たち・地球の人たちに思いを…

「信仰と希望と愛、この三つはいつまでも残る
 その中で最も大きいなるものは愛である。」
 愛は愛する者のために自分を犠牲にします。
 真実の徹底的な愛は自分の命を愛する者のために捨てます
 プリントの第1の手紙「愛の賛歌」より



⑤ 4月になって 神戸でも桜が咲いて、街に数多くの人が繰り出して、華やか。

この華やかさが好きなこの頃です。

でも、東京では 桜の話題はもう 1週間も前。

TV のニュースショウのはしゃぎぶりも もう東京では過去のものに…。

でも 関西よりも 緯度の高い東京で桜が 1週間以上も早く咲く。なぜ……

この異常さにみんな眼がむけないのでしょうか…

人口集中と都市化によるヒートアイランド化がここまで進行している異常さには

無神経でいられない。

次から次へ頭の上を刹那的に飛び越えてゆく。これで本当に良いのだろうか…

「東京に更に投資を呼び込んで、東京が元気になったら、それが地方に波及する」

そんな旧態依然の政治・ビジネスモデルを振りかざすこつけいさに唖然としているの

ですが、どうでしょう。

今 東京は分散化へ向かわないと大変なことになると心配するのですが…。

既にあの東日本大震災にあふれ出た都市難民そして 脆弱な都市構造。

防災都市化への道が急務な時に また、東京オリンピックだという。

それも 東日本大震災からの復興記念だという。とつつけたような東京の我流。

異常が異常にみえぬ都市集中の中 さらに東京に投資してどうするのでしょうか…

かつて、「選択と集中」といい続けて、周辺を切り捨て、一極集中を進めた結果、さんさんたる荒廃の企業群を生んだ二の舞にならねば…と思っている。



左から右へ顔を動かすと「娘さん」
 に見えたり、「婆さん」に

だまし絵

しっかりとした眼を養わねば

◎ 先日見ていた TV ドラマの中で

「真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるので。 絶対の真実や正義などありえないのだ」と傲慢に言い放ち、豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら 立つ位置 初めにみんなにみせろ」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみていると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないか……と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「選択と集中 スピード経営」を旗印の即物的な収益・マネーチームに終始するビジネスモデルが主流の昨今 本当にこれでやつていけるのだろうか……と。

「急激に大きくなった会社はやっぱり 急激に衰える。 その点 百年企業は急激な収益増は出さないが、もし、衰えるとしても百年かかる。 そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れている どちらのビジネスモデルにしがみつくか 企業の度量が問われる 」とよく聞いたことがある。

その時には、「負け惜しみの美学か……」などと自嘲気味になっていましたが、その後の時代の流れが、真実を証明しているかに見える。

そんな時代 自戒の絵として、下に示す「騙し絵」をよく「某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなあ……」と。自分には 娘さんに見えるのに 相手は婆さんと見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあること これをよく頭に刻んでおかねばならぬ。 真実を見間違う認識のズレこれを知っていて操るやからが多くなっている昨今 以前にもまして じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

この絵 どう見えますでしょうか…………



「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

四月 新年度 若者が多数 新しい出発をする中 集中・中央ばかりに眼を向けず、分散・地方にも眼を向けてもらいたい。まだ、その糸口さえよう見つけぬ私ですが、それが弱者切捨てからの社会変化への糸口にならないか……。

そんな思いを込めて、昔からよく知る騙し絵を新しく出発する若者たちへ送りたい。

先日 TV を見ているとヨーロッパで活躍するサッカー全日本の選手が

「今は自分でゴールに迫るより、パスしてほかの仲間を生かした時の方が嬉しい。
常に自分を励まし、鼓舞してやって行く姿勢はかわらぬが、自分の中で大きな変化が生じている」
と語るのを聞いた。

厳しいヨーロッパ サッカーで、ゴールに猛進する姿を見せつけながら 自分の道を切り開いてきた彼には意外な言葉。彼の言う今の考えが主流になってくれれば……と 今後の活躍に期待したい。

4.

From Kobe 2013 思いつくまま**【 From Kobe 2013 年 5 月 新緑の季節便り 】**

5月の大型連休も終わってひととき いかがでしょうか

さわやかな5月の風かふきわたり、野山は新緑につつまれ、庭先にも春の草花が満開

毎日毎日変化してゆく春景色に目を奪われる毎日この自然の息吹・エネルギーを貰って リフレッシュせねば…

2013.5.15. from kobe Mutsu Nakanishi

1. 春景色 From Kobe 【 庭の草花も今が盛り 百花繚乱 うれしい春の庭に 2013.5.1. 】

桜草が終わった庭に バラにクレマチス ジャスミン アグロステンマ ポピーにすずらんも咲いて

家の角先では ツタンカーメンの豆の収穫 そして黄色や真っ赤なポピーに背の高いピンクのアグロステンマ

毎年の春景色ですが、庭が一番華やぐ時 我が家自慢の景色です



バラ



クレマチス



ジャスミン



アグロステンマ



ポピー



すずらん



【 From Kobe 2013年5月 新緑の季節便り 】

1. 春景色 From Kobe

【 庭の草花も今が盛り 百花繚乱 うれしい春の庭に 2013.5.1. 】

2. 屋久島・種子島の不思議を 島を結ぶ線で作った断面図で 読める

屋久島・種子島理解のために

◎ 新緑の緑の林の中で咲く ミツバツツジ

淡い緑に包まれた林の中で、春の日差しを受けて 小さなピンクの花を枝にける 緑の中でのピンクのコントラストが素晴らしい。
桜やシャクナゲ そして春の草花に目を奪われて ついつい忘れていますが、私の好きな素晴らしい春景色のひとつです。



須磨 旗振り山で 2013.4.9.

◎ 名前を知らないのですが、樹木や草木の移り変わる春景色



◎ 今年のカタクリの花

ことしも心待ちにしていた春を告げる妖精「カタクリの花」 花を咲かすまでに成長するのに約8年
花が咲き始めたと聞いて 雌岡山の群生地に高校時代の仲間を案内して一緒に出会ってきました。

地球氷河期の生き残り 日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせる姿に いつも心を揺さぶられる
おもわず 「 ガンバレヨ！」と声をかけたくなる



2. 屋久島・種子島の不思議を 島を結ぶ線で作った断面図で 眺める 屋久島・種子島理解のために

屋久島・種子島から帰って まだ 屋久島ボケですが、屋久島・種子島理解のため作成した断面図

屋久島と種子島 隣り合う二つの島がこんなにも 地形・地質が違うのか……

これが判らないと 屋久杉の謎も砂鉄の謎も解けない

4月13日から16日まで、屋久島へ行って、帰りに種子島へ立ち寄って帰ってきました。

屋久島の世界遺産地域にある縄文の森 縄文杉にも出会えました。本当にただただすごい杉。

屋久島の森で過ごした4日 体験したことのない深い森 縄文の森に感激でした。

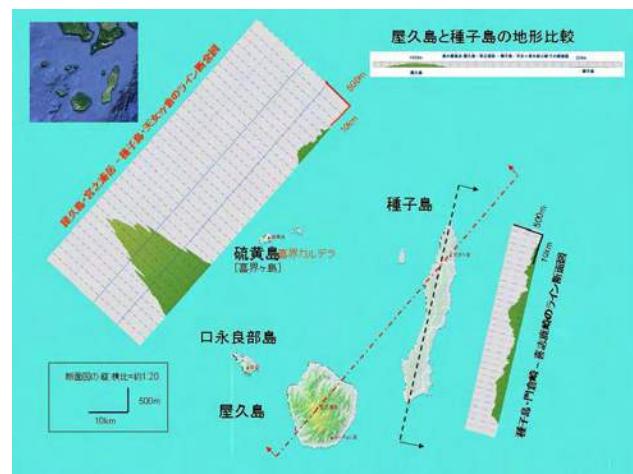
また、島の海岸いたるところで砂鉄がみられる種子島にも立ち寄って、砂鉄浜を歩いてきました。

このふたつの島は約7000年前日本全体を火山灰で覆い大気候変動と幾多の動植物の生態系を破壊した「アカホヤ噴火」をおこした大海底火山喜界カルデラにすぐ隣接する地なぜ こうも違うのか……

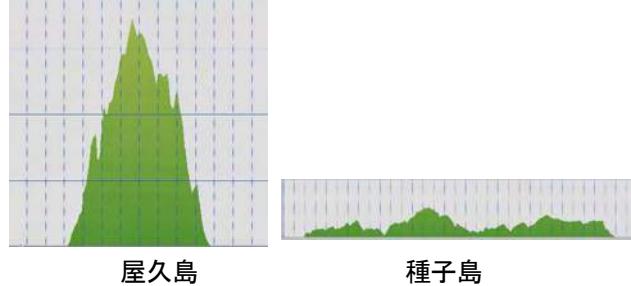
屋久島を案内してくれたガイドさんたちや種子島の博物館でも話を聞き、また、実際に島を歩いて、理由はわかるのですが、どうも実感がない。これはなんだ……と。

屋久島を離れて ジェット船で種子島へ行く途中 海面すれすれにしか見えてこない平坦な種子島に対して、海岸から立ち上がる屋久島の山々。 そういうえば「屋久島の最高嶺宮之浦岳は島の海岸部のどこからも見られず、海上か飛行機からしかみえない」と何度もききましたが、それがこれか……。 屋久島も種子島も”じんじょうな??”ではないのだと。

家に帰ったら この好対称の二つの島を結ぶ断面画を作ってながめてみよう。 そうしないと これらの島のすごさが見えてこないと。



こんなにも島の起伏が違うのだと初めて実感する。 屋久島の山は山というより壁 確かに雨を降らす障壁。また、この角度そのままで、海に地形が入っているのだと。川にゴロゴロある巨大な岩も、雨が降ると一気に数m水位があがるというのもわかる。 川に押し流された砂は海岸にとどまれない。



この断面図を見ていると屋久島は火山噴火しなかったが、噴火寸前のマグマの上昇があったのか

あわせて、屋久島に住み着くのは大変。相当地かくごがいるなあ……と。種子島が都会に見えてくるのも理解。

最近「現場主義だ 現地へ行って来た」などと自慢する話をよく耳にするが、この断面図は見る視点がなければ何も見えないことを教えてくれる。 先月のだまし絵と同じ。 屋久島・種子島は魅力一杯の不思議な島なんだ。

今月掲載した「屋久島・種子島」の数多い写真 こんな目でも見ていただければ ありがとうございます。



6月15日 東京千駄ヶ谷のビルで会合があって、久しぶりに東京へ出かけました。

以前と比べ その人の多さが又増えたことにびっくり。

千駄ヶ谷の国立競技場脇のビルの階上から見る風景はもうアメリカの都市と言っても変わらぬビルと高速道路群。 地下も地下鉄網に通信ケーブル・大規模排水溝などなどでもう超過密。地下40m近くを走る地下鉄大江戸線など「どこまでエスカレーターで下ろすのや」というほど深く、地下鉄で隣の駅へ行くより、徒歩で行った方が早いという笑い話もあるという。 どこもかしこも人であふれる超過密。

「これ以上 東京に集中投資して どうすんねん」と・・・・。

夕暮れのビル群を見ながらそんなこと考えていました。

今 アベノミックスで景気が上向きと安部さんはじめ みんなが浮かれている。

公共投資を増やし、日銀は市場に大量の金を流通させ、東日本復興だ。輸出競争力だ。東京オリンピックだと。

でも 藪にらみ的にみると中央都市機能・金融・大企業とすべて東京に金を集中させ、「東京が元気になれば、そのうち 国民ひとりひとりまでまわってゆく」との古い図式。

でも東京・中央がすべてを吸い上げる今 そんな風にはならぬ。

ちょうど 小泉政権時代の規制緩和政策の悪夢の復活のごとくにみえる。

いまだに非正規雇用で苦しむ人の多い中 今度は年寄りの年金までもが、「優遇措置で投資へ」と促す。

投資しないと物価が上がると元本はめべりすると・・・。 家にいるとこの種の電話 DMがいくつも・・・・。

セーフティーネットがいたるところで、ずたずたにされる中でこれはない。

近くはアベノミックスでの円安・株高 一般の素人投資家はどうだったのだろうか・・・・。

また、あの維新人気はどこへいったのか・・・・ほんの数ヶ月前である。

こんなことを言うと「また 東京の批判」といわれるが、日本の成長を支えた「ものづくり日本」は掛け声だけで、具体性に乏しい。日本では「金融立国を目指し、いまだに大量生産・低コスト指向の大企業」中心主義。 雇用創出・雇用安定による景気回復・東日本復興の具現化がいまだに見えない。

具体的な方策は何なのか・・・・と自問の毎日です。

かつて日本の高度成長をもたらした「物づくり日本」。

その中心にあった「電気」「造船」「鉄鋼」の雇用数は急減。電気産業の雇用数はここ数年で 最盛期の1500万人から1000万人を切っているという。

この間 口では「物つくり大国」を言い続けてきたが、具体的な「物づくり現場」の整備には目を向けず、むしろ現場の合理化にまい進してきたのである。

今の「物づくり現場」にユニークな発想を育て、新技術・新事業を生み出す素地があるだろうか・・・・。

「匠」と呼ばれた技能・技術一筋の仲間の存在・数々の試作・思考・異業種や異分野との融合等々具体的なトライそして、それを支えたイズムとよばれた松下「やってみなはれ」ホンダ「見たり・聞いたり・ためしたり」等々の指向の中にこそ「物づくり」の技術が見えてくる。かつて無駄として「ものづくり現場」からそぎおとされてしまったものばかりである。

虚業・大量生産指向の合理主義の中からは「ものづくり日本」の復権はありえない。

今の東京中心の諸施策 言い換えると「金融・大企業中心」の施策で、雇用不安から脱却し、景気回復・東日本復興が進むとは思えない。今一番必要なのは オリンピック・マネーゲームへの参加ではなく、一刻も早くも日本各地の「物づくり現場」の支援・復活ではないか・・・・。

今はインターネット時代で 誰もが手軽に情報が手に入る情報過多の時代。噂話がその真偽はともかく行動連鎖を生んでゆく時代。本当に大事なものが、簡単に切り捨てられて、「みんながそうだ。乗り遅れるな」と迎合する。

いまの世相 便利で助かることが多いのですが、鵜呑みにすると乗せられ、痛い目にあう。

操作された情報がTVにツイッター・フェイスブックにブログ。にも満ち溢れている。

最近明るみにそんなインターネット操作の記事が出ることもあるが、氷山の一角であろう。

今度の選挙から、インターネットが、解禁になる。

ただでさえ乗せられやすい日本人 留意せねば。



「俺おれ詐欺」に会うのも年寄りだけではない。 知らぬ間にインターネット・マスコミ情報に乗せられている。

真偽を判断するすべは TV もイッター・フェイスブック そしてブロクにも提供してくれない。

また、セキュリティソフトのような うそ情報をスクリーニングしてくれるソフトもない。ある。

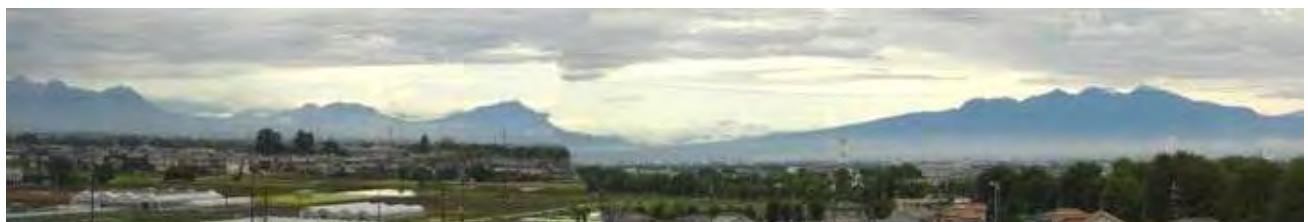
◎ ブラジルで「ワールドカップにつぎ込むお金を我々の生活救済に回せ」と大規模なデモが各地で起こっている。この感覚 健全とおもうのですが・・・・

◎ にこにこ顔で東京オリンピックをPRする顔と語り口 みな同じしゃべり方の演技がTVに流れる。

まるで、TVの日頃見る演技者の語り口に見えて仕方がない。

東日本では震災復興の具体的な生活基盤・安定雇用につながる事業につながる投資が一向に進まぬのに・・・

東京でまたオリンピックやって、大投資をせねばならぬ理由は何か・・・・



そんな折に沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君が朗読する

「へいわって すてきだね」の平和メッセージがふっと耳に飛び込んでき

平和メッセージ「へいわって すてきだね」

6月23日 沖縄全戦没者追悼式で与那国島の小学1年生、安里有生君（6）が朗読した

へいわって すてきだね」の詩が胸に響くと今話題になっている。

「 へいわってなにかな ぼくはかんがえたよ」
「 へいわってなにかな おともだちとなかよし。かぞくが、元気
えがおであそぶ ねこがわらう なかいっぱい ………………」

有生君が考えるごく身近な平和。それを一瞬にして悲しみに変えてしまう戦争への恐怖をつづり

「ぼくはへいわなときにうまれてよかったよ。このへいわが、ずっとつづいてほしい」と

口から自然と出てくる言葉で小学1年生らしくぼくとつと平和を訴える言葉が胸にずしりと響いてくる。

演技でない力強さが胸を打つ。沖縄には「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉もある。

ひとに迎合することなく本当に平和を自分のものとして

また、家族・仲間そして 共に暮らす人たちへと考えねば……と。

是非 ご一読を

共同通信 【平和の詩全文】「へいわってすてきだね」 <http://www.47news.jp/47topics/e/242925.php>

23日の沖縄全戦没者追悼式で沖縄県与那国町立久部良小1年、安里有生君（6）朗読の詩全文

youtube “へいわってすてきだね” 久部良小1年 安里有生

<https://www.youtube.com/watch?v=NBonUaHnC-g>

最近は東京・都市圏と地方地域との地域差をごまかす話が多い。ついでに年寄りもだますなど。

「みんなが言うてる」と迎合していると後の祭り、あとから 悔やんでも……。

そんな状態が起こっている。そろそろ自分で判断するすべを

身につけねばやれぬ時代 明日はわが身である。

そんなことが 頭をよぎった東京でした。

でも 久しぶりに人並みの中に身を置くと

何とはなしにうれしい。

なんとか 先が見通せる日本に早くなつてほしいと

願っています。

夜10時を過ぎて

見に行った東京スカイツリーを見上げながら。



2013. 6. 15. 夜 東京の宿で Mutsu Nakanishi



6月15日東京秩父宮 ラグビー国際マッチ 全日本/ウェールズ戦ウェールズに始めて完勝した歓喜の渦の中に加わって

6.

ひまわりの夏の便り



あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮

「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
日本社会全体に言葉とはうらはら 創造性のない時代 異常気象にだまし絵をダブらせて

2013.8.1. by Mutsu Nakanishi from Kobe

一枚の絵が眺める人の心理状態によって 幾通りかの絵に見える絵を「だまし絵」といい、何回がこのだまし絵について触れたことがある。「即物的に見た」といっても その見た人の心理状態によって、見えているものの危うさによく注意せねばならぬと。

先日 高校時代の仲間が自分の研究中の「哲学」についての著書を送ってくれたのですが、そんな難しい本など歯がたぬんだろうなあ・・・と気楽に読みはじめたのですが、面白い。

「哲学」「心」というのは、「本能」といった一面的なものでなく 人が生きてきた過程の中で それぞれが作り上げたもの。したがって、「日本人の心」・「日本人の哲学」といっても 複層的なものとして捕らえるべきものだと。欧米の人の考え方と同じだ。

このことを頭に入れて思考することが大切と繰り返し数多くの実例を引いて述べられていた。

難しい内容は別にしてあれあれ・・・と。

「哲学って 揺るぎのない真理というか 確固たるひとつのもの」と思っていましたが、そんなものか。難しいものと思っていましたが、案外私たちの身近な考えの中にあると気楽に思えたのは収穫。また、「だまし絵」の見方と一緒にやなあ・・・・と。

だまし絵をちらつかせての参議院選挙が終わって、自民党の圧勝。 また、政治の向かう価値観の急転が心配になる。小泉内閣の規制緩和・国際競争・グローバル化で一般庶民を窮地に追いやった人たちが、ブレーンとして復権し、 声高にアベノミックスを叫んでいるのにはもう沢山だと。

「だまし絵」を知っていて「見抜けなかった」と価値観を転換させた言い訳 言い逃れの隠れ蓑として、あまりにも多い「想定外」「経験したことがない」との勝手な納得。

これで物事を済ませてしまう風潮を作り出した人たちでないか・・・・。

言葉の遊びで切り抜けてしまう創造力の欠如が、数を頼み、「スピードだ グローバルだ」と押し進んでゆく。

そんな累々とした失敗が、ここ数十年続き、ものづくり日本の遺産も働きもので勤勉な日本人の特質も見失い、格差の小さい社会ももはや過去のものになってしまって、そこには理念も信念もないセツナに縛られた弱肉強食の競争社会まっしぐらである。だまし討ちに会わぬ創造的な社会形成が今ほど必要なときはない。

「想定外や経験したことは異常気象だけではない」

社会みんなが、そんな言葉で思考を停止していると思える最近の社会状況。

親方日の丸・グローバルな大企業や銀行・金融がわれわれの生活を守ってくれるのだろうか・・・・。

きっちりとしたプログラムを打ちたてて創造的な展開を進めないと日本は益々おかしくなるのではないか・・・・

もう楽観的には見ておれぬところでのアベノミックス。「明日はわが身」が迫り来る。

「だまし絵」発想を打ち破らねば・・・・。さしづめ、それを見抜かねば・・・・と。

そんなおり、7月16日早朝 NHKラジオ 朝一番 ビジネス展望 『働き方の多様化とは何か』

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に 私には一番すっと入ってくる話であるになるほどと。

◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化 「働き方の多様化」と「働きかせ方の多様化」は違う

◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。

同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方がある、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は「『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバル スタンダードが 非正規雇用を増やすこととの錯覚を

日本では植えつけられているが、けっしてそんなことはない」と欧米の具体的な事例をひいて言う。

◎ 例えば、『オランダモデル』の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。

均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

まさにだまし絵のなぞ解き いつもながら 私には一番納得できる筋道である。

今や 技術力・ものづくりが群を抜いているなど幻想に過ぎなくなっている日本。

創造力のない目先だけの金融中心の効率・大量生産・使い捨て経営が日本の物づくり現場を打ち壊してきたのはもう否定できない事実である。もっとほかにやる道はなかったかと自答するのですが・・・・

アベノミックスもまたぞろ そんな反省もないグループの復権に見えて仕方がないのは私だけか??。

皆さんにはどう見えているでしょうか・・・・いずれにせよ、東京中心主義を脱却して 落ち着いた世に早くなつてほしいものです。

参考1 昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査では
パート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に占める割合も 38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聴く。

◎ 20年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。

◎ 正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働くを得なくなっている。

◎ 25歳～34歳の若者層では、3人に1人の人が非正社員である。

高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。

こんな状況で雇用不安を感じない人たちって・・・・どんなグループだろうか・・・

政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか・・・

「心の病 会社員 2割増」「心の病におびえて働く」

2013年8月22日朝日新聞 大阪朝刊 1面 & 3面記事より



(上記新聞記事の判読できる大きさへの拡大版を下に掲載しています)

***** 「心の病 会社員 2割増」 *****

「雇用不安」との指摘

厚生労働省がまとめた医療保険の利用状況調査から、働き手本人が心の病で医療機関を受診した件数をもとに、朝日新聞が推計した。財政難に陥り解散する健保組合が相次ぎ、会員の加入者数は年々減っているため、加入者1千人あたりの受診件数で比較。現在の調査方法になった08年度以降、心の病による受診件数はやけがも含めた受診件数は3年間で8%増え、心の病が会員の7倍以上のペースで増えていた。

11年度の心の病の内訳は、うつ病などの「気分障害」が54%で最多。パニック障害などの「神経症性障害」と合わせて、長時間労働やストレスと関係が深いといふ。

（牧井昇）

リーマン後3年 本社推計

心の病にかかるサラリーマンが増えている。大企業の社員約1600万人が入る「健保組合」では、受診件数が2011年度までの3年間で2割増えた。仕事のストレスが原因となる病気が大半。08年のリーマン・ショック後の景気低迷で「企業のリストラが進み、雇用不安が広がった」との指摘が出ている。▼3面IIおびえて働く

リーマン後3年 本社推計

心の病による受診件数は、3年間で8%増え、心の病が会員の7倍以上のペースで増えている。

精神障害による災認定の件数は、10年度以降年間300件を超える高水準。関西大の森岡孝一教授・企業社会論は「リーマン後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」と

心の病会社員2割増

心の病における受診件数が増加している。これは、会員の減少による影響もあるが、主な要因は、企業のリストラによる雇用不安が広がったことによるストレスによる心の病の発生である。また、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がったことによるストレスによる心の病の発生である。

病気が8割超を占める。世代別では40代が33%と最多で、30代も3割を超えている。20代と50代は10%台で少なく、働き盛りの年代で受診の多さが目立つ。一方、中小企業の社員約2千人が入る「協会けんぽ」加入者1千人あたりの受診件数も、比較できる9年度と比べ9%多くなった。健保組合の方が受診をうながす態勢が整っているためとみられる。

精神障害による災認定の件数は、10年度以降年間300件を超える高水準。関西大の森岡孝一教授・企業社会論は「リーマン後、正社員の間でもリストラによる雇用不安が広がった。人が減るなかで多くの働き手が長時間働き、過労とストレスが高まっている」と

心の病におびえて働く

「職場にはばれたらクビかも」

サラリーマンの心の病が増えているのは、長時間労働やリストラへの不安が、働き手をメンタルヘルス（心の健康）の不調に追い込んでいるためだ。本人によるケアはもちろん、上司や同僚が周囲の不調のサインを見逃さないことが大事だ。

▼1面参照

介護施設で働く東京都内の40代男性は2年前、うつ病と診断された。前の職場で、上司から毎日「辞めてくれ」と言われ、同僚のミスも自分のせいにされた。疲れているのに眠れず、毎晩酒をあおった。台所で包丁を握つて首にあてているを、妻が泣きながら止めた。1年間の休職をへて今年3月、会社をやめた。

4月に介護スタッフとして再就職したが、いまも精神科に月1回通院し、抗うつ薬を飲んでいる。前の職場で上司から叱られた場面を思い出し、1日に数回、気分が悪くなる。いつもピクピクして働いている」と語る。増えているのは、バブル経

济崩壊後の1990年代から指摘する声もある。過去30年ほどの医療保険の利用状況を調べた神戸大

大学院の山岡順太郎研究員は「心の病の受診は90年代後半から増え、最近10年間で倍増した」と語る。「自分の心と体との対話を、毎日がけています」P.O法人で働く千葉県の50代男性は語る。発症したのは、出版社で働いていた15年前。担当す

み、2008年にNPO法

人に再就職した。雇用は

仕事は午前中ですます。

「なんとか働いている状態。少しでもマシな人生を

生きたい」と語る。心の病が増えていること

について、山本晴義・横浜労災病院労働者メンタルヘルスセンター長は「心の病

への理解が広がり、受診の心理的ハードルが低くなっ

た面もある」と分析する。山本センター長によれば、ストレスゼロを目指さ

ず、運動や余暇の時間をつくり、ストレスを解消する

習慣づくりが大切という。本人が不調に気づかない場合、上司や同僚が不調で

サインを見逃さないことが求められる。

（牧内昇平）



東京医科大「職業性ストレス簡易調査票」から抜粋。中央労働災害防止協会のホームページで自己チェックできる
http://www.jisha.or.jp/web_chk/strs/index.html

7月16日早朝 NHKラジオ朝一番 ビジネス展望

『働き方の多様化とは何か』内橋克人 2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に

私には一番すっと入ってくる話になるほど。

- ◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化「働き方の多様化」と「働く方の多様化」は違う
- ◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方は働く個人それぞれの都合の「選択」だ。

「日本ではこれが、ごっちゃにされて 都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。

同じように働いても、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、

雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。

正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方があり、いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。

内橋克人氏は『職無くば人間の尊厳もない』働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き、

「国際競争力をつけるようなグローバル スタンダードが

非正規雇用を増やすことだと錯覚を日本では植えつけられているが、

けっしてそんなことはない」

と欧米の具体的な事例をひいて言う。

- ◎ 例えば、『オランダモデル』の例示

同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。

均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

7.

新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班

「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

今 日本で一番求められている地域を元気にする

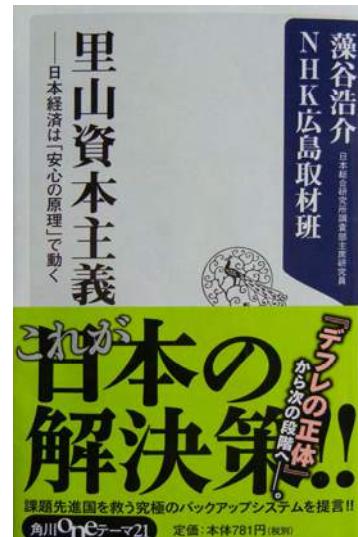
日本再生への道「里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏」創設の実践

2013.8.25. By Mutsu Nakanishi

「今 一番素直に自分の頭に入る」社会・経済論として何度か紹介した経済評論家内橋克人氏の論。内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」と趣旨をほぼ同じくする「里山資本主義」の具体的な構築論ならびに着々と推進が進む地域実践例が、この文庫本「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」に記されていますので、紹介。

この本では「里山資本主義」の考え方や具体的な実践を「マネー資本主義」と対峙するのではなく、そのサブシステムとして構築推進することで、疲弊・過疎化から地方を再生し、日本経済変革の道が提案されています。

私の一番知りたかった具体的な地域自立自給経済圏の実践例をこの新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」から、整理して紹介。

**<< 内橋克人氏の提案する「地域自立自給経済圏」>>**

「グローバリゼーション」「国際競争力」錦の御旗に大企業・大都市圏を中心とした中央集権的な「市場原理主義・金融マネー資本主義」「強欲資本主義」に警鐘を鳴らし続け、「市場主義から人間主語へ」の転換を求める内橋克人氏。

日本経済が大量生産・大量消費を前提とした量産効果に依存しているという弱点をいち早く指摘すると共に、「改革」が剥き出しの市場原理主義が社会的費用を弱者に転嫁しかねないと、アメリカ流の聖域なき構造改革に厳しく警鐘を鳴らし、「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済圏の創設を提唱する。

この自立自給経済圏とは F (フード) E (エネルギー) C (ケア) をそれぞれの地域で自給する。

食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」にまで発展させて、地域の活性化を実現しようという考え方である。

《内橋克人氏の提案する自立自給経済の創生》

【from Kobe 2012.1.1. <http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf> より】

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
 「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
 もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働く側の論理から働く人の論理へ
 国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

賢さをともなった勇気を持って 頂点同調主義から脱出 市場主義から人間主語へ
 矛盾を解决することで成長を生む「マネー資本主義」に対抗する自立自給経済の創生

日本では新政権が発足しても、「アベノミックス」・「TPP」・「原発の推進」など経済対策・東日本大震災復興事業ひとつをとっても 中央集権の一辺倒の方向は相も変わらず、いまだに大企業・中央中心的なアメリカ流の「マネー資本」一辺倒。「実感のある豊かな生活を実現してくれる」との確信を持つ人がどれだけいるだろうか・・・。

これら施策の果実を取り込んだごく一部の人を除き、格差は日増しに増大し、地方の疲弊はますます進み、その中身実

態が次々と垣間見えるにつれ、自衛の道を模索しつつも、無責任な楽観主義と社会不安・無力感の間をさまよっている。

一方、特に震災地域の急速な生活復興や地方疲弊の脱却には 地域内での「マネー循環」が欠かせぬと思えるが、ここでも 地域外へのマネー流出を促す中央集権システムが顔を出しているという。

口で言うのはたやすいが、自立自給経済圏の創設の推進は難しい。なんとか 未来へつながる永続的な推進根業モデルが立ち上がらないと、これも絵に描いた餅になると ···· 。

まだ、日本の潮流にはなっていませんが、「マネー資本主義」から脱却した日本再生への新しいアプローチ道 が地方で始まっていることを記した 新書本 藻谷浩介・NHK 広島取材班「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」を紹介。ご一読を。

2013. 8. 25. From Kobe by Mutsu Nakanishi

新書 藻谷浩介・NHK 広島取材班
「 里山資本主義 -日本経済は『安心の原理』で動く- 」
内容 要約

1. 「里山主義」 (新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」表紙横帯より)

かつて人間が手を入れてきた休眠資産を再利用することで、原価0円からの経済再生、コミュニティ復活を果たす現象。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを超える。危機を超え未来を生む、すり潰されない生き方の提案として登場。

2. 里山主義による地域自立自給経済圏の実践を進める街の紹介

中国山地の山深いたたらの郷 岡山県真庭市と広島県庄原市（西城）

「里山資本主義」というネーミングに惹き付けられましたが、中国山地奥深い過疎地 岡山県真庭市やすぐ隣の広島県庄原市西城での 1. バイオマス発電を中心とした持続的な地域循環システム取組の話や 2. 里山の雑木を燃料にした燃料効率のよい「エコストーブ」が「ストーブ」にとどまらず、原価ゼロの暮らし」のアイデアを次々と生む。

電気エネルギー消費の抑制や荒れ果てた農地・農業の再利用など地域自立の道を進める話。

● 真庭市の「バイオマス集積基地化」による地域持続型経済圏の推進

真庭市の製材企業から出る「原価ゼロの資源」木屑を燃料ペレットに変えて、バイオマス発電・家庭燃料など熱燃料としてペレットを使うことにより、「発電」「製材」「ペレットボイラー」「ペレット生産」など地場産業を興す。

現在 真庭市の消費エネルギーの11%が木のエネルギーでまかなわれ、この数値はさらに上昇中 地域の外へ金が流れ出るエネルギー収支が大幅改善し、地域活性化の源になっている。

● 庄原市西城 燃料効率95%を超える家庭用「エコストーブ」の開発による森林エネルギーによる化石エネルギーからの脱却と原価ゼロ資源利用・里山再発見発想の町づくり

「バイオマス発電だけでは成立しないだろう」「都会からやってきた人たちの気楽な田舎生活・スローライフの取り組みがしゃれた空気を街にふきこみはじめたのか···」などと懐疑的な目で読み始めたのですがさにあらず。

ペレット燃料の徹底的な活用。雑木数本で燃焼するエコストーブの高性能ぶりには目を見張る。都市から供給されねばどうしようもないと思っていたエネルギーがサブシステムとして自立し増加の道をたどっている。

「原価ゼロの暮らしとして 里山を食い物にしよう」というアピール。

この地の森林・製材から大量に出てくる原価ゼロ円の木屑などの資源をエネルギー資源に変える実践取り組みや、食料資源としての里山など、次々と実践アイデアを生みつつ、それが新たな産業・雇用を生んでゆく。

地域内エネルギー自給をめざす取組を軸に地域自立への道とその仕組みが示されてゆく。

過疎を逆手にとっての豊かな暮らしへ展開して行く取組が、行政も動かし、地域を変えてゆく。

外部に頼らずとも、持続的なシステムが着実に地域の中で育ち、地域を自立経済圏に変化させ、街を活性化する。

こんな持続的な地域循環のシステムが過疎地に構築でき、地域を帰られる。それも 誰もが斜陽と思っている森・里山の資源を軸に···。外部からの金・産業・インフラを投入せねば地方の過疎化は食い止められぬとの思い込みが一氣

に打ち壊され、懷疑的だったのが、吹っ飛んで「こんな継続的なエネルギー地域循環システムができるのだ」と……。

この本では、これらの実践は「世界経済の最先端」だといい、「この中国山地の奥深い過疎に悩む山郷での実践は突発的なものでない」という。

江戸時代隆盛を極めたこの中国山地の「たたら製鉄鉄山」では、森・里山の資源を軸とした地域循環型の経済圏が100年以上持続して成立していたことを指摘する。そして、自立経済圏構築の継続性には「エネルギーの化石燃料からの転換」そして、「の森・里山のエネルギー資源の活用」に着目した構築がきわめて重要であると説く。

そういうえば たたらの里の森林資源ばかりでなく、砂鉄をとるために切り崩した里山の跡地が牧場・棚田となって、鉄山とともに地域経済に寄与していくことなども頭に浮かんでくる。

日本伝統の匠の技術としてしか語られることがなくなった「たたら製鉄」。その仕組みにスポットライトが当てられ、21世紀型の新しい日本再生・「地域循環型自立経済圏」の構築実践モデルとして語られているのがうれしい。

中国山地のたたらの郷 真庭市や庄原市（西城） その地域自立型エネルギー・システム構築を軸とした自立経済圏成功体験の底に「たたら製鉄 鉄山」があるという。

3. 海外にある里山主義による地域自立自給経済圏の国「オーストリア」

オーストリアは日本と同じ急峻な山岳地帯を抱える国ながら、機械化された最先端の林業とペレット燃料を徹底利用したエネルギー政策に取り組む。

中でも国境の町・ギュッシング市では1990年にエネルギーの脱化石化を宣言し、木質バイオマスによる地域冷暖房やコジェネレーション発電によりエネルギー自立を実現させている。

しかし、バイオマス発電・ペレットなどはそもそも 本体の木材利用産業があって、そこからの大量の「原価ゼロ資源の供給」があってこそ成り立つ。

真庭・庄原の例にしても、現状「原価ゼロ資源木屑の供給」には限界があり、更なる広域地域経済圏の構築には「原価ゼロ資源木屑の供給」を可能とする「本体の木材利用」の産業の展開が不可欠。

国を挙げて「バイオマスによるエネルギー自立」を進めるオーストリアでは鉄筋コンクリートの強度に匹敵する建築木材として「集成材」の利用を推進し、積極的に木造高層建築の推進に取り組む。

直角方向に張り合わせた集成材 CLT（クロス・ラミネイティッド・ティンバー）が無類の強度を発揮し、オーストリアやイギリスでは CLT を利用した9階建ての木造高層建築物まで登場しているという。

日本ではセメントが容易に入手できる日本で、今後木材の高層建築物への利用解禁されたとしても 一気に進むかどうかは未知数ではあるが、鉄筋コンクリートに代替できる木材の集成材が登場する時代にもなっている。

《「木質バイオマスでエネルギー自立を実現したオーストリア」の安定な経済 2011年》

・失業率 EUの中で最低の4.2% ・一人当たりの名目 GDP 49688ドル（世界11位）

・対国内投資額 前年比3.2倍の101.6億ユーロ 対外投資額 前年比3.8倍の219.5億ユーロ

この安定した経済をささえるのが、里山資本主義。

国を挙げて木材を徹底活用して経済自立することに取組み、その成果が上記の経済安定につながっている。

また、「脱原発」を憲法に記している国もある。

日本では斜陽とみなされる林業・製材業には大型の先端機械設備などの先端技術が導入され、最新技術が支える先端産業となり、材木関連産業は今や国の重要な輸出産業。都市には木造の高層ビル建設が進み、街には バイオマス発電の電気も併用供給され、家庭には熱効率のよいペレットボイラーガがすえつけられ、これらと共に新しい産業と雇用が次々と生まれているという。

- オーストリアの製材メーカー「マイヤーメルンホフ」社では年間130立方メートルの木材の供給し、製材・加工からバイオマスまで手がけ、町では熱水パイプラインが通り、年間6万トンというペレット工場も持ち、町では ペレットを快適に利用するオートメーションシステムが整っている。
- 「熱効率90%を超えるペレットボイラー」今ペレットボイラーの普及が急速に進みつつあり、これを軸にバイオマス周辺産業が地場で急速に発展し、多くの雇用も生まれている。
- 森林伐採と永続的森資源の管理

「森林官と森林マイスター制度による徹底した森林保護・伐採の教育と林業実践」により、
林業は「持続可能な豊かさ」を守る術として バランスの取れた森林の伐採と植林が進む。
森林はオーストリア有数の外貨の稼ぎ手 木材関連産業で年間 30~40 億ユーロの貿易黒字
となっている

内陸国オーストリアでは、まだ エネルギー・電力を他国から輸入しているが、上記した木質バイオマスへの国を挙げての取組で、その輸入量も減じる方向にすすみ、「エネルギー自給」目前だという。

4. 里山資本主義に基づく地域循環型経済取組の広がりの紹介

地域の価値に気づき 地域に根ざした活動が違った価値を付け、広がってゆく

売れる秘密は「原料を高く買い 人手をかける」 そんなオンリーワン価値も生まれているという

1. 山口県周防大島の地場産業の果樹農業を活かしたジャム園の経営
自分も地域も利益をあげる街に眠るアイデア・技術の掘り起こしによるオンリーワン化のジャム作り
2. 高知県大豊町の真庭モデル導入の試み
高知県は地域収支を見ると林業は黒字なのに製材業は赤字。そしてエネルギーは圧倒的な赤。
これを改善する取り組みで地域を掘り起こす。
3. 島根県の耕作放棄地を活用した放牧の取組
食料自給率 39%の日本にひろがる膨大な耕作放棄地 この方基地の活用
ヨーロッパでは 整然と整備された草地が美しい田舎の景観を作っているのに、日本では雑草生い茂る荒地化が進む。この差はなぜか・・不思議でしたが、牛の放牧が勝手に荒地を草原に替えてくれることを数年前に知りました。 この島根県の取組も遊休地での自然放牧が新しい価値を生む。
4. 島根県邑南町の移住女性による「耕すシェフ」レストラン。
外へ市場を求めず、地域で食す 楽しみが新しい価値を生む
5. 鳥取県八頭町のホンモロコの養殖も耕作放棄地を活用した取組
遊休地に里山にある水を引いて、商品価値のある「ホンモロコ」を育てる。

5. まとめに変えて 地域収支から見える持続自立型経済圏創設への取組

新書「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」はこの後 下記のような項がつづいている。

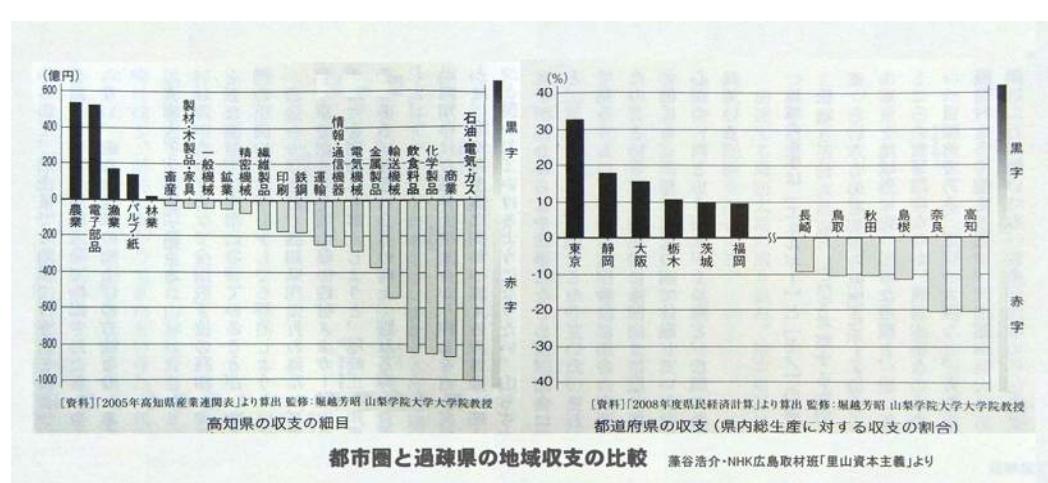
1. 里山資本主義の延長戦にある「無縁社会」の克服」取組み
2. 「スマートシティ」のシステム構築を検討する最先端プロジェクト
最先端の取組は里山資本主義の取組と驚くほど一致している
3. 結び 里山資本主義の爽やかな風が吹き抜ける、2060 年の日本

私の一番興味のあった里山資本主義の実践活動の具体的な紹介もほぼ済んだので、今回はここで私の紹介の終わりにしたい。ご興味のある方は ぜひ 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の本で。

この本に書かれた内容は中央集権的「マネー資本主義」に警鐘を鳴らし続け、日本再生・地方再生の道を「自立経済圏創生」であると説く内橋克人氏の経済論と同根・共通で、力強く地方再生の道を進む地域が具体的に示されている。

右の図は「里山資本主義」の本に掲載されていた都市圏と過疎地の地域収支のグラフ。

都市圏と地方とで、地域収支の差が大きく、しかも 地域自立にはエネルギー・食料の収支改善そして強みとして農業・漁業・林業など地場産業の地域循環型産業



としての新しい取り込み展開視点が必要なことがよく分かる。

これに 今直面している「医療」を加えれば、まさに 内橋勝人氏がいう食糧・エネルギー・介護を含めた人間関係の自給圏を作り、これらを地域における新しい「基幹産業」に育てる CFE 自給圏の創設そのもの。

今までなにか始めても すぐ国や大企業など中央に飲み込まれてしまいそうで、地方自立の立ち行く道に懐疑的でしたが、具体的な実践取組みが始まり、また、インターネットに書かれている自立取組例の記事を色々読むと地方の行政が、今までの取組とは別に この里山主義の実践取組に気づきはじめ、新しい取組が始まっていることも知りました。

地産・地消さらに地方へ行って 観光・食事そして物産を買う楽しみにも。

ちょっとですが、地域を眺める目が深まりました。

地方が武器を持ち始めて新しい道を開く。日本の先が明るく見えてくるにうれしい限り。

新しい日本再生の鼓動がそれぞれの特質を生かし、地に足が着いたオープンな取組がいたるところで始まれば、それが地方分権・地方再生そして東北再生への道へつながってゆく。

政治家の選挙戦で見る地方分権論とは違う草の根地方分権論でもあると。

また、私の知る山深いたたらの里の取り組みが紹介され、それもこの里山主義が示す地域自立型経済圏として、たら製鉄の遺産が紹介されていたのにもうれしくなって読みました。

そんな新書 また、私の好きな内橋勝人氏の経済論に実践の道がついているのもうれしい。
ぜひ一読を。

2013. 8. 25. from Kobe by Mutsu Nakanishi



中国山地 たら製鉄 鉄穴流しが作った棚田の景観 右の写真は牛が放牧された休耕田

【参考】

1. From Kobe 2012. 1. 1. 内橋克人氏 100 年インタビュー抜粋

被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を
「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう
もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働く人の論理から働く人の論理へ
国际マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ

2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

<http://www.infokkna.com/ironroad/2012htm/walk9/2012nengakobe.pdf>

2. From Kobe 2013年8月 あまりに多い「想定外・経験したことがない」の風潮 創造性の欠如した今の時代に異常気象にだまし絵をダブらせ今一番自分 にすっと入る

NHK 朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説を紹介

<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

8.

">> 滂 滂 滂 滂

井 儒

10

>>

天声人語

眞は「残業代ゼロ」でも可とするという案も蒸し返された▼この「特区」構想には当然ながら反対論が多い。政府内でも田村厚労相は「労働者の保護」という点から疑問を投げかける。憲法による基本的人権の保障が「特区の中では薄らぐ」と。連合も、不当な解雇が横行するとして断固反対だ▼特区の作業グループはきのう、新ルールの対象になるのは弁護士や公認会計士、あるいは博士号の持ち主などに限ると言い出した。要是外資やベンチャードでぱりぱりと働く高給取りの話なのだ、と。残業代ゼロの方は引っ込めてしまつた▼批判や抵抗に気を使つたのだろうか。とはいえ強者のルールがいつか弱者に及ばないとも限らない。

2013 · 10 · 5

弱い立場にある労働者の権利を奪かすのか、能力の高いエリートに自由を与えるのか。必要なくなつた従業員を解雇しやすくするのか、よりよい職場を求めるやり手社員が転職しやすくなるのか。考える角度によって正反対にも見える議論である▼安倍政権の成長戦略のひとつとして、雇用に関するルールを特定の地域に限つて緩めようという話が進んでいる。たとえばいま企業は簡単には社員をクビにできない。裁判になれば、その解雇が正当かどうか、様々な側面から検討される▼この面倒をなくすのだという。どんなときも解雇できるかについて明確な契約を会社に働き手がある

2013年10月5日朝刊「天声人語」より

業列災
砂

庭

砂

島

島

島

3

最近の政治・経済界は 弱者に目を向けるなど微塵もなし。数を頼んだ自分たちの集団を強くすることに狂奔していると映る。彼らはいったい「どこを 何を」見ているのだろうか・・・

社会のあちこちで今ほど「命を守る」の声が切実に、語られている時はない。今スピードを緩めねばならぬときに、そのほころびに蓋をして、さらにその変革に血道をあげる。

そんな世のリーダーたち・政治家や財界人の満面の笑みには腹が立つ。時代の勝利者にのみスポットライトがあたり、「明日はわが身」を省みず、それに迎合する。そんな姿を見せるリーダーたちが、みんなわれわれと同じ老齢にさしかかった人達。我々の代表が彼らなのだと気がついて 哑然とする。

潜在していた日本のほころびが今 すごいスピードで顕著に見え始めている。

それを止めての修復は今しかない。世のリーダーたちよ 「明日の世代へ 命を守る」 そんな政治・経済活動をしてほしい。

技術屋は 中身を極めるとき 答(結論に達したとき)が出るたびに「その中には何がある」→「その中には何がある」→「その中には何がある」と Rootsを探り、根幹に迫る

三度にわたる深みある Roots 検討で 見えていなかった本当の核心に迫れると教えられたものである。

世のリーダーたちよ 今一度「命を守る」をキーワードに 自分の言葉で中身を具体的に話してほしいもの敗者・年寄りの論理のようにみえて 女々しく映るかもしれませんが、

まったく時代の先を見る眼を持たぬ姿に、早くバトンを若者に渡せとしかいえないのが、わびしい。

2013.10.5. 天声人語「解雇できる特区」を読んで

By Mutsu Nakanishi

参考1 昨年10月に全国を対象に実施された『今、日本人はどのような環境で働いているのか』調査では
パート・派遣などの非正規で働く人の数が、2043万人と、初めて2000万人を突破し、雇用全体に占める割合も 38.2%、つまりほぼ4割程度に達していると聞く。

① 20年前に比べると、非正規で働く人の数は、ほぼ2倍にまで増えている。

② 正社員だった人が転職するとその内40%以上が非正規で働くを得なくなっている。

③ 25歳~34歳の若者層では、3人に1人以上の人人が非正規である。

高校や大学を卒業する時の厳しい就職環境を引きずったまま、働き続けざるを得ない。

こんな状況で雇用不安を感じない人たちって・・・どんなグループだろうか・・・

政党公約だった非正規雇用をなくす方向は今やどこかで消えてしまっている。これもだまし絵だったのか・・・

7月16日早晨 NHKラジオ朝一番 ビジネス展望
『働き方の多様化とは何か』 内橋克人 2013.7.16.

内橋克人さんのビジネス解説 実に明快分かりやすい解説に
私は一垂すっと入ってくる話になるほど。

◎ 多様な働き方・雇用・労働の多様化 「働き方の多様化」と「働き方の多様化」は違う
◎ 正社員として働くのは「権利」であって、様々な働き方で働く個人それぞれの都合の「選択」だ。
「日本ではこれが、ごっちはにされて、都合よく使われて、今の厳しい社会状況を生んでいる。
同じように働くことで、正社員と非正社員では、単に賃金格差にとどまらず、
雇用保険や福利厚生の手厚さの違いなど全般的な格差は極めて大きい。
正社員以外の働き方が増える事をもって『働き方の多様化』とするような考え方方が、
いかに働く人の現実から遠い議論かが、改めて分かるであろう。」と。
内橋克人氏は「職無くは人間の尊厳もない」働くとはすなわち、人間がどう生きるのかという問題である」と説き。
「国際競争力をつくるようなグローバルスタンダードが
非正規雇用を増やすことなどの錯覚を日本では植えつけられているが、
けっしてそんなことはない」
と欧米の具体的な事例をひいて言う。
◎ 例えば、『オランダモデル』の例示
同一労働同一賃金を前提にし、労働時間の長短による差別をなくして、賃金は均等割り。
均等待遇の上に立った長時間労働を正社員と、短時間労働制社員の2種類しか労働は存在しない。

心の病におびえて働く
「職場にはばれたらクビかも」

あなたのストレス度は? 非常に高い 高い どちらとも言えない 低い 非常に低い

□ 仕事で困ることはない ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ 時間内に仕事が整理できない ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ 生活の充実感がない ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ リラックスができない ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ かなりの注意を集中する必要がある ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ 自分の部署内で意見のいい悪い ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

□ 自分の部署とはうまく合わない ない どちらとも言えない 多い 非常に多い

東京医科大学(医療情報システム研究センター)による
「ストレス・クビ指数」を元に作成
http://www.psha.or.jp/web_chk/stress/index.html

[参考 From Kobe by Mutsu Nakanishi より]

- 新書藻谷浩介・NHK 広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介

<http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1309.pdf>

- 「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説

<http://www.infokkkna.com/ironroad/2013htm/2013mutsu/fkobe1308.pdf>

From Kobe 2013

From Kobe 12月 << 師走 あっという間の一年 古希を迎えて >>

9.

みんな笑顔で暮らせる社会への変革を 若者たちのエネルギーに託したい
でも ぼやいてばかりはいられない 70歳 まだまだ早い せくな 老楽 これからよ
お付き合いいただいてありがとうございます 引き続きよろしくお願ひします

丹後のばら寿司 古希の祝いで

この12月に70歳を迎えて 孫や家族が祝いの席を設けてくれて、こんなことがありました。

2013.12.12. From Kobe by Mutsu Nakanishi



この12月に70歳になり、孫たち家族が一緒に70を祝ってくれた。

老人手帳のほか市バスや地下鉄の高齢者優待バスが送られてきて、自動車免許の更新には高齢者講習。

「好奇心と行動力さえ 失わなければ いつまでも若者」との思いはあるが、

高齢者講習でひたひたと忍び寄る老齢化の波を思い知る。でも健康でいれば まあ ええかと……。

祝いの席でふと壁をみると下記 長寿の心得が 掲げられていて 元気が出る。

「人生は山坂多い旅の道 古希 70歳でお迎えが来た時には まだまだ早いと言へ

喜寿 77歳でお迎えが来た時には せくな老楽 これからよと言へ」

カニの季節 蟹が食べたいという私に、神戸の北三田にある店「猿蟹合戦」で 2013.12.8.

予備知識もなく出かけた店 それがなんと オーナ・料理人

みんな親父の故郷 丹後の方で、カニは本場のズワイガニ。

うれしくなって「うまい うまい」と。

帰りに持ち帰り手土産に持たせてくれたのが「丹後のばら寿司」

甘辛くそぼろに煮詰めた鯖の身を二段に敷き詰め、その上に

彩りよくかまぼこや錦糸卵やエンドウ紅しょうがなどを飾り付けた

「丹後の晴れの日に作られるばら寿司」。

こどもの頃 丹後へ行くと いつも帰りに持たせてもらった田舎丹後

の味。よく母がつくってくれたおふくろの味もある。

もう長年記憶の奥深くに忘れていた丹後のばらずし。



持ち帰って開くと 懐かしい姿 一口食べると「この味や」と。家内と二人 むかしを語り合いながら食べた絶品の味。

家族みんなの祝いの席に思いもかけず登場した田舎そして父母を思い出させてくれた丹後のばら寿司。

岡山の祭りすしや山口の岩国すしほど有名ではありませんが、私にとってはうれしい絶品の味。

だれしも もう記憶の奥深くに しまいこまれた それぞれの味・一品があるのだろうと。

まだまだ早い せくな老楽 これからよ

お互い 好奇心・行動力さえあれば まだまだ、これから。 無理せず 元気に前向いてと

本当にうれしい一日になりました。



***** あっという間の一年 古希を迎えて *****

あっという間の一年 今年古希の歳に。

自分では 素晴しい時代に生きてきたと思っているのですが、ここ数年の政治・経済の動きにはついてゆけず。

何の反省も知恵も学びもなく、外見を装いながら、都合よく価値観を変化させる今の政治・経済界。

「スピードと効率化」・「集中と選択」が国際化の原動力と過信して、全体社会を見据えているとはとても思えず。

過酷な競争社会が出現する中、口では地方振興・平等な利益配分を唱えながら、その実 加速度的に中央集権・大企業
・東京中心の運営を猛進しているとしか私には見えない。

昨年も まったくおなじだったのではないか?? とこの時期 何を書いていたか読み返してみると

山口の高校生たちが検討した『櫛山節考』と『撻』の意味の記事について紹介し、

「撻」には 社会が共有してせねばならぬ生き抜く道として「心くばり」があると紹介している。

オリンピック招致に「おもてなし」を説いた人たちには その底にある「心配り」が微塵も見られない・・・

あれだけ「東日本大震災からの復興」を唱えながら、「東京再開発」の経済効果論の大合唱 地方は益々見捨てられてゆく。

多数派に名を借りた陰惨な所業が平然と

正当化される不安感と閉塞感ただよう社

会がひそかに進行している。

言葉にまったく誠意が感じられず、知恵も

行動の深さもなく、ただ棒読みの「撻破り」。

何の思慮も配慮もなく数だけが自らの正

義といわんばかりの政治。自民党を大多数

にした責任が重くのしかかっている。

暴虐無人 村社会的な振る舞いの政治に

は 歯止めのかからぬ「撻破りの社会」の

怖さが潜んでいると。

老いぼれてぼけてしまったのか・・・・

社会が異常なのか・・・・

風来坊を決め込むわけに行かず、孫たちの

時代の行く末を案じている。

今年もまた、同じことをぶつぶつ進歩のな
さを詫びつつ 自戒の騙し絵も。

「大多数の人が 弱肉強食の過度な競争に
晒される社会は もう ゴメン。みんな笑顔で
暮らせる社会への変革を 」。

「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

「**真実も正義も その立つ位置がかわれば、変わるのは、絶対の真実や正義などありえないのだ**」と傲慢に言い放ち、
豹変する姿が、実に今の世相を反映している様に見えました。

「それやったら 立つ位置 初めにみんなにみせろ」と言ってみるのですが…… 実に印象的でした。

最近の世相をみてみると どこもかしこも こんな構図がひしめいているのではないか……と。

立つ位置をあいまいにして、変わり身の早さを信条に「選択と集中 スピード経営」を旗印の即物的な収益・マネーゲーム
に終始するビジネスモデルが主流の昨今 本当にこれでやっていくのだろうか……と。

「急激に大きくなった会社はやっぱり 急激に衰える。その点 百年企業は急激な収益増は出さないが、
もし、衰えるとしても百年かかる。そんな会社にはスピードを追わぬしっかりした百年理念が流れている

どちらのビジネスモデルにしがみつくか 企業の度量が問われる」とよく聞いたことがある。

その時には、「負け惜しみの美学か……」などと自嘲気味になっていましたが、

その後の時代の流れが、真実を証明しているかに見える。

そんな時代 自戒の絵として、下に示す「騙し絵」をよく「某半導体メーカーの若い技術屋と見ていたなあ……」と。

この絵 どう見えるでしょうか・・・・
おばあさん?? それとも 美しい娘さん??



「娘さん」に見えたり、「婆さん」に見えたり 自戒の絵 人それぞれの思いで変化する だまし絵

自分には 娘さんに見えるのに 相手は婆さんと見ている。

一枚の絵にこれだけの視点の違いがあることをよく頭に刻んでおかねばならぬ。

真実を見間違う認識のズレ これを知っていて操るやからが多くなっている昨今
以前にもまして じっくりと見抜いてゆくことが大事な時代 自分の立つ位置をしっかりとせねば……と思う。

2012年4月 from Kobe より

かつて「檣山まいり」の境遇に置かれた人達と同じ歳になった今、本当に恵まれた境遇に感謝せねばならぬが、団塊の世代では もう これから時代を乗り切つてゆけぬ変革は若者たちの手で。
そんな思いを若者のフレッシュな頭に託したい。

【 2013年 From Kobe 一覧 】

Stay Young Day !! 今できることを 精一杯

お互い笑顔で 前向き思考 元気で乗り切つて行きましょう

苦難に立ち向かっておられる東北の人たちにもいつも 思いをはせています。

忘れまい 忘れないで 暖かい希望の輪がつながっていることを 困難の中に居られる方々を 応援しよう!!

《 あまりにも 人の責任にするこの頃 職場で叩き込まれた言葉 》

- ◆ フィールド・現場を大事に 全体を眺め 個を知る
- ◆ 原因を人の所為にせずルーツ原因の解明と防止 そして(対策突破の)歯止め

ニーバーの祈り「勇気・冷静・知恵」

変えられるものを 変える勇気と
変えられないものを 受け容れる心の静けさと
両者を見分ける観智を

一は 1 日一回 じっくり考える、
十は 1 日十回 腹から笑う、
百は 1 日百回 深呼吸、
千は 1 日千字 書く、
万は 1 日万歩 歩く

なかなかできないのですが、この1年 PCに入れて眺めてきた言葉

孫娘には「じいちゃん 気をつけや 知ったかぶりに 説教たれるのは 一番いや」と言われる
確かにそうです。必要以上にアプローチするのは その人の楽しみをとってしまうと。

「でも 今 それがひょうでは???」と ついついやってしまう。心せねばと思っています。

本年 一年お付き合いいただい ありがとうございます 引き続きよろしくお願ひします

1. From Kobe 2013年1月 迎春 2013年1月 新しい変革の年に fkobe1301.pdf
《 21世紀にふさわしいエンジニア「社会をデザインする工学 オーリンの三角形」》
2. From Kobe 2013年3月 街で見かけた面白いこと 2013.3.5. fkobe1303.pdf
停車中の電車の中を通り抜けて 隣のホームへ移動できる阪神電車尼崎駅
3. From Kobe 2013年4月 イースター 新年度に向けて また ぶつぶつ です fkobe1304.pdf
4. From Kobe 2013年5月】 2013年5月 新緑の季節便り fkobe1305.pdf
1.春景色 From Kobe 2.屋久島・種子島の不思議を島を結ぶ線で作った断面図で眺める
5. From Kobe 2013年7月 2013年7月 久しぶりの東京 fkobe1307.pdf
これ以上過密の東京に投資して いいのだろうか…とも
6. From Kobe 2013年8月 ひまわりの夏の便り「あまりに多い想定外・経験したことがない」 fkobe1308.pdf
「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の『働き方の多様化とは何か』解説」を紹介
言葉とはうらはら 創造性の欠如した今の時代 異常気象にだまし絵をダブらせて
今一番自分にすっと入る「NHK朝一番 ビジネス展望 内橋克人氏の解説」を紹介
7. From Kobe 2013年9月 fkobe1309.pdf
藻谷浩介・NHK広島取材班 「里山資本主義-日本経済は『安心の原理』で動く-」の紹介
今日本で一番求められている地域を元気にする
里山資本主義 & 内橋克人氏の提案する地域自立自給経済圏創設の実践 fkobe1310.pdf
8. From Kobe 2013年10月 「天声人語」氏 2013.10.5.「解雇のできる特区」の記事を読んで
「天声人語」氏 の冷静な解説分析に共感 政治・経済活動の視点に「命を守る」を据えてほしいもの
あまりにひどい「解雇のできる特区」政治・経済の方向にいきどおり
9. From Kobe 2013年12月 師走 あつというまの1年 古希を迎えて fkobe1312.pdf